年報２０１２の発行にあたって

平成２４年度は終盤こそ円安の影響でやや明るい兆しが見られたものの、景気回復が遅れるなかで、短期的には東日本大震災とそれに伴う福島原子力発電所事故からの復興、中長期的には経済のグローバル化や進展する少子高齢化など、数多くの課題への対応を迫られた１年でした。平成２５年１月の消費税増税法案の成立は、私たち一人ひとりがこれらの課題の解決に向けてある程度の負担を免れないことを象徴する出来事であったと思われます。

このような中で、平成２４年７月に開幕したロンドンオリンピックで我が国は史上最多となる３８個のメダルを獲得したほか、１０月には京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞するなど、未来に向けて日本人の底力を感じ、勇気を与えられるニュースもありました。平成２５年１月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産への推薦が正式に決定したことも、地域の遺産を未来に引き継ぐ重要な一歩として忘れることができません。

社会の大きな変革期にあって、自然科学の発展の一翼を担う学術機関として、また、未来を担う子供たちや生涯学習の意欲にもえる大人たちに最先端の研究成果を呈示する教育機関として、博物館にはどのような役割が期待されているのでしょうか。限られた予算で厳しい運営をせまられるいま、博物館の充実を訴えていくためにも、真剣な議論が必要とされています。

群馬県立自然史博物館ではこうした状況を踏まえ、平成２３年度に「博物館の使命と事業方針」をまとめ、平成２４年度にはその方針に沿った事業活動について自己評価の試みを開始しました。平成２３年度の評価結果は博物館のホームページで公開しておりますので、皆様にお読みいただくとともに、率直なご意見などをいただければと存じます。

さて、本年度は、３つの企画展と１つの特別展を開催いたしました。平成２４年７月１４日～９月２日にかけて行った第４０回企画展「深海の生物 －海底二万里の世界－」では、深海の環境と生物に焦点をあて、１８ｍを超えるダイオウイカの実物大模型や潜水調査船「しんかい６５００」の 1/2 モデルなどを展示、５万３千人を超える皆様に御来館いただきました。９月２２日～１１月１８日に開催した第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」は、生物界の分解者である菌類をテーマに、県内外の多くの機関や企業に御協力いただき、菌類の生態や人との関わりなどをわかりやすく展示し好評を博しました。元日から開催した特別展「サバンナの風写真に見るアフリカの大地」では、山崎豊子の小説「沈まぬ太陽」のモデル故小倉寛太郎氏が設立したサバンナクラブの会員や小倉氏が撮影した写真、同氏の遺品や同氏が収集した動物剥製など、アフリカの自然の雄大さを感じさせる展示を行いました。平成２５年３月１６日から開催中の第４２回企画展「サンゴ　共生の海　ささえあう生命」では、温暖化などで保全が求められているサンゴ礁で繰りひろげられる多様な生物の共生に焦点をあてた展示を行っています。

教育普及事業では、毎週土曜日に開催する「サイエンスサタデー」を始め、自然観察会、講演会、展示解説、ビデオ上映会など、のべ１７，０５３回にのぼる事業を行いました。

第５次自然史調査では、昨年に引き続き上野村を対象に動物、植物、菌類、地質、古生物の総合学術調査を行いました。また、論文１６編（総説１、原著論文１２、短報１、資料１、雑報１）からなる群馬県立自然史博物館研究報告第１７号も発行しました。

以上の活動では８８名の博物館ボランティアをはじめ、県内外の研究者、自治体関係者など、多数の皆様の御協力をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申しあげます。

この度、平成２４年度の事業概要を年報としてまとめました。皆様の御高覧を賜りますとともに、引き続き御指導、御協力をお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

平成２５年４月

群馬県立自然史博物館
名誉館長　長谷川　善和

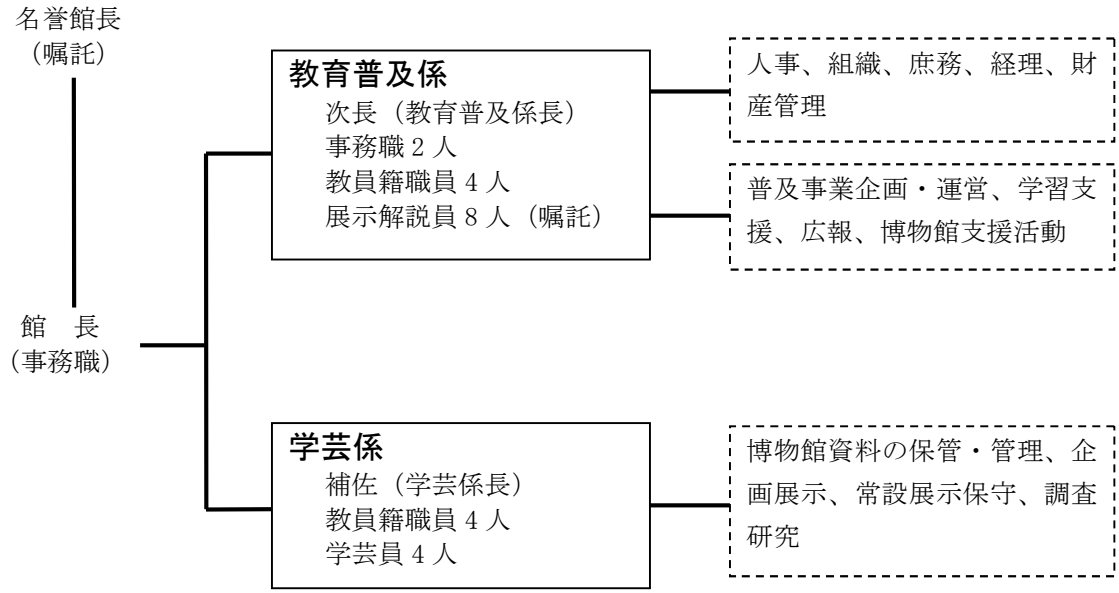
Ⅰ　管理

１　沿革

群馬県立自然史博物館の沿革は次のとおり。

昭和 32 年 3 月 12 日	「群馬県立博物館」として開館（群馬県富岡市一ノ宮 1353）
昭和 54 年 10 月 17 日	「群馬県立博物館」を廃止し、「群馬県立歴史博物館」として開館
昭和 57 年 7 月 16 日	「群馬県立歴史博物館」を廃止、「群馬県立自然科学資料館」として開館
昭和 63 年 12 月 1 日	「自然科学資料館整備拡充調査構想委員会」を設置（学識経験者 10 名、行政職 6 名）
平成 1 年 4 月 1 日	群馬県教育委員会社会教育課学習文化室に専任職員 1 名配置
平成 4 年 2 月 3 日	建築プロポーザルにて内井昭蔵建築設計事務所に建設基本設計を委託
平成 4 年 3 月 31 日	建築基本設計終了
平成 5 年 1 月 28 日	(株)丹青社と展示実施設計委託契約を締結 (財)日本科学技術振興財団と展示実施設計の監修業務の委託契約を締結
平成 5 年 7 月 31 日	建設実施設計終了
平成 5 年 8 月 31 日	展示実施設計終了
平成 6 年 6 月 30 日	建築工事等着工
平成 7 年 4 月 1 日	長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が参与に就任
平成 8 年 3 月 15 日	建築工事等竣工
平成 8 年 3 月 27 日	「群馬県立自然史博物館の設置及び管理に関する条例」を公布
平成 8 年 3 月 31 日	「群馬県立自然科学資料館」を廃止し、資料は自然史博物館に引き継ぐ 併せて群馬県歴史博物館所蔵の自然資料のほとんどを移管
平成 8 年 4 月 1 日	「群馬県立自然史博物館」発足（事務局：前橋市大友町庁舎３階） 職員 18 名（副館長、次長、総務課 3 名、教育普及課 3 名、学芸課 7 名） 非常勤嘱託 5 名 長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が初代館長に就任
平成 8 年 5 月 16 日	付帯ホール（愛称「かぶら文化ホール」）の管理運営にあたる財団法人かぶら文化ホールが設立許可
平成 8 年 5 月 27 日	事務局を前橋市大友町庁舎から富岡市上黒岩「自然史博物館」に移転
平成 8 年 5 月 31 日	財団法人かぶら文化ホールにホールの管理運営等を委託
平成 8 年 9 月 14 日	展示工事竣工（(株)丹青社）
平成 8 年 10 月 21 日	開館記念式典
平成 8 年 10 月 22 日	「群馬県立自然史博物館」開館（一般公開） 第１回開館記念展「アルゼンチンの恐竜たち」開催
平成 14 年 1 月	開館５周年記念企画「ミュージアム・ポスター展」開催(1 月 4 日～2 月 17 日) 開館５周年記念講演会「ヒトと森と　ー森がヒトをはぐくむ」開催（1 月 26 日）講師：宮脇　昭氏（国際生態学センター研究所長）、河合雅雄氏（兵庫県立人と自然の博物館館長）
平成 14 年 6 月 9 日	入館者 100 万人達成
平成 18 年 7 月 15 日	開館 10 周年記念展「コアラ大陸オーストラリア　～ふしぎな動物たちの世界～」開催
平成 19 年 1 月 4 日	開館 10 周年記念企画「自然史博物館のあゆみ展」開催
平成 20 年 8 月 8 日	入館者 200 万人達成
平成 22 年 2 月	正面玄関プロムナード路面改修
平成 22 年 3 月	尾瀬シアター、トリケラトプス復元映像、機器及び映像更新
平成 23 年 7 月	開館 15 周年記念展「よみがえる！謎の巨大恐竜スピノサウルス」開催（7 月 16 日～11 月 20 日）
平成 23 年 9 月 17 日	入館者 250 万人達成
平成 24 年 10 月 16 日	平成 23 年度博物館活動の評価(内部評価)結果公表

２ 組織



３ 事業体系

管理運営			人事、組織	教育普及係
			予算、経理	
			施設管理	
			庶務	
事業	展示		常設展示保守、改修	学芸係
			企画展示	
	普及事業	一般対象	展示解説	教育普及係
			ファミリー自然観察会	
			講演会	
			自然史講座	
			天体観望会	
			ミュージアム・ナイト・ツアー	
			バックヤード・ツアー	
			サイエンス･サタデー	
			学芸員による特別解説	
			ビデオ上映会	
		成人対象	チャレンジ講座	
		高校生対象	高校生学芸員	教育普及係
		小中学生対象	自然史博物館探検隊	教育普及係
			ミュージアム・スクール	
	学校教育支援		館内授業	教育普及係
			博物館体験学習	
			教育用資料貸出	
			博物館実習	学芸係
	調査研究		上野村地域総合学術調査	学芸係
			分野別調査研究	

		外部研究機関との連携調査研究	
		研究報告編集	
	情報システム		全体
	資料収集・保存・管理	採集	学芸係
		製作委託・購入	
		寄贈・寄託・移管	
		貸出・借用管理	
		文献・図書管理	
	博物館支援活動・広報	ボランティア	教育普及係
		友の会	
		視察受入	
		広報	
		相談指導	
	自治体等との連携	調査	全体
		相談指導	

４ 管理運営業務

（1）入館者数の状況

平成２４年度の入館者数は182,038（前年対比102%）で、好調であった前年を更に4,340人上回った。この数字は、平成８年の開館以来の年間入館者数でみると、平成９年度の207,688人に次いで２番目となっている。好調の要因は、何よりもまず、平成２４年３月から５月に開催した「オシャレな動物たち」（約３万６千人）、７月から９月に開催した「深海の生物」（約５万３千人）、９月から１１月に開催した「キノコとカビのミラクルワールド」（約３万６千人）、平成２５年３月から開催中の「サンゴ」（３月末で約９千人）と企画展が好評であったことがあげられる。これらの企画展では、それぞれ、生態展示（カメレオン、ヤドクガエル等）、大型模型（ダイオウイカ、しんかい６５００）、企業等の協力による生活に即した展示（味噌、醤油、日本酒、鰹節）など、他では得られない貴重な体験の提供に努めた。また、３回目となる特別展「サバンナの風」は、学校行事等が下火となる冬場の誘客につながった。更に、平成２４年７月から９月のググっとぐんま観光キャンペーンへの参加や周辺観光施設との誘客事業の実施、首都圏や近県での広報活動など、誘客のための取り組みにも力を注いだ。内外で実施する多様な普及事業や解説員による充実した展示解説など、平素からの博物館の活動がリピーターの獲得に果たしている役割も見逃すことはできない。当館ではこれら、教育施設としてのみならず、観光施設としての魅力をアピールする取り組みについても、継続して行っていく考えである。

開館以来の累計の入館者数は、2,758,104人、１日平均の入館者数は567人、年度別の入館者数の推移は次のとおりである。（詳細はp.74以降を参照のこと）

入館者数の推移

年度	Ｈ８	Ｈ９	Ｈ１０	Ｈ１１	Ｈ１２	Ｈ１３	Ｈ１４	Ｈ１５
開館日数	132	301	304	303	301	303	301	298
入館者数	120,712	207,688	165,071	150,211	156,633	159,416	166,989	171,697
１日平均	914	690	543	496	520	526	555	576

年度	Ｈ１６	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
開館日数	292	292	293	292	291	290	288	291
入館者数	160,456	153,613	166,629	161,626	146,170	162,760	148,697	177,698
一日平均	550	526	569	554	502	561	516	611

年度	Ｈ２４	累計
開館日数	290	4,862
入館者数	182,038	2,758,104
一日平均	628	567

(2)歳入歳出決算の状況

歳入　　単位（千円）

区　　分	金　　額	内　　容
博物館入館料	４３，６５０	観覧料
施設使用料	５３７	ミュージアムショップ
雑　　入	２，５４８	
計	４６，７３５	

歳出

事　業　名	金　　額	内　　容
館　運　営	２０６，６３５	館の維持管理、事業運営等
博　物　展　示	４４，１８６	常設展示メンテナンス、企画展
教育普及活動	２，６１１	観察会等教育普及事業
調　査　研　究	１１，２７４	フィールド調査、学会参加
計	２６４，７０６	

(3)博物館評価の実施

「魅力ある博物館を語る会」検討報告（平成22年度）を受けて平成23年度に決定した「博物館の使命と事業方針」を踏まえて、同じく23年度に作成した「活動目標の評価指標表」を用いて平成23年度の博物館活動の自己評価を行った。評価結果は「平成23年度内部評価結果の総括」としてまとめ、詳細な「項目別実績結果」とともに平成24年10月16日から博物館ホームページで公開した。

平成23年度内部評価結果の総括は次のとおり。

平成２３年度 内部評価結果の総括

１　はじめに

本評価は、「魅力ある博物館を語る会」(H22)で提言いただいた「外部評価委員を含めた『博物館評価委員会（仮称）』の設置」に向けて策定した「活動目標の評価指標表」(H23)を用い、内部評価を試行的に行ったものである。本評価結果は、博物館活動の改善と充実に結び付けるとともに、活動目標や指標値の修正に反映させ、博物館評価委員会設置の準備とする。

２　自然史博物館の使命

「未来に伝える博物館」

群馬の自然とそのなりたちに関する資料や情報を集め、未来に伝えます。

「魅力を引き出す博物館」

群馬の自然とそのなりたちを探り、その価値を明らかにし、群馬の魅力を引き出します。

「知を広め、高める博物館」

多様な学びの場を提供し、知を広め、高めます。

3　自己評価結果

(1) 資料の収集・保存と活用　（「未来に伝える博物館」）

資料の収集においては、業務を行う学芸係員が８名であること、資料によっては標本化に多くの労力を費やすこと、また学芸係員が展示業務や普及活動に多くの時間を費やしていることを考慮すると、新規登録資料数8,099 点は大きな成果といえる。これらの資料を登録できた背景には、近年、博物館への信頼度が増し4,418 点の寄贈資料と497 点の移管資料の受領が行えたこと、学芸係員による数千点に及ぶ地道な収集活動を行ったことがあげられる。

資料の保管に関しては、電力前年比15%削減の中、収蔵庫や展示室などの保管場所で、可能な限り適切な温湿度で管理を行った。また、文化財害虫やカビ類に対する燻蒸と忌避対策を計画どおりに行った。さらに、安全な保管を進めるために、平成24年度より実施する収蔵庫の「セキュリティー向上のための管理簿設置」や「基準標本や天然記念物の保管状況点検」を定期的に行う規定を設けた。

活用面においては、収蔵標本をもとにした調査研究はもちろんのこと、企画展や移動博物館における1,672 点の展示、他館への展示のための貸し出し244 点、当館ホームページでの登録資料公開や地球規模生物多様性情報機構(GBIF)サイトでの公開など積極的な公開に努めた。

課題としては、現在の収蔵スペースが限られており、分野によっては収蔵のキャパシティーを超えているものもある。今後も計画的継続的な資料の収集と保管を行っていく際の障害となると思われ、収蔵スペースの新規開拓と収蔵方法の見直しによる収蔵スペースの確保が急務であるが、その取組は不十分であり、平成24 年度の課題である。また、収蔵庫の管理簿や、基準標本と天然記念物の定期的な保管状況点検など平成23 年度に新規に設けた作業を着実に遂行しなければならない。加えて、文化財害虫等の忌避行為のための作業も充実させる必要がある。

(2) 調査研究　（「魅力を引き出す博物館」）

調査研究の推進では、昨年度は上野村総合学術調査の初年度であった。同調査は３ヶ年計画で行う自然史調査研究で、延べ25 回の現地調査を行った。また、各職員が個々に行っている調査研究は13 分野18 研究、外部研究施設等と連携している調査研究は26 研究あり、９名の職員数としては充実した活動が行えていた。研究成果の公表では、発表論文数22、学会発表数27、講演会講座等数14、群馬県野生生物調査・対策報告会の開催など一定の成果を得ていた。

しかし、調査研究では、研究者や研究団体との連携による調査研究に比べ、県民との連携による調査研究が少ない傾向が見られた。県民との連携による調査研究は、一般県民の方々に、より多くの自然についての知識や技能を還元できる機会でもあり、調査研究の大衆化という視点からも、今後力を入れていかなければならないと考えている。また、研究成果の公表でも多方面で数多く取り組んでいるが、より多くの県民によりわかりやすく伝えるための工夫と改善が必要である。特に、学芸係員が行っている講演会講座や学芸員による特別解説や特別展示など、多様な手法を用いた公表を模索する必要がある。

(3) 展示 （「知を広め、高める博物館」）

昨年度の入館者数は177,698 人であり、開館の翌年度に次ぐ２番目の実績をあげることができた。また、抽出調査によるリピータ率は63%であり、これらは、企画展の魅力とそれに伴う広報活動が一定の成果をあげたためと考えられる。過去５年間の企画展観覧者数平均と昨年度の結果を比較すると、昨年度は15%増であり、自らの意志で記入するアンケート調査では「展示の満足度」が79%であった。実施した企画展は、来館者ニーズに応えた最新の研究や情報を反映した「スピノサウルス展」や「脳展」、体験コーナーや生体展示を数多く取り入れた「オシャレな動物展」、定番化してきた冬期に行う「写真展」である。また、常設展では、開館以来16 年間リニューアルが行われていないにも関わらず、対面形式のアンケート調査では、「展示の満足度」が89%であった。これは、常設展の作り込みのよさが第1 であると考えられるが、職員による年間217 回の迅速な故障修理対応や月１回の保守点検と清掃、また延べ45,000 人に及ぶ展示の解説も効果があったと考えている。

館外での展示の充実については、移動博物館等を行い、観覧者の満足度もまずまずである。

課題としては、観覧者が体験できるコーナーを好む傾向が強まっており、生体展示も含め、今後さらにこの傾向を企画展で強めるべきと考える。また、常設展の老朽化が著しく、機器の故障頻度の著しい増加や交換部品の製造停止、展示内容の陳腐化など課題が山積している。根本的な解決を図るためには、常設展の大規模なリニューアルが必要であり、その準備を行わなければならない。展示解説では、展示の魅力を引き出し、観覧の満足感を高める解説と接遇の質的向上がさらに求められている。クオリティチェックは十分に行われているとは言い難く、研修の充実や解説員の意識改革等とともに、課題となっている。計画的組織的な実践的研修の実施と解説資料の充実が急務である

(4) 教育普及（「知を広め、高める博物館」）

学びの魅力を感じられる事業の推進では、実施件数、参加者数共に目標を上回り参加者の満足度も高い。幼児から団塊の世代まで幅広い対象に応じたメニューを揃え、リピーターに配慮した新規メニューの開発や少人数への対応などが評価された結果だと思われる。

課題として、社会教育機関として生涯学習の観点からの大人向けメニューの充実が求められる。また、講座・講演会の集客率向上に向けて、講師と連絡を密にし、内容や方法に関するコーディネートを行うための担当者のスキルアップが求められる。

学校教育支援の推進では、館内事業以外の項目で目標をクリア。あり方検討委員会で指摘された出前授業の充実と目標に届かなかった館内授業件数の増加が課題となる。

ボランティア活動、友の会活動共に全項目で目標値を上回っているが、ボランティアの高齢化、ボランティアでは自主性、友の会では自律性の向上など数値化が難しい課題が多い。

(5) 情報の発信と公開（「知を広め高める博物館」）

各種刊行物の充実では、目標値をクリアしている。

広報活動の充実では、教育委員会や旅行会社を積極的に訪問した。特に新規が多く評価できる。

インターネットによる情報の発信では、ホームページへのアクセス数及びメールマガジンの配信件数が目標に届かなかった。アクセス数を増やすため、レイアウト、内容、動画の利用等について検討が必要である。また、メールマガジンでは、定期的な

発行の仕組み作りが求められる。

(6) シンクタンクとしての社会貢献 （「知を広め、高める博物館」）

公共の博物館として、その有する様々な資源（資料、情報及び職員の専門性）を活用し、自治体や各種団体への専門知識の提供や講師の派遣など、シンクタンクとしての機能を充実させ社会貢献を果たすことは博物館の重要な使命の一つである。この項目は、昨年度に作成した「群馬県立自然史博物館の使命と事業方針」で、初めて位置づけられたため、昨年度の評価指標表では４つの評価指標で実績データがない。しかし、この業務は博物館として意識して行ってきたものであり、次のような成果があった。

学会・博物館関連団体の委員等を除く、自治体やその他の機関･団体の委員会の委員等として13 件を受諾し、学校を除く機関・団体への専門性を生かした講師派遣数は25 回であった。学会等への貢献としては、日本古生物学会例会など３回の大会を事務局として実施した。また、他の博物館等への資料の貸出件数は22 件であった。これらの実績数は、他県の自然系博物館と比較し、数少ない職員でよく健闘していたと考えている。

課題としては、マスコミを含む一般の方からの電話やメール等での問い合せ、自治体やその他の機関･団体からの問い合わせ、大学生・院生の研究指導、県内外の博物館施設等へ助言など、数多く行っていたが、昨年度まではデータの集積が行われなかった。本年度は、これらの項目でデータ集積を行うとともに、「自然史に関わることなら、親切に相談にのってもらえる博物館」との評価を得るために、対応内容はもちろん、話し方、伝え方にも心配りがされたサービスの提供が必要である。

(7) マネージメント（経営）

安全で利用しやすい博物館施設への改善では、点字、外国語表記等が課題である。観覧者サービスの点検と質的向上では、案内業務のクオリティチェックの実施と職員全員に対する接遇研修の実施などが課題である。

博物館の認知度の向上と利用者層の拡大では、成果は上がっているが、未だ知らない県民等も多く、引き続き取組が求められる。

職員の意識改革と資質の向上では、展示室内での行動・言動、利用者の目線に立った接遇、管理などについて、問題が指摘された。合同会議等の場で議論し、共通理解を図っていくことが求められる。

博物館活動への理解及び外部協力の確保では、予算確保や企業からの協力の増加に向け、引き続き取組が求められる。

防火意識の向上と危機管理体制の強化では、地震マニュアルの作成や避難場所の掲示を行ったことは評価できる。今後、明文化されていないものを含めて、危機管理対応マニュアルを作成していくことが課題である。

博物館評価システムの構築では、使命と方針及び評価指標を作成した。職員の意識改革、共通理解の醸成に向けて、評価システムを確立することが課題である。

Ⅱ　事業の概要

1　展示

(1) 常設展示

県民が自然の生い立ちや群馬県の多様で豊かな自然環境などへの理解を深め、自然に親しみながら学習する施設とするため、展示に際して、①資料についてはできる限り実物を揃える　②資料のケース内の展示を極力減らして身近に展示し、実物を実感してもらう　③資料を観覧するだけでなく、資料によっては直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がける、以上の３点に配意している。

展示の保守にあたっては、通常年どおり、２回の展示全体（Ａ～Ｅコーナー）のメンテナンスと電球類の交換を行った。また、エレベータ案内のサインパネルを作成し、更新した。

常設展示は、下記の５つのコーナーに区分されている。

① 地球の時代（Ａコーナー）

誕生から 46 億年を経て現在に至る地球の発達、すなわち大地が形成される過程、そして地球における生命誕生とその生命が様々な環境に適応し多様化していく過程の二つを軸として、その中に群馬県の地質や化石を絡めて、生命の進化史を群馬県の自然史と対比しながら世界的・日本的規模で展示している。本コーナーの展示は、今の自然環境の基盤となる地球（太陽系）の形成と生命の誕生、ならびに先カンブリア時代の発展を紹介する「水の惑星と生命の誕生」にはじまり、「生命を育てた太古の海」（古生代）、「恐竜の時代」（中生代）、「哺乳類の時代」（新生代古第三紀・新第三紀）、「人類の時代」（新生代第四紀）の５つに分けられる。

展示の中心は大型恐竜（竜脚類）の全身骨格標本で、地球上で最大の生物を代表するブラキオサウルス・ブランカイ（全身骨格が復元された恐竜としては最も背が高い）、カマラサウルス（世界で唯一組み立てられているメスの全身骨格）、マメンキサウルスといった世界三大大陸（アフリカ、北アメリカ、ユーラシア）の恐竜（竜脚類）として展示している。なお、ブラキオサウルスについては比較的近縁な種類だと推定される歯が、その後神流町でも発見されている。またボーンベッド展示では、アメリカで発見されたトリケラトプスの全身骨格化石（実物）の産出した状況をガラスの床下に復元し、俯瞰から観察できる。

平成 24 年度も毎月１回各エリアの担当者が状況を確認した。展示機器の保守点検については、例年どおりＡ-1 の大型拡散霧箱について年２回、Ａ-3 の動刻（ロボット関係：ティランノサウルス、ガリミムスなど）を年４回実施した。なお 12 月には保守点検作業に引き続き、４日間をかけてティランノサウルス動刻の内部に入れてあるコンプレッサーからのエア調整用エアチューブを開館以来初めて交換した。展示更新・補修については、実施しなかった。

また、Ａ-3「恐竜の時代」で常設展示している標本のうち、デイノニクス全身骨格を春～秋期に神流町恐竜センターへ、そして前年度３月から６月まで大阪大学総合学術博物館へ、それに引き続き７月から９月までは愛媛県総合科学博物館へ、さらに３月から久慈琥珀博物館へ貸し出した。Ａ-5「人類の時代」で常設展示している標本のうち、夏期にヤベオオツノジカの角を旭川市科学館と埼玉県立自然の博物館に１点ずつ貸し出した。

（展示資料数 1,094 点）

② 群馬の自然と環境（Ｂコーナー）

多様で豊かな群馬の自然環境を低湿地から亜高山帯まで、また利根川や尾瀬など代表的な地域に分けてジオラマ、標本、映像等で紹介している。特に山地帯の展示ではブナ林、亜高山帯はシラビソーオオシラビソ林、丘陵帯はクヌギーコナラ林、低湿地は茂林寺沼の周辺の

植物、尾瀬では湿原植物を、それぞれジオラマで再現している。さらに平成22年度より近年生物多様性の保全上問題になる外来種の展示を加えた。また、利根川では3つの水槽に上・中・下流に代表的な魚を生体で展示している。水槽展示のメンテナンスは年22回実施している。それぞれの場所ごとに生息する哺乳類や鳥類などの剥製やレプリカ、アクリル標本なども数多く展示している。また尾瀬シアターは、180インチのプロジェクター投影機を用いて、日本を代表する尾瀬の湿原をミズバショウの妖精ミズビーが案内するものとなっている。本年度の展示更新としては、触れる剥製のアナグマとタヌキを更新した。また、前年度に下仁田町が日本ジオパークに認定されたことから、下仁田ジオパークを紹介したパネル１点をイーゼルで仮設置した。

（展示資料数1,355点）

③ ダーウィンの部屋（Ｃコーナー）

老博物学者のロボットが生物の進化について説明する。展示室内は、博物学者の書斎や倉庫、実験室をイメージし、数多くの標本を間近に見ながら、資料に触れたり、機器を操作したりしながら観察できる参加体験型の展示となっている。平成12年度に寄贈されたダーウィンの直筆書簡と顕微鏡を展示している。また、動刻（ロボット）については、保守点検を年4回実施した。また、展示ケース内の照明用安定器の交換を行った。展示では、「私が見つけた自然」の写真リニューアル2点、触れるウサギの更新を行った。

（展示資料数545点）

④ 自然界におけるヒト（Ｄコーナー）

このコーナーは、「1 動物としてのヒト」「2 ヒトの起源と進化」「3 ヒトの特徴」という３つの展示で構成されている。展示のコンセプトは、等身大立体教科書であり、教科書等で縮小され、平面的に紹介されてきた有名な図を、実物標本や模型・複製等で再現している。また、アーム型ハロゲン照明、バックライト用蛍光灯の安定器を交換した。

（展示資料数364点）

⑤ かけがえのない地球（Ｅコーナー）

人間の生活が地球全体に及ぼす影響を紹介し、環境問題について考える機会を与える展示である。エコボール、ドードーやトキなど絶滅、または絶滅の危機にある動物の紹介や、森林の保水作用を説明する模型、環境クイズの映像などを展示している。

（展示資料数29点）

(2) 企画展示

① 第 39 回企画展「オシャレな動物たち」

趣旨：本企画展では、動物の色や模様の多様性に視点を当て、色や模様のしくみやはたらきを取り上げた。色や模様を伝達する光の性質やそれを受容する眼のつくり、発色や遺伝のしくみ、様々な色のはたらきを、体感しながら学べる展示として提供した。

内容：１.オシャレな昆虫たち：エントランスに企画展の大型ポスターを掲示するとともに、色鮮やかな昆虫の標本箱を設置し、来館者を企画展へと誘導した。

２.光と眼：展示の導入として、色や模様の素となる光の性質や眼のつくりに関する展示を設けた。「色のついた影」や「複眼の見え方」などの体験コーナーなどを設置し、子どもから大人まで楽しめるような展示とし、興味付けを図った。

３.色や模様のしくみ：色素色と構造色の発色の違い、色の変化のしくみ、遺伝や変種、アルビノ等について紹介した。ネオンテトラやカメレオンなど、色の変化する動物の生体も展示した。

４.色や模様のはたらき①：隠蔽色、分断色、警告色、威嚇色、などの展示コーナーを設けた。分断色コーナーでは、青いフィルター越しに海水魚を観察することで、分断色の効果を体感し、背側が青く腹側が白い海水魚のコーナーでは、上下から見たときの見え方の違いを体感できる展示とした。体色を変化させて身を隠す動物として、アマガエル、カレイ、マダコを、警告色を持つ動物として、アカハライモリ、ヤドクガエルを生体展示した。

５.色や模様のはたらき②：性的二形や幼体を守る模様、婚姻色や季節型など、同じ種類の動物の色や模様についての展示コーナーとした。アオダイショウとシマヘビの成体と幼体を飼育し、成長に伴う体色の変化を実感できるようにしたり、モンシロチョウを紫外線カメラで撮影し、雌雄の色の違いを体感できるようにした。婚姻色を紹介するコーナーでは、イトヨの動画を放映し、体色が闘争のトリガーとなっていることを紹介した。

６.映像・体験コーナー：約 200 種の昆虫の精細画像を呼び出せる展示システム「ZooMuSee」を活用し、全体像から細かな部分まで、来館者自身が操作して観察体験ができるようにした。映像コーナーでは、科学映画「スキン・カラー」を上映し、顕微鏡下での微速度撮影で得られた色や模様の変化のしくみを紹介した。標本観察コーナーでは、身近な昆虫でよく似ているものを観察して、その違いを見つけ出すことで観察眼を養うコーナーとした。

７.オシャレな動物たち：企画展示室中央に独立したコーナーとして設置した。来館者に生物の多様性を感じていただくことを目的に、ジャイアントパンダ、オカピ、コビトカバなどの稀少な哺乳類に加え、鳥類、甲殻類、軟体動物などで色や模様の鮮やか標本を展示した。

展示点数：約1,300点（当館収蔵資料数 約1,250点）

期　　間：平成 24 年 4 月 1 日(日)～5 月 13 日(日) 開催日数 38 日間

※会期は 3 月 17 日(土)～5 月 13 日(日)まで

入館者数： 27,909 人(平成 24 年 4 月 1 日～5 月 31 日までの入館者数)

来館者調査結果（抜粋）：

・調　査　数　　229 名

・居　住　地　　群馬県 76%　埼玉県 10%　東京都 4%
神奈川県 4%　栃木県 2%　長野県 2%　その他 2%

・企画展の観覧は　初めて 33%　２回目 13%　３回目 9%　４回以上 45%

・企画展の内容は　満　足 82%　普　通 14%　不満足　4%
・わかりやすさは　よ　い 82%　普　通 13%　悪　い　5%

後　　援：日本動物行動学会･日本蛇族学術研究所･群馬サファリワールド株式会社･日本ペイント株式会社･NPO 法人科学映像館を支える会･上毛新聞社･NHK 前橋放送局･群馬テレビ･エフエム群馬

協力団体：上野動物園･オーエムジー株式会社･岡山県自然保護センター･神奈川県水産技術センター内水面試験場･桐生が岡動物園･群馬県水産試験場･群馬県立ぐんま昆虫の森･国立科学博物館･国立天文台 4 次元デジタル宇宙プロジェクト･志村皮膚科クリニック･動物行動の映像データベース･東邦大学理学部･富山県自然保護課･ミュージアムパーク茨城県自然博物館･ゆんフリー写真素材集･GOOD AQUA

関連事業：・自然教室「光の万華鏡をつくって、昆虫の色や模様の秘密を探ろう」
（詳細は p. 28）
・講演会「青い魚はなぜ青い　魚の体色の不思議」（詳細は p. 27）

実施設計：有限会社 ディ･カールトン

展示施工：株式会社 丹青ディスプレイ

そ の 他：ガイドブック(32ページ･1000部)を作成・販売した。

② 第40回企画展「深海の生物　海底二万里の世界」

趣旨：私たちの身のまわりの自然には，馴染みの深い生き物や景観が広がっている．人類は陸上で暮らしているため，有史以来陸上の景観やそこにいる生物について造詣を深めてきた．その一方で日本近海には，海洋プレートが沈み込む場所・海溝が存在し，そこやその周辺には多様な深海環境が広がり，様々な深海生物の存在が確認されている．深海環境の調査や研究において，日本は世界のトップランナーの一つである．また，現在の群馬県は海なし県であるが，県内には太古の深海で堆積した地層やそこにいた生物の化石が見つかっており，かつて群馬も深海の底だった時期があったことが明らかである．

当館の来館者の多くは，一般の中でも自然に対する関心が比較的高いと考えられる．一方，深海生物は，その特徴的な奇異な姿や生態から一般の中でも近年その関心が高く，一般向け書籍も多数出版されていることから，深海を含む極限環境やそこにいる生物にも高い興味を持っている事が予想される．

この深海に関する企画展を夏期に開催することは，博物館の涼しく落ち着いた雰囲気の中で自然科学研究の先端に触れ，かつ楽しむ環境を提供できることから，来館者増も期待できる．さらに，今も十分な知見が得られていない深海の環境や生物とその多様性について紹介することで，深海に関する知識を普及すると共に，群馬の大地の歴史に関する関心も高まり，新たな客層も開拓できる可能性がある．

展示概略：当館を訪れる入館者の約６割はリピータが占めており、企画展を楽しみにしているリピータも少なくない。学校の夏休み期間に来館者の心を引きつける魅力あふれる企画展を開催することは、それらのリピータや子どもたちの学びへの期待に応えることになる。本企画展では、近年メディア等でも話題となっている深海生物にスポットをあて、その形や分類群などの生物多様性とその歴史、深海など暗所に暮らす生物に特徴的な生物発光、そして「しんかい6500」など深海調査艇に代表される日本が実施している深海調査の現状や調査の歴史などについて、関係各機関・個人の協力の下に展示を行った。また、県内に古・中生代の深海底にたまった堆積物などからなる付加体や、中新世の漸深海帯に堆積した地層（富岡層群・安中層群）が存在することから、それらについても展示した。

展示内容と主な展示資料：

① エントランス「深海の生物～海底二万里の世界～」

当企画展のアイキャッチとして、館入口を入ったエントランスホール中央に、企画展バナーのほか、リュウグウノツカイ液浸標本（神奈川県立生命の星・地球博所蔵）とその生体写真、ならびに深海関連グッズを展示した。

また、常設展出口付近では、深海生物や深海調査に関する画像をスライドショー形式で上映した。

② 展示ゾーン① 深海の生き物たち

魚類、節足動物、軟体動物など深海にくらす様々な生物やそれらの生物が織りなす２つの生態系（光合成生態系／化学合成生態系）について、ダイオウグソクムシの液浸標本や深海性軟骨魚類の剥製標本をはじめ、節足動物やシロウリガイに代表される軟体動物などの各種生物標本（液浸、剥製、乾燥等）やチムニーの標本や模型、そして生態写真で紹介した。

③ 展示ゾーン② 深海探査の歴史

これまでに行われてきた深海に関する探査の歴史と、日本が建造した世界最新の深海掘削船である「ちきゅう」について、実際に使用されたドリルビットや海底地震計などの資料と船舶模型、そして写真等を用いて紹介した。

④ 展示ゾーン③ 世界中の深海を調査する日本の船たち

深海探査のトップランナーである日本、その歴史を支えてきた調査船について、船舶モデルを用いて紹介した。

⑤ 展示ゾーン④ 深海探検ゾーン

樹脂包埋標本（協力 田崎物産ほか）による深海生物や、水圧で小さくなったスチロール容器の観察や、後述する圧力実験装置の演示や、深海シアターでの動画上映などにより、参加体験型の展示とした。

⑥ 展示ゾーン⑤ 深海と発光生物

深海にくらす様々な発光生物を標本や生態動画・写真で紹介すると共に、国内の発光生物研究のパイオニアであった故・羽根田弥太博士（横須賀市立博物館[現・横須賀市自然・人文博物館]元館長）の業績について、実際に博士が使用した研究機器などと共に展示した。

⑦　展示ゾーン⑥　ユニークな深海生物たち

多種多様な深海生物の液浸標本や骨格標本、ラブカ、ヨロイザメ、オロシザメ、タカアシガニ、ダイオウグソクムシなど比較的大型の深海生物の各種標本、当企画展の目玉でもあるダイオウイカの実物大模型、しんかい6500の1/2縮尺模型などを展示した。ダイオウイカ模型の上部壁面には、ダイオウイカの天敵であるマッコウクジラ　の動画（撮影・協力　水口博也氏）を随時上映した。また、ぬりえコーナーを設置し、親子連れなどの人気を集めました。

⑧　展示ゾーン⑦　太古の深海

現在の群馬県の大地の基盤となっているチャートをはじめとする深海底でつくられる岩石やマンガン団塊のほか、中新世の頃に深海の底だった群馬にいた生物の化石、そしてきわめて保存の良い深海生物の化石として知られる愛知県・師崎層群で見つかった中新世の様々な動物化石を展示した。

展示点数：約250点（当館収蔵資料数　62点）

会　　期：平成24年7月14日（土）～9月2日（日）（開催日数47日）

入館者数：53,346人

来館者調査結果（抜粋）：

・調　査　数　　288名

・居　住　地　　群馬県 75%　埼玉県 11%　神奈川県　5%
　　東京都　4%　千葉県　2%　長野県　1%　その他　2%

・企画展の観覧は　初めて 33%　２回目 16%　３回目　8%　４回以上 43%

・企画展の内容は　満　足 74%　普　通 24%　不満足　2%

・わかりやすさは　よ　い 74%　普　通 24%　悪　い　2%

後　　援：上毛新聞社、ＮＨＫ前橋放送局、株式会社エフエム群馬、
　　群馬テレビ株式会社

協　　力：(独)海洋研究開発機構[JAMSTEC]、神奈川県立生命の星・地球博物館、
　　新江ノ島水族館、横須賀市自然・人文博物館、田崎物産、
　　(独)国立科学博物館、(独)水産総合研究センター、戦前船舶研究会、
　　千葉県立中央博物館、東海大学海洋学部、株式会社ニュートンプレス、
　　The Micropalaeontological Society、NOAA、個人協力者の方々

関連事業：・オープニングセレモニー

日　時：7月14日（土）9:40～10:30

会　場：企画展会場、エントランス、学習室等

来　賓：富岡市教育長、富岡市立吉田小学校校長、
　　同校６年生児童とその保護者、自然史博物館友の会役員、
　　セレモニー参加希望者（一般公募20名）

・講演会「知られざる深海の世界～現生・化石ウミユリを例に～」
　　講師：名古屋大学博物館教授　大路樹生（詳細はp.27）

・講演会「深海の生態系」
　　講師：海洋研究開発機構
　　海洋・極限環境生物圏領域長　北里 洋（詳細はp.27）

・自然教室「チリメンモンスターをゲットしよう」
　　講師：当館 小須田主幹・田中主任（詳細はp.28）

・自然教室「ペーパークラフトで深海のせかいをつくろう」

講師：当館 小須田主幹・田中主任（詳細はp.28）

・演示実験「深海の圧力を体験しよう」

海洋研究開発機構から借用した圧力実験装置を用いて、会場内でスチロール容器を圧縮する高圧実験を行った。

演示担当：当館 展示解説員8名

実施設計・展示施工：有限会社 ディ・カールトン

印 刷 物：朝日印刷株式会社

招待券6,000枚のほか、広報用として通常ポスター3,000部（B2縦：４色カラー）と上信電鉄中吊り用ポスター（B3横・PDFデータ）、スケール入しおり3,000枚（4種：各750枚）を作成した。パンフレット（A4縦・両面カラー）は65,000部作成した。販売ならびに関係者宛配布用として、図録（A4縦：40p.：1,000部+増刷500部）を作成した。

広　　報：広報活動では、ぐんま昆虫の森や群馬サファリパークなどの近隣関係機関や移動博物館などでのパンフレット配布に力を入れた。先述のスケール入しおりについては、文真堂書店の2店舗で無償配布した。また、従来どおり、県庁記者クラブにもプレスリリースを流して情報提供した。他にも科学雑誌ニュートンなどに情報や記事を掲載した。

学習支援：主に小学生向けとしたクイズ形式のワークシートを館内で作成・印刷し、展示を見学する際の指針となるようにした。また、未就学児を主な対象として、ぬりえコーナーを設け、完成作品の一部は出口外の特設コーナーで展示した。またビデオ上映会、自然史博物館探検隊など既存普及事業でも、可能な範囲で企画展と関連づけた内容を取り入れた。

③第41回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」

趣旨：本企画展では、植物や動物の死骸や排泄物を分解し、土に還す分解者の役割を担っている菌類について、生活様式や種類の多様生などについて、乾燥標本や模型のほか、動画やハンズオン資料などを用い、体感しながら学べる展示として提供した。

内容：１.菌類の世界：エントランスホール中央に、企画展バナーのほか、キノコのアクリル封入法本、キノコグッズを展示した。また、ゲートにはモニタを

設置し、BBC 制作の Plane Earth の動画の一部を用いて、菌類が担っている分解、共生、寄生の役割について紹介した。

２.どこにでもいる菌類：菌類はどこにでもいることと、身近にいる菌類を体感してもらうために、「胞子のダンス」「カビの成長」の動画と、顕微鏡、菌類模型、毒にもなり薬にもなる菌類について紹介した。

３.菌類ってなに？：菌類の中でもキノコに焦点をあて、キノコの本体は菌糸の集まりであることを、マイクロスコープでの観察、キノコの成長過程の模型、キノコの胞子の模型などで紹介し、菌類の生態について展示した。

４.菌類がつくる伝統の味：菌類を利用した身近な食品を実物や模型で紹介した。中でも、味噌、醤油、日本酒、鰹節は、菌類の力を利用した伝統食品で、製造工程を動画で紹介したり、醤油諸味の音を体験できる展示をしたりして、菌類に寄り添いながら働く職人の姿を紹介した。

５.ぐんまのキノコ：群馬県内で採集されたキノコの凍結乾燥標本、博物館周辺で採集したキノコの凍結乾燥標本をジオラマとして展示した。他に冬虫夏草の液浸標本（日本冬虫夏草の会）、南方熊楠の菌類図譜なども展示し、キノコの形の多様性を紹介した。

６.ちょっとひといき：触って当てるキノコ、キノコパズル、キノコの臭い、菌糸クライミングとキノコクッション・帽子などで体験型の展示にすると共に、菌類シアターでは菌類研究者の図譜や群馬県野生きのこ同好会の採集の様子、野生キノコの微速度撮影した動画でキノコの興味を高められる展示した。

７.栽培に成功したキノコ：群馬県出身の森 喜作が発明した原木シイタケ栽培に関連した道具や教科書の他、マイタケ、ヤマブシタケ、ナメコなどの菌床栽培標本を三段階の生長過程で紹介した。また、マツタケのシロとマツタケの生える山のジオラマを展示し、栽培ができないキノコを紹介する展示とした。

8. 植物にとって大切な菌類：陸上の多くの植物は菌類との共生関係にあることを、アーバスキュラー菌根と外菌根の模型で展示すると共に、樋口源一郎氏の撮影した菌糸が植物の根に侵入し菌根を形成する過程の動画を紹介し視覚的に分かりやすい展示とた。また、菌従属植物のランの生体や、地衣類の乾燥標本を展示し植物と菌類との関わりを紹介した。

9. 地球のおそうじやさん：菌類の分解者としての役割を、シイタケ栽培の原木や菌床の腐朽の過程やシカの糞から生える菌類で紹介した。また、モグラの便所から生えるキノコとして知られるナガエノスギタケのジオラマと相良直彦氏が撮影したモグラの巣の中の動画を併せて紹介し、視覚的に分かりやすい展示とした。

10. キノコハウス：博物館中庭にキノコハウスを設置し、原木シイタケの生体を展示した。原木は約 70 本展示し、常時シイタケが生えている様子がみられるようにした。自然教室ではシイタケの採集体験を行った。

展示点数：約780点（当館収蔵資料数約350点）

期　　間：平成 24 年 9 月 22 日(土)～11 月 18 日(日) 開催日数 50 日間

入館者数： 36,175 人

来館者調査結果（抜粋）：

・調　査　数　　283 名
・居　住　地　　群馬県 69%　埼玉県 14%　栃木県　5%
東京都　4%　長野県　3%　その他　5%
・企画展の観覧は　初めて 56%　２回目 27%　３回目 17%　４回以上 63%
・企画展の内容は　満　足 86%　普　通 11%　不満足　3%
・わかりやすさは　よ　い 85%　普　通 12%　悪　い　4%

後　　援：群馬県野生きのこ同好会、一般財団法人日本きのこ研究所、森産業株式会社、群馬県酒造協同組合、聖徳銘醸株式会社、株式会社有田屋、田村方雄商店、（株）にんべん、日本冬虫夏草の会、日本菌学会、三省製薬株式会社、上毛新聞社、群馬テレビ、エフエム群馬、ＮＨＫ前橋放送局

協力団体：群馬県林業試験場、群馬県産業技術センター、群馬県林政課きのこ普及室、富岡環境森林事務所、黒岩椎茸生産部、国立科学博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、千葉県立中央博物館、神奈川県生命の星・地球博物館、大阪市立自然史博物館、鳥取県立博物館、（株）山七、明治ホールディングス株式会社、ソリューション・ナタ、千葉大学真菌医学研究センター、シネ・ドキュメント、BBC ワールドジャパン（株）、NHK エンタープライズ

関連事業：・オープニングセレモニー
日　時：9月18日（土）9:40～10:30
会　場：企画展会場、エントランス、学習室等
来　賓：共催者、富岡市教育長、富岡市吉田小学校校長、同校4･5･６年生児童とその保護者、自然史博物館友の会役員、
企画展協力者（個人5名）
セレモニー参加希望者（一般公募10名）
・講演会「冬虫夏草はおもしろい！！」講師：内山 茂(日本冬虫夏草の会)
・講演会「毒きのこってどういうの？」講師：松本哲夫
(群馬県林業振興課きのこ普及室)
・講演会「菌類と私たちの生活」講師：細矢 剛（国立科学博物館）
・講演会「うんこはごちそう」講師：伊沢正名（糞土師）
・自然教室「キノコハウス体験ツアー＆野生キノコを観察しよう」
講師：大井俊一（群馬県富岡保健福祉事務所）
・自然教室「おだしのことなら！にんべん食育プログラム」
講師：木村絵里子（株式会社にんべん）
・自然教室「家庭で楽しむ きのこ栽培」
講師：中沢 武（日本きのこ研究所）

実施設計・展示施工：有限会社　ディ･カールトン

印 刷 物：朝日印刷株式会社
招待券（6,000枚）、ポスター（B2縦：４色カラー・3,000部）と中吊り用ポスター（B3横:博物館印刷）、スケール入しおり（8種：各500枚）、パンフレット（60,000部）、図録（Ａ４判　縦とじ　800部）

そ の 他：ハンドタオル（2種の絵柄:各150）を製作しショップにて販売した。

④第４２回　企画展「サンゴ ―共生の海・ささえあう生命―」

展示概要

顕生代以降の地球生命の歴史において、サンゴの仲間（特に造礁性サンゴ）は二酸化炭素固定に大きく寄与していて、地球規模での環境にも影響を与えている。また太古のサンゴ礁は、石灰岩となって、人類の文明にも関わっている。多くの生物が互いに助け合って生きるサンゴの森にはエビ、カニ、ナマコなど様々な生物が密接な協力関係のもとに暮らしている。しかし今、サンゴ礁が危機に瀕している。地球温暖化により海水温が上昇し共生を保てなくなったサンゴが死滅しつつある。

本企画展では、動物界におけるサンゴの仲間（刺胞動物）の位置付けや分類、そしてサンゴ類の変遷と生物たちの絶妙な関係を紹介し、これからの地球環境を考える機会になるようなものとしたい。

１　開催期間

平成２５年３月１６日（土）～５月１２日（日）51 日

２　主な展示構成

A)　サンゴとサンゴ礁のはなし

サンゴ礁が地球や人類，生物多様性にとっていかに重要かを，歌う生物学者としても著名な「本川達雄氏」の言葉で構成したパネルで展示する．サンゴと，サンゴ礁，生物多様性に関する問題を知るには絶好の展示.

B)　地球の歴史と石灰岩

地質時代のサンゴなどの造礁生物化石と石灰岩の関係、奄美大島の喜界島で研究されているハマサンゴの年輪から得られるストロンチウムの量から得られる１万年の海水温の変化を紹介する。また、日常生活に関連した石灰岩の利用についても展示する。

【主な展示物】化石標本、ハマサンゴボーリングコア、石灰岩を利用した日用製品、写真パネルなど。

C) 生物としてのサンゴ

動物界におけるサンゴの仲間（刺胞動物）の位置付けや分類、サンゴの体の構造やサンゴの生活史、石灰岩をつくりだすメカニズムとサンゴ礁の島のでき方などを紹介する。

【主な展示物】フィジー産サンゴ　約５０点（照明を効果的に使う），クラゲ類などの刺胞動物の標本、サンゴ１個体の拡大模型、サンゴ礁の島の断面模型、サンゴの誕生から成長の動画、

サンゴのバンドルや幼生の観察コーナーなど。

D)サンゴ礁の危機

地球温暖化や表土・汚染物質の流入などの原因により，サンゴ礁とそこに生息する生物たちが危機に瀕している．サンゴの白化現象やダメージを受けたサンゴ礁の回復への取り組みについて，最先端の研究者の活動をもとに展示する．

【主な展示物】写真パネル，調査用具など．

E) ささえあう生命

褐虫藻は光合成をした物質のほとんどをサンゴに与え、サンゴの粘液は礁の生き物を養う。サンゴ礁で見られる様々な生物どうしの支え合い「共生」について展示する．農業をする魚「クロソラスズメダイ」とその生活についても紹介する．

【主な展示物】シャコガイ、リュウキュウアオイガイ　有孔虫（星砂），共生藻をもつその他の動物，クロソラスズメダイの紹介，写真パネル，褐虫藻の観察コーナー，サンゴと褐虫藻の共生動画など．

F) サンゴ礁の住人たち

【主な展示物】パネル、サンゴガニ、貝とサンゴ、ホンソメワケベラ、クマノミとイソギンチャクの共生　ハゼとエビ

G) 生きているサンゴ

サンゴの生活や生態について、生体飼育水槽や映像等を用いて紹介する。サンゴ礁の生物たちの写真館(県内のダイビング愛好家が撮影)

【主な展示物】サンゴ生体展示　サンゴ飼育専用水槽 2 台を展示（水槽以外の照明を落とし展示室空間に海面にみえる処理を施し、水中にいるような効果をねらう。

サンゴ数種類，サンゴ礁の生物，映像資料など。

H) サンゴの保全と私たち

サンゴ礁の恩恵・再生・保全について紹介する

【主な展示物】　パネル、宝石サンゴ

☆ 展示の随所に設ける体験コーナー

・標本にさわってみよう：サンゴの化石・サンゴの骨格・宝石サンゴ

・動画をじっくり見てみよう：サンゴの生活・サンゴの産卵

サンゴの卵～赤ちゃん～子ども・サンゴの体のひみつ・サンゴ礁の生き物たち

・遊びながら学ぼう：クイズラリー，塗り絵コーナー，共生早わかりパズル

５　展示指導

東京工業大学教授　生命理工学部　本川達雄教授

６　協力機関および協力者

琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設　中野義勝

東京工業大学　大学院情報理工学研究科　教授　灘岡和夫

東京大学大気海洋研究所　　准教授　横山祐典

愛媛大学　理学部　　助教授　畑啓生

プロモファクトリー

7　**入館者数**　9,101 人（平成 25 年 3 月 31 日までの入館者数）

(3)　特別展示

①　自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真に見るアフリカの大地」

趣　　旨：2010 年より一般社団法人となったサバンナクラブは、1976 年、山崎豊子作「沈まぬ太陽」の恩地 元のモデルとなった故小倉寛太郎が中心となって設立された。同クラブは、東アフリカを愛し、語り合い、理解を深め、そして支援することを目的とした団体であり、主な活動は、東アフリカへの支援活動と文化・啓蒙活動である。本企画は、故小倉寛太郎が撮影した写真と彼の遺品、同クラブの会員が撮影した写真を展示するものであり、その目的は、観覧者にアフリカの写真を通して東アフリカの自然や動物の雄大さ荘厳さを伝え、自然の美しさや儚さ、生命の尊さや動物たちの無垢の愛情を感じていただき、自然への畏敬の念を抱いていただくことであった。また、来館者の少ない冬期に、落ち着いた雰囲気の中で芸術を楽しめる博物館を提供し、新たな顧客層の開拓を行うことも目的とした。

展示点数：写真 154 点、動画 2 編、遺品 21 点、剥製標本 11 点、関連書籍等 22 冊
解説パネル等 10 点、計 220 点
（当館収蔵資料数 16 点）

期　　間：平成 25 年 1 月 1 日(祝)～平成 25 年 2 月 24 日(日)　開催日数 43 日

入場者数：15,753 人

来館者調査結果（抜粋）：

・調査数　　187 名

・居住地　　群馬県 75%　埼玉県 11%　栃木県　2%　東京都　5%
長野県　4%　その他　3%

・企画展の内容は　　満足 95%　不満足 5%

協　　力：一般社団法人サバンナクラブ　-　東アフリカ友の会、小倉和江

(4)　ミニ展示

①「新発見！ 世界最小・メスのナウマンゾウ」

2000 年に栃木県栃木市で発見され，当館研究報告 16 号で報告された世界最小のナウマンゾウ化石の特別展示を実施した.

期間：平成 24 年 4 月 13 日（金）～4 月 30 日（月・祝）

展示点数：標本 14 点，パネル等 4 点

②「絶滅イルカの全身骨格化石を発見」

2011 年 9 月に発見された非常に保存の良いハクジラ類の全身骨格化石が当館に寄贈されたため，平成 24 年度の「地質の日」記念事業として特別展示を実施した.

期間：平成 24 年 5 月 3 日（木）～5 月 13 日（日）

展示点数：標本 1 点，パネル等 3 点

③「県指定天然記念物－ジョウモウクジラ－」

当館収蔵のヒゲクジラ類化石 *Joumocetus shimizui* が群馬県指定天然記念物に指定された

ため，これに伴い特別展示を実施した.
期間：平成 24 年 6 月 8 日（金）～6 月 17 日（日）
展示点数：標本 1 点，パネル等 3 点

② Ｃコーナー解説員カウンター展示

展示テーマ	実施期間	展示内容
ダンゴムシ	4 月 1 日～6 月末	・ダンゴムシの生態・甲殻類の仲間 ・丸まる仲間（収斂進化）
食虫植物	7 月 1 日～9 月末	・食虫植物の生態・食虫植物の形態 ・食虫植物と大陸移動説
変形菌	10 月 1 日～12 月末	・変形菌と遊ぼう・変形菌の生態とライフサイクル ・変形菌生体展示・色々な変形菌
プラナリア	1 月上旬～3 月末	・プラナリアの生態・プラナリアの分裂と再生 ・プラナリア生体展示（実験）

(5) 共催展示

① 日本絹の里　第 59 回特別展「カイコとチョウ　ー季節とのかかわりー」

カイコとチョウを比較する展示を通じてカイコについての知識を深めてもらうことを目的とした。カイコやチョウが季節に適応して生活していることを紹介し、季節によって大きさや翅の模様などに違い（季節型）があることを標本で展示した。クイズやカイコに関わる先端技術や飼育についての基本的技術についても紹介した。

共　　催：群馬県立日本絹の里
展示会場：群馬県立日本絹の里
開催期間：平成 24 年 7 月 14 日～8 月 27 日
展示点数：昆虫標本箱 50
入館者数：3,770 人

２　教育普及

平成 24 年度は、教育普及事業および学校支援において、のべ 17,053 回の事業を開催し、58,984 名の参加者を得た。その内訳は、以下のようである。

(1)　教育普及事業

①　解説員対応

ア　展示解説（一般向け）

常設展示室並びに企画展示室の解説は、時間を決めて行う「定時解説」と来館者の質問に答えたり、解説員から声をかけて説明したりする「随時解説」を実施した。「定時解説」は、常設展示室内を、Ａコーナー(地球の時代)、Ｂコーナー(群馬の自然と環境)、2 階(ダーウィンの部屋、自然界におけるヒト、かけがえのない地球)の 3 つに区分し、それぞれの定時解説時間は 30 分で 1 日３回実施した。企画展開催中は、企画展の定時解説（30 分）を加えて行った。

月	開館日数	定時解説実施回数	常設展定時解説参加者	企画展定時解説参加者	定時解説参加者	一日平均参加者数	随時解説回数	随時解説参加者
4	26	72	220	92	312	12.0	1461	3327
5	27	72	216	59	275	10.2	1712	3798
6	19	11	26		26	1.4	981	2402
7	26	67	137	418	555	21.3	1777	3912
8	30	96	125	642	767	25.6	2408	5476
9	26	53	112	134	246	9.5	1242	2969
10	26	65	93	92	185	7.1	1582	3822
11	26	55	53	129	182	7.0	1082	2620
12	11	8	12		12	1.1	428	925
1	23	27	82		82	3.6	845	1932
2	23	35	100		100	4.3	850	1997
3	27	36	136	26	162	5.9	1358	3252
合計	290	597	1312	1506	2818	9.7	15726	36432

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	１３	２	０	０

イ　ビデオ上映会（一般向け）

自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料のビデオ上映会を行った。対象は、子どもや家族連れとし、上映内容も自然に関係する低学年用のものを多くした。毎週土曜日の午前 11 時と日曜日・祝日の午前 11 時、午後 2 時に上映した。また、夏期休業中は平日の午前 11 時、午後 2 時に上映した。ただし、上映場所である学習室を他の行事で使用する場合は上映を行わなかった。

月	上　映　作　品	上映回数	参加者数
4	ちきゅうはおおきなどうぶつえん 「おもしろファッションショー」 ディズニーアニマルワールド「ゾウ」	13	290
5	ディズニーアニマルワールド「ゾウ」 ビジュアル博物館「鳥類」	16	456
6	ディスカバリーチャンネル	7	136

	「羽毛恐竜の誕生～空を飛ぶ原始の翼」		
7	自然なぜなに？ＤＶＤ図鑑「カブトムシ」	24	722
8	ディズニーアニマルワールド「イルカ」 深海3,572ｍに生きる	50	1923
9	ディスカバリーチャンネル「サメ」	14	445
10	14ひきのおつきみ	9	173
11	トキよ舞い上がれ	7	48
12	まどからのおくりもの	15	95
1	ちきゅうはおおきなどうぶつえん「せかいりょこう」	15	251
2	ディズニー「ライオン」	12	297
3	ディスカバリーチャンネル「イルカ」	12	181
合　　計		194	5017

ウ　スポット解説（一般向け）

一般向けの「スポット解説」を２階展示室から１階Ａコーナーの恐竜を見下ろす位置から行った。恐竜について 10 分程度の解説をした。

月	スポット解説実施回数	スポット解説参加者	１回平均参加者数
4	22	87	4.0
5	17	93	5.5
6	28	102	3.6
7	15	87	5.8
8	4	24	6.0
9	14	62	4.4
10	8	41	5.1
11	6	24	4.0
12	3	13	4.3
1	6	32	5.3
2	3	12	4.0
3	5	16	3.2
計	132	602	4.6

エ　紙芝居（一般向け）

当館に来館する子育て中の親子を対象に、自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料の一般向け「紙芝居」を学習室で実施した。内容も自然に関係する幼児向けのものを多くした。土曜日の午後 2 時 15 分に実施した。

月	紙芝居実施回数	紙芝居参加者	１回平均参加者数
4	3	70	23.3
5	3	68	22.7
6	3	66	22.0
7	4	80	20.0
8	4	111	27.8
9	4	85	21.3
10	4	39	9.8
11	4	100	25.0
12	3	45	15.0
1	3	35	11.7

2	3	58	19.3
3	5	133	26.6
計	46	890	19.3

オ　スポット解説（学校向け）

学校等の団体を対象に「スポット解説」を実施した。スポット解説は、引率者と事前の打ち合わせを行い、特定の展示資料について 15 分程度の解説を行った。

内　　容	団体数	内　　訳
恐竜 カマラサウルス	40	幼稚園・保育園2　小学校 35 特別支援学校2　　その他 1
尾瀬	4	小学校 1　　中学校3
絶滅動物	2	小学校 2
幼児のための展示解説	7	幼稚園・保育園 7

カ　ビデオ上映会（学校向け）

学校等の団体を対象に「ビデオ上映会」を実施した。ビデオ上映会は、引率者と事前の打ち合わせを行い、自然史に関係する内容について上映した。

団体数	内　　訳
35	幼稚園・保育園　1　小学校 32　特別支援学校 1　その他 1

キ　解説員研修

展示解説の充実に向け、展示解説員の研修を以下の通り実施した。

・他館視察
　6 月 20 日　　ガスの科学館
・普通救命講習研修、接遇研修
　6 月 21 日　　富岡甘楽広域消防本部
・第 40 回企画展研修
　6 月 21 日、　7 月 11, 12, 13, 18, 19, 24, 25 日
・第 41 回企画展研修
　9 月 4, 7, 19, 21, 25, 26, 27, 28 日
・第 42 回企画展研修　　12 月 26 日、3 月 13, 15, 19, 20, 21, 22 日
・紙芝居研修、サイエンスサタデー実技研修　　12 月 26, 28 日

② ファミリー自然観察会

群馬県内の自然についての理解を深めるために、県内各地や博物館周辺を会場として自然観察会を開催し、家族で自然に親しむ機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月29日(日)	春の草花をみつけよう	博物館周辺でタンポポと春の草花の調査・観察を行った。	教育普及係 岩井利信	16
7月24日(日)	昆虫をつかまえよう～自由研究の参考に	博物館周辺で昆虫の採集の仕方や特徴について学んだ。	学芸係 高橋克之 当館ボランティア 青沼秀彦	35
8月11日(土)	セミのぬけがらを集めよう	博物館周辺でセミの抜け殻の調査を行った。	教育普及係 岩井利信	10
11月25日(日)	古生代の化石を探そう	桐生市青少年活動センター周辺の山で、サンゴやウミユリ等の化石採集を行った。	学芸係 髙桒祐司	20
12月9日(日)	バードウォッチング	博物館周辺で野鳥の調査を行った。	日本野鳥の会群馬会員 奥野博邦 田中征雄	18
1月27日(日)	かくれている昆虫を見つけよう	博物館周辺で冬越しをしている昆虫の調査を行った。	当館ボランティア 青沼秀彦	18
合　　計				117

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	２３	6	2	0
県民のニーズ	・川でイベント　・土の中の幼虫探し　・夜間の昆虫採集 ・クワガタやカブトムシのワークショップ　・食べられる昆虫 ・小学生以下も参加できるイベントを増やしてほしい			

③ 天体観望会

博物館の天体ドームに設置している 40cm 反射望遠鏡・15cm 屈折望遠鏡や移動式の天体望遠鏡、双眼鏡を使い、その時季に見られる代表的な星座・星雲、惑星について観察した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
４月29日(日)	昼間の星の観望会	ドーム内の 15 cm屈折望遠鏡で月を観察した。外では、太陽メガネや投影盤で太陽を観察した。	教育普及係小須田	11
５月21日(月)	金環日食観察会	金環日食を屈折望遠鏡と太陽メガネを使って観察した。	学芸係杉山・髙桒 教育普及係小須田	176

５月27日(日) 午前	昼間の星の観望会	ドーム内の 15 ㎝屈折望遠鏡で月を観察した。外では、太陽メガネや投影盤で太陽を観察した。	教育普及係 小須田	7
５月27日(日) 午後	昼間の星の観望会	ドーム内の 15 ㎝屈折望遠鏡で月を観察した。外では、太陽メガネや投影盤で太陽を観察した。	教育普及係 小須田	12
9月9日 (土)	昼間の星の観望会	ドーム内の15㎝屈折望遠鏡で月を観察した。外では、太陽メガネや投影盤で太陽を観察した。	学芸係 杉 山 教育普及係 小須田	12
11月3日 (土)	夏・秋の星を観察しよう	口径40センチ反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡、大型双眼鏡を使って夏・秋の星を観察した。	県立ぐんま天文台 倉林 勉	9
12月15日(土)	ふたご座流星群を観察しよう	博物館の屋上にシートを敷きふたご座流星群を観察した。惑星や星雲・星団の観察も行った。	学芸係 杉山直人	22
１月12日(土)	木星と冬の星たちを観察しよう	口径 40 センチ反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡、大型双眼鏡を使って木星と冬の星を観察した。	県立ぐんま天文台 倉林 勉	20
2月16日(土)	月と冬の星たちを観察しよう	口径40センチ反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡、大型双眼鏡を使って月と冬の星を観察した。	学芸係 杉山直人	22
3月17日(日)	昼間の星の観望会	ドーム内の15㎝屈折望遠鏡で月を観察した。外では、太陽メガネや投影盤で太陽を観察した。	教育普及係小須田	11
合　　計				302

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	21	0	0	0
県民のニーズ	季節毎に観望会を実施してほしい。			

④ 自然史講座

群馬の自然について考える講座を開催し、県民の自然への興味・関心や知識を高める機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
6月17日(日)	ぐんまの大地をつくる鉱物たち	群馬県で発見された4種類の新鉱物の紹介，飛鳥時代の柿本人麻呂と南牧村の関係の紹介。また，鉱物を持参した人に対しての鉱物鑑定を行なった。	鉱物科学研究所 所長 堀 秀道	63
9月23日(日)	ぐんまの陸貝の世界	自然教室形式で行ない，前半は貝・陸貝の定義について学び，標本作製の実習を行なった。後半は検索表を用いた同定の仕方を学び，各自が陸貝の同定を行なった。	学芸係 杉山直人	5

12月2日(日)	ぐんまの尾瀬・至仏山　～至仏山の保全と利活用～	国立公園に指定されている尾瀬の魅力について説明した後，尾瀬を保護している立場から尾瀬の現状と保全活動について解説した。	尾瀬保護財団 落合清勝	26
3月10日(日)	ぐんまの大地にねむる化石たち	ぐんまで見られる各地質年代の化石について，ぐんまの大地の成り立ちを含め詳細な説明を行なった。	学芸係 髙桒祐司	33
合　　計				127

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満足	不満足
	10	5	0	0
県民のニーズ	・群馬の石仏についての講演会			

⑤ 企画展 講演会

企画展に協力いただいた研究者や展示内容に関連する専門家を招いたり、企画展担当者が講師となったりして、企画展に関連した講演会を開催した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月22日(金)	青い魚はなぜ青い？ 魚の体色の不思議	魚の体の色や模様の役割、魚の色が生じるしくみ、構造色の利用について解説した。	東邦大学教授 大島　範子	29
8月5日(日)	知られざる深海の世界－現生・化石ウミユリを例に－	過去のウミユリがどのような経緯で化石になったか、現生と化石を比較しながら解説した。	名古屋大学 総合博物館 教 授 大路樹生	53
8月26日(日)	深海の生態系	潜水船をはじめとする様々な海洋観測機器を駆使して、明らかになった生態系進化の解明について解説した。	海洋研究 開発機構 領域長 北里 洋	86
9月30日 (日)	冬虫夏草は面白い	冬虫夏草について、形態の面白さだけでなく、宿主との関係やその生態、二次代謝産物について解説をした	日本冬虫夏草の会 内山　茂	52
10月14日(日)	毒きのこってどういうの	一般的なキノコの解説といろいろな毒キノコの説明，また，どのようにしたら中毒を防げるかについて解説した。	県林業振興課 松本哲夫	41
10月21日 (日)	菌類と私たちの生活	菌類について、菌類のコンセプトを整理し、カビ・キノコ・酵母としてまとめられている新菌類について解説した。	国立科学博物館 細矢　剛	47

11月11日(日)	うんこはごちそう	菌類関係を中心とした生態系の話を核にして，自然界と人間がどのように接していくべきかを解説した。	糞土師 伊沢正名	77
合　　計				385

⑥ 企画展 自然教室

企画展に展示された資料や標本、また企画展に関連した資料や標本等を題材として、企画展に関する興味と関心を高めるために、さまざまな自然教室を実施した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月15日(日)	光の万華鏡をつくって、昆虫の色や模様の秘密を探ろう	光と眼、動物のからだの色や模様ののしくみについて学び、光の万華鏡作をつくりを行い、顕微鏡を使って様々な昆虫を観察した。	教育普及係 岩井利信 学芸係 杉山直人	40
7月15日(日)	チリメンモンスターをゲットしよう	チリメンジャコの中から、いろいろな生物を探し出しその同定を行い、海の中の数多くの生物について理解を深めた。	学芸係 田中・木村 教育普及係 小須田	28
8月12日(日)	ペーパークラフトで深海の世界をつくろう	深海に生息する奇妙な形をした生物は普段見ることは出来ないが、ペーパークラフトでつくり、それらについて理解を深めた。	学芸係 田中・木村 教育普及係 小須田	26
10月14日 (日)	秋の野生きのこウオッチング	当館中庭の旧レストラン前に群馬県内で採取されたキノコ約100種類の展示を行った。	群馬県野生きのこ同好会	－
10月14日 (日)	キノコハウス体験ツアー＆野生キノコを観察しよう	キノコとはどのようなものかを学んだ後、博物館周辺で野生のキノコ観察をし、中庭のキノコハウスでシイタケの採集を行った。	群馬県富岡保健福祉事務所 大井俊一	16
11月4日(日)	おだしのことなら	かつお節ができるまでの基本的な説明の後，おいしい出汁の取り方について解説を受け実際に一人ひとりが実習を行なった。	(株)にんべん 木村絵里子	15
11月18日 (日)	家庭で楽しむキノコ栽培	家庭でもできるキノコの栽培方法について学び、キノコ栽培実習（原木栽培、菌床栽培）を行った。	日本きのこ研究所 中沢　武	17
合　　計				132

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	２９	３	０	０

県民のニーズ	・化石採集　　・昆虫の標本作り　・化石のレプリカづくり ・恐竜のペーパークラフトづくり（２） ・ペーパークラフトは対象年齢をもうけてもよい

⑦ 自然史博物館探検隊

展示室内の宿泊や、普段公開していない収蔵庫や展示室の裏側探検など通して、子どもたちに博物館を身近なものに感じてもらうとともに、地球の成り立ちや生物の進化、群馬の自然について、興味・関心を高めてもらうため実施した。参加者へ指導（宿泊指導を含む）は、次長、教育普及係２名、学芸係１名、展示解説員３名で行った。

日　　時：7 月 28 日(土)　集合　午後 6:00
　　7 月 29 日(日)　解散　午前 8:00
参加人数：小学生 34 名　（募集対象：小学 4～6 年生）

⑧ ミュージアムスクール

小学 5 年生から中学 3 年生を対象に、様々な体験を通して自然のしくみを知り、自然を大切にする理科好きな子どもの育成をめざしてミュージアムスクールを実施した。今年度は、3 コースに分け、コース別にテーマに沿って 10 回の課題追究学習を行った。

コース名	概　　要	指導担当職員	参加者数
川の植物調査コース	県内各地のフィールドに出かけ，川の植物の植生，昔との比較，上流・下流の比較を行なった。	学芸係 大森威宏	2
キノコ調査コース	博物館の周りのキノコを中心に採集，同定し，過去に採集されたデータと比較を行なった。	学芸係 篠原克実	3
ネズミ調査コース	博物館南西部の里山をフィールドとし，季節ごとの個体数の変化を中心に捕獲調査を行なった。	学芸係 木村敏之	3
合　　計			8

⑨ 学芸員による特別解説

博物館展示室の資料を使って、学芸員による最新の研究成果を解説した。13：30 から 30 分間、14：30 からの 30 分間の 1 日 2 回の解説を行った。展示室と博物館のバックヤード（収蔵庫や研究室等）でそれぞれの専門分野について特別解説した。

月　日	時間	テーマ	講師	参加者数
5月13日(日)	１３：３０～	企画展「オシャレな動物たち」ができるまで	学芸係　杉山直人	7
	１４：３０～	眼の進化	学芸係　田中源吾	9
7月16日(月)	１３：３０～	哺乳類	学芸係　姉崎智子	7
	１４：３０～	ぐんまの化石	学芸係　木村敏之	8
10月8日(月)	１３：３０～	植物	学芸係　大森威宏	2
	１４：３０～	菌類	学芸係　篠原克実	7
11月11日(日)	１３：３０～	昆虫	学芸係　高橋克之	8
	１４：３０～	化石	学芸係　高桑祐司	11
合　　計				59

⑩ 出張展示

ア 移動博物館

遠隔地のため博物館に来館する機会の少ない人や、身体的な都合により来館しても十分に見学できない人に博物館を利用する機会を提供するため、県内各地の学校や公民館等へ資料を運んで展示する移動博物館を開催した。前年度中に県内北毛地域の各学校・各公民館、県内特別支援学校に開催希望をとり、実施した。会場から要望がある場合は、体験活動を行った。体験活動は「化石のレプリカづくり」と「飛ぶタネの模型づくり」を行った。

会　　場	期　　日	利用者数	博物館資料点数
新田荘歴史資料館	7月21日(土)～ 7月22日(日)　2日間	336	98
イオンモール佐久平	10月8日(月・祝)　1日間	1,455	35
群馬県立渡良瀬養護学校しろがね分校	12月18日(火)～12月19日(水)　2日間	213	99
合　　計		2,004	232

アンケート結果	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満
参加者の満足度	１４	３	１	０	０
県民のニーズ	・わかりやすく説明してもらえてよかった。 ・いろいろな剥製や化石を見ることができてよかった。 ・１年間に開催する回数をもっと増やしてほしい。				

イ 他館連携出前教室

アンケートで、来館者の 3 分の 2 がリピーターであることから、当館の存在をより多くの県民に知ってもらうことが来館者増につながる。年間に数回、県内の公共施設等においてはく製や化石などを展示するとともに、当館のチラシを配布してＰＲ活動を行った。また、必要に応じて化石のレプリカづくり等の体験活動を実施し、当館への興味・関心を高めた。

会　　場	期　　日	担当
観音山ファミリーパーク	5月20日(日)　1日間	教育普及係　戸所雄彦 教育普及係　武井郁也 博物館ボランティア3名
ぐんま天文台	6月20日(日)　1日間	教育普及係　小須田健志
富岡市視覚障害者福祉協会	7月12日(木)　1日間	教育普及係　武井郁也 教育普及係　小須田健志 職場体験（高校生）4名
群馬県生涯学習センター	7月25日(水)　1日間	教育普及係　武井郁也
高崎市少年科学館	9月 9日(日)　1日間	教育普及係　武井郁也
前橋市児童文化センター	3月10日(日)　1日間	教育普及係　武井郁也

⑪ サイエンス・サタデー

毎週土曜日の午後 2 時から 3 時まで、実験室や館周辺を活用した生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり教室を行った。対象を小学生以上とし、講師や補助指導は館職員とボランティアが行った。

月	テーマ	概　　要	参加者数
4	カラーワイヤーで昆虫をつくろう	昆虫について学んだあと，好きな色のカラーワイヤーで昆虫を2体作成した。	155
5	ライオンの歯のレプリカをつくろう	ライオンの歯のレプリカ作りを通して，動物の歯の形，大きさ，食べ物との関係について学んだ。	164
6	火山灰から宝石を見つけよう	火山灰をわんがけし，鉱物の結晶を双眼実態顕微鏡で観察して記録した。	208
7	翼竜アンハングエラ型グライダーをつくろう	翼竜アンハングエラの生態を学び、翼竜アンハングエラグライダーをつくり、中庭で飛ばした。	196
8	アンモナイト化石のレプリカをつくろう	アンモナイトについて学んだあと，石膏でアンモナイト化石のレプリカを作製した。	385
9	飛ぶたね型ブーメランをつくろう	植物の種の散布方法について学んだあと，種の模型づくり，ブーメラン作りを行なった。	137
10	くるくる絵本でつくるキノコの世界	キノコの仲間，特徴，増え方について学んだあと，くるくる絵本を作成した。	98
11	よくとぶ紙トンボををつくろう	赤トンボの見分け方について学んだあと，紙トンボを作成し，中庭で飛ばした。	101
12	岩絵の具でクリスマスカードや年賀状をつくろう	鉱物から岩絵の具ができ，昔から利用されていることを学んだあと，自分だけのオリジナルカードを作成した。	70
1	松ぼっくりで動物をつくろう	松ぼっくりの不思議とその1年を学び、松ぼっくりやドングリを用いて動物を作成した。	101
2	土の中から石の結晶を見つけよう	身近な土をわんがけし，鉱物の分類を行なった上で，鉱物カードを作成した。	115

3	顕微鏡で土の中の生き物を見つけよう	博物館の南にある山で土を採集し、土の中の小さな生き物を見つけ、双眼実体顕微鏡で観察した。	82
合　　計			1812

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	5	3	0	0
県民のニーズ	恐竜についての教室。サメの歯のレプリカ作り等。			

⑫ ミュージアム・ナイト・ツアー

夜の博物館を映画のキャスト等に扮した館職員が案内した。毎年、参加希望者が多数いることから定員を30名から45名として実施した。実施時間は17:30～、18:00～、18:30～を設定し、閉館後の時間帯に行った。恐竜絶滅の原因を薄暗い展示室内の壁を利用して映像で見せたり、夜行性の動物の生態について紹介したり、薄暗い展示室の特徴を生かして解説を行った。

開催日：10月13日（土）（19名参加）・10月27日（土）（42名参加）・11月10日（土）（45名参加）　参加者合計：106名

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	36	1	0	0
県民のニーズ	・開催回数を増やしてほしい。 ・ドキドキする仕掛けをもっと増やしてほしい。 ・泊まれるツアーにしてほしい。			

⑬ バックヤード・ツアー

普段は公開していない博物館のバックヤード（収蔵庫や研究施設）を館職員が案内した。収蔵庫に保管してある化石や剥製などの様々な標本、資料整理の仕方や職員が取り組んでいる調査・研究などについて紹介した。今年度から毎月第一日曜日にバックヤードツアー30を開始した。

1月20日（日）10：30～11：30・13：30～14：30
参加者　39名

2月17日（日）10：30～11：30・13：30～14：30
参加者：17名

バックヤードツアー30参加者

月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数
4	12	7	10	10	11	1	5
5	11	8	10	11	11	2	6
6	13	9	10	12	8	3	8
合計							115

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	３７	４	０	０
県民のニーズ	・もっとゆっくり時間をかけて見学したい　・ジャンル別に見学したい ・もっといろいろな化石が見たかった　・大人と子どもで別ツアー			

	・説明付きの解説書がほしい

⑭ 高校生学芸員

高校生の自然科学への関心を高めるため、自分で設定した研究テーマについて、学芸係職員の指導をもとに調査・研究を行う事業を実施した。今年度は１７名の高校生が、６分野１４のテーマに取り組んだ。

	分 野	主な活動内容	参 加 者	担当
1	種子植物	精油成分をもつ植物とその効用	新島学園高等学校　２名	大森
2	哺乳類	群馬県内で捕獲されたアライグマの年齢構成	県立富岡東高等学校 １名	木村 姉崎
		群馬県産現生イノシシの骨成長	県立富岡東高等学校１名	木村 姉崎
		ニホンジカの下顎骨表面構造の加齢変化と年齢査定への応用の可能性	県立高崎女子高等学校１名	木村 姉崎
		草食動物の食性の違いによる摩耗パターンの研究－ニホンジカとニホンカモシカの比較を通して－	県立高崎女子高等学校１名	木村 姉崎
		野生動物による被害	県立富岡東高等学校１名	木村 姉崎
3	貝類	安中市付近に生息する陸産・淡水産貝類について	新島学園高等学校１名	杉山
4	菌類	種々の有機物の配合の違いによるヒラタケ菌糸の伸長と子実体の形成	高崎女子高等学校１名	篠原
5	地質	群馬県南西部中新統庭谷層から産出する生痕化石	県立富岡高等学校　１名 県立高崎高等学校　１名	田中
		群馬県南西部に分布する新第三系堆積岩類の小断層解析	県立高崎女子高等学校　２名	田中
6	古生物	富岡層群産ミョウガガイ科化石の研究	県立富岡東高等学校　１名	髙桒
		自然史博物館に収蔵されているサメ類化石の歯列復元	県立桐生高等学校　１名	髙桒
		アンモナイト化石の研究	本庄東高等学校（埼玉県）１名	髙桒
		化石が残りやすい地層は存在するのか（化石を含む地層の風化に関する研究）	県立高崎女子高等学校　１名	髙桒

⑮ チャレンジ講座

団塊の世代向けの講座として、参加者の知的好奇心を満たし、それぞれの分野に対する興味関心が高まるきっかけとなるよう以下の３コースで実施した。

コース	内　　容	人数	担当
植物コース	スミレと春の草花の観察を行い、スミレ科の同定を行う。	6	大森
貝類コース	身近な貝類の採集を行い、貝類標本の作製、種の同定を行う。	2	杉山
昆虫コース	博物館周辺で昆虫採集を行い、標本を作製する。	1	高橋

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	9	0	0	0

県民のニーズ	・もう少し講座回数を増やしてほしい。 ・開催時期について、年間を通して行ってほしい。

⑯その他の教育普及事業

〇おもしろサイエンス

ＤＣ関連「夏休み宿題イベント」として、7 月～9 月の土曜日の午前中に、団体向け体験学習「化石のレプリカづくり」を実施した。

7 月 7 日（土）10：15～11：15
上野村立上野小学校　35 名

9 月 8 日（土）10：15～11：15
千葉県柏市立柏第五小学校　38 名

〇恐竜サンドをつくろう

山﨑パンとの共催事業として、山﨑パンサンドイッチ教室（食育プログラム）「恐竜サンドをつくろう」を実施した。恐竜サンドがステゴザウルスだったので、ステゴザウルスと恐竜の卵の説明・紹介を博物館側で担当した。

7 月 29 日（日）14：00～15：30　26 名

(2) 教育支援

① 学校・教科主任会などへの講師派遣や館内での講師対応

ア　大学・高等学校教育への支援　　計　実施数 18 回、744 名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
県立太田女子高等学校（SPP 事業）	高 1, 2	7 月 26 日	太田女子高校	21	動物の体の構造と生態について講義	姉崎
		7 月 27 日		22	クマの骨の測定実習	姉崎
		8 月 1 日	自然史博物館	23	クマの骨の測定実習、バックヤード見学	姉崎 小須田

		8 月 22 日	太田女子高校	23	クマの骨の測定実習まとめ	姉崎
県立太田女子高等学校	高 1,2	8 月 1 日	自然史博物館	7	博物館展示見学、介形虫化石の同定作業	田中
青山学院大学	大学	8 月 10 日	自然史博物館	28	博物館講座野外実習	三田
県立太田女子高等学校	高 1,2	8 月 21 日	太田女子高校	8	介形虫化石の同定作業	田中
県立富岡高等学校	高３	8 月 30 日	富岡高校	184	職業人講話	髙桒
県総合教育センター研修講座	教員	9 月 28 日	自然史博物館	8	生物の体に関する観察・実験や指導法の工夫	姉崎 小須田
県立前橋東高等学校	高 1	10 月 5 日	自然史博物館	30	博物館の役割と学芸員の仕事、レプリカづくり体験	三田 戸所 武井 篠原
県立西邑楽高等学校	高 1	10 月 10 日	自然史博物館	37	総合的な学習の時間の一環	武井 小須田
群馬医療福祉大学	大学	10 月 13 日	自然史博物館	8	博物館の効果的な利用法について	武井
県立太田女子高等学校	高 1,2	10 月 27 日	太田女子高校	8	介形虫化石の同定作業	田中
県立尾瀬高等学校	高 1	11 月 8 日	自然史博物館	21	自然史博物館の展示概要、博物館ボランティアによる展示解説	三田 戸所 小須田
早稲田大学本庄高等学院	留学生・教員	11 月 9 日	自然史博物館	16	シンガポール留学生を招いての教育活動	姉崎
県立太田女子高等学校	高 1	12 月 13 日	太田女子高校	285	キャリアーアドバイザー講話	姉崎
県立太田女子高等学校	高 1,2	12 月 15 日	太田女子高校	7	介形虫化石の同定作業	田中
県立太田女子高等学校	高 1,2	1 月 12 日	太田女子高校	8	介形虫化石記載論文の指導	田中

イ　小中学校教育への支援

ｉ　総合的な学習の時間への対応（一般見学は除く）　　計 5 校、250 名

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容（対応方法）	対応職員等
高崎市立入野中学校	中１	5 月 9 日	63	尾瀬学校事前学習	解説員
甘楽町立第二中学校	中１	5 月 17 日	50	尾瀬学校事前学習	解説員
富岡市立西中学校	中１	5 月 22 日	120	尾瀬学校事前学習	解説員
富岡市立西小学校	小６	6 月 14 日	12	身近な施設について	小須田

深谷市立川本中学校	中２	７月５日	5	化石について調査体験	小須田

ⅱ　小学校・中学校及び理科主任会等への職員派遣・支援　　計 53 回　受講者 3480 名

職員派遣	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
富岡市小中学校校長会	校長	4 月 10 日	富岡市教育委員会	27	自然史博物館の効果的な利用方法	小須田
太田市小学校理科主任会	教員	4 月 18 日	太田市立休泊小学校	50	同上	岩井
玉村町小中学校理科主任会	教員	4 月 19 日	玉村町中央小学校	10	同上	武井
みどり市教頭会	教頭	5 月 14 日	みどり市教育庁舎	20	同上	小須田
県小学校理科部会	教員	5 月 22 日	県生涯学習センター	55	同上	岩井
県中学校理科部会	教員	5 月 29 日	群馬大学附属中学校	60	同上	戸所
桐生市中学校理科主任会	教員	6 月 26 日	桐生市立梅田中学校	15	自然史博物館の効果的な利用方法	戸所
桐生市小学校理科主任会	教員	7 月 6 日	桐生市立新里中央小学校	30	自然史博物館の効果的な利用方法	小須田

【出前授業】

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
富岡市立西小学校	全校児童	5 月 18 日	富岡市立西小学校	360	朝礼講話（金環日食について）	杉山
富岡市立高田小学校	全校児童	5 月 21 日	富岡市立高田小学校	110	朝礼講話（金環日食観察会）	三田
甘楽町立福島小学校	児童・保護者	6 月 3 日	甘楽町立福島小学校	400	おもしろ科学実験・飛ぶタネの模型作り	岩井 小須田
富岡市立一ノ宮小学校	全校児童	6 月 26 日	富岡市立一ノ宮小学校	417	朝礼講話（安中市碓氷川の化石について）	木村
富岡市立一ノ宮小学校	小６	6 月 26 日	富岡市立一ノ宮小学校	30	植物化石取り出し	木村
前橋市立東小学校	小５	6 月 27 日	県立妙義青少年自然の家	131	天体観望会	杉山
小学校理科研修講座（高崎市教育研究所）	教員	7 月 26 日	高崎市立中居小学校	20	ブタの内臓・天体望遠鏡の教材化	武井 杉山
太田市小学校理科主任会	教員	8 月 7 日	太田市立休泊小学校	30	地層の観察、指導法	戸所

高崎市中・養護学校理科主任会	教員	8月7日	自然史博物館	22	地層の観察、指導法	小須田
かぶら理科研究会	教員	8月8日	自然史博物館	15	博物館実習の一環	三田 杉山 小須田
利根・沼田小中学校教育研究会	教員	8月9日	自然史博物館	28	化石のレプリカ作り、バックヤード見学	戸所 小須田
玉村町小中学校教育研究会	教員	8月10日	自然史博物館	15	化石のレプリカ作り、バックヤード見学	武井 小須田
前橋市立永明小学校	小5	8月30日	県立妙義青少年自然の家	85	天体観望会	杉山 小須田
東京都羽村市立羽村第三中学校	中1～3	9月4日	県立妙義青少年自然の家	35	初秋の星座について講話・天体観望会	杉山
富岡市立一ノ宮小学校	小6	9月9日	富岡市立一ノ宮小学校	86	化石のレプリカ作り	小須田
甘楽町立福島小学校	小6	9月11日	甘楽町立福島小学校	42	太陽と月の表面観察	杉山 小須田
東京都立葛飾特別支援学校	高1	9月12日	県立妙義青少年自然の家	81	初秋の星座について講話・天体観望会	杉山
東京都江戸川区立鹿本小学校	小6	9月15日	県立妙義青少年自然の家	72	初秋の星座について講話・天体観望会	杉山
県総合教育センター研修講座	教員	9月28日	自然史博物館	8	生物の体に関する観察・実験や指導法の工夫	姉崎 小須田
千葉県立中央博物館	博物館職員	10月2日	自然史博物館	4	博物館の学校教育利用に係る実態調査	小須田
吉井市立西小学校	小6	10月11日	鏑川	46	露頭の観察	髙桒
甘楽町立福島小学校	小6	10月11日	鏑川	42	露頭の観察	田中 小須田
高崎市立豊岡小学校	小6	10月19日	高崎市立豊岡小学校	115	大地のつくりと変化・化石レプリカ作り	武井
千葉県南房総市立和田小学校	小6	10月20日	県立妙義青少年自然の家	18	初秋の星座について講話・天体観望会	杉山
安中市立九十九小学校	小6	10月24日	安中市立九十九小学校	10	碓氷川地層見学	髙桒 小須田

高崎市立城南小学校	小5	10月25日	岩平地区里山・牛伏ドリームセンター	65	ネイチャーゲーム・陸貝について・秋の星座について講話・天体観望会	戸所・杉山・武井
富岡市立高田小学校	小3～6	10月30日	県立妙義青少年自然の家	56	秋の星座について講話・天体観望会	杉山
桐生市中学校理科部会	教員	10月31日	桐生市立梅田中学校	25	教職員研究協議会の指導助言	戸所
富岡市立妙義小学校	小3～6	11月8日	県立妙義青少年自然の家	12	自然科学教室	三田
高崎市立南八幡小学校	クラブ	11月15日	南八幡小学校	33	アンモナイト、三葉虫化石ののレプリカ作成	岩井
青倉保育園	園児	11月16日	県立妙義青少年自然の家	32	秋の星座についての紹介・天体観望会	杉山
長野屋代南高等学校	教員	11月16日	自然史博物館	6	常設展示の説明	三田
安中市立後閑小学校	小2	11月17日	安中市立後閑小学校	36	飛ぶタネの模型づくり	武井
前橋市立第七中学校	中3	11月30日	前橋市立第七中学校	207	国際理解について講話	岩井
東吾妻町立岩島小学校	小1・2	1月17日	東吾妻町立岩島小学校	30	飛ぶタネの模型づくり	岩井
伊勢崎市立境剛志小学校	小6	1月22日	伊勢崎市立境剛志小学校	79	化石さがし	戸所 小須田
伊勢崎市立宮郷小学校	クラブ	1月23日	伊勢崎市立宮郷小学校	39	化石のレプリカづくり	戸所
高崎市立城南小学校	科学クラブ	1月24日	高崎市立城南小学校	26	化石のレプリカづくり	武井
高崎市立西部小学校	理科クラブ	1月24日	高崎市立西部小学校	20	液体窒素実験	小須田
渋川市立伊香保小学校	小6 小3	2月15日	渋川市立伊香保小学校	44	化石のレプリカづくり 飛ぶタネの模型づくり	武井
安中市立秋間小学校	小3	2月15日	安中市立秋間小学校	23	親子科学実験	小須田
県中学校理科部会	教員	2月20日	自然史博物館	50	博物館利用について バックヤードツアー	岩井 戸所 小須田
藤岡市立鬼石北小学校	小6	2月22日	藤岡市立鬼石北小学校	14	化石のレプリカづくり	岩井
特別支援教育推進研修会	教員	3月5日	自然史博物館	80	学習支援及び特別支援学校への出前授業など	岩井

富岡市立南中学校	中１	3 月 19 日	甘楽町造石	114	露頭の観察	三田 小須田

② **館内授業**　　計　参加校 50 校、授業数 81 件、参加人数 3,015 名

学校名	学年	実施日	人数	内容	授業数
板橋区立板橋第九小学校	5	5 月 11 日	25	レプリカ	1
太田市立韮川西小学校	3	5 月 11 日	79	レプリカ	2
太田市立南小学校	4	5 月 16 日	72	レプリカ	2
寄居町立寄居小学校	3,4	5 月 17 日	111	レプリカ	2
板橋区立大山小学校	5	5 月 18 日	11	レプリカ	1
板橋区立加賀小学校	5	5 月 23 日	66	レプリカ	2
みどり市立大間々東小中学校	小３～中３	5 月 24 日	23	レプリカ	1
深谷市立大寄小学校	3,4	5 月 25 日	49	飛ぶタネ	1
板橋区立大谷口小学校	5	5 月 25 日	76	レプリカ	2
太田沢野中央小学校	4	5 月 30 日	59	レプリカ	2
沼田市立東小学校	4	5 月 30 日	52	レプリカ	1
板橋区立高島第三小学校	5	6 月 1 日	59	レプリカ	2
板橋区立赤塚新町小学校	5	6 月 7 日	26	レプリカ	1
玉村町立芝根小学校	3	6 月 8 日	64	レプリカ	2
板橋区立志村第一小学校	5	6 月 13 日	89	レプリカ	2
渋川市立小野上小学校	5	6 月 14 日	14	レプリカ	1
練馬区立石神井北小学校	1～6	6 月 15 日	8	レプリカ	1
台東区立柏葉中学校	1～3	6 月 28 日	27	レプリカ	1
東久留米市立本村小学校	6	6 月 29 日	75	レプリカ	2
北本市立東小学校	5	7 月 4 日	107	レプリカ	2
東久留米市立第五小学校	6	7 月 6 日	86	植物化石	2
板橋区立第二小学校	5	7 月 11 日	28	レプリカ	1
文京区立本郷台中学校	1	7 月 13 日	70	植物化石	2
文京区立音羽中学校	1	9 月 7 日	103	レプリカ	2
佐野市立山形小学校	6	9 月 7 日	19	レプリカ	1
東大和市立第二小学校	6	9 月 13 日	99	レプリカ	2
西東京市保谷第一小学校	6	9 月 14 日	73	レプリカ	2
文京区立第六中学校	1	9 月 20 日	100	レプリカ	2
板橋区立前野小学校	5	9 月 21 日	110	レプリカ	2
前橋市立総社小学校	3.4	10 月 3 日	81	レプリカ	2
桐生市立新里北小学校	3.4	10 月 4 日	35	レプリカ	1
昭和村立大河原小学校	3.4	10 月 4 日	26	レプリカ	1
甘楽町立秋畑小学校	6	10 月 4 日	5	植物化石	1
前橋市立駒形小学校	4	10 月 5 日	72	レプリカ	2
大泉町立西小学校	4	10 月 12 日	79	レプリカ	2
大泉町立南小学校	4	10 月 17 日	125	レプリカ	3
桐生市立新里中央小学校	4	10 月 18 日	53	レプリカ	2

吉岡町特別支援交流会	小 3～中 3	10 月 18 日	29	レプリカ	1
前橋市立大胡中学校	1～3	10 月 19 日	21	レプリカ	1
板橋区立高島第一小学校	5	10 月 19 日	73	レプリカ	2
板橋区立志村第二小学校	5	10 月 24 日	100	レプリカ	2
板橋区立三園小学校	5	10 月 26 日	99	レプリカ	2
板橋区立新河岸小学校	5	10 月 31 日	68	レプリカ	2
板橋区立舟渡小学校	5	10 月 31 日	55	レプリカ	1
前橋市立大胡小学校	6	11 月 7 日	87	レプリカ	2
安中市立秋間小学校	6	11 月 15 日	26	植物化石	1
太田市立中央小学校	4	11 月 22 日	74	レプリカ	2
東久留米市適応教室		1 月 25 日	14	植物化石	1
高崎市立北小学校	4	1 月 30 日	8	レプリカ	1
太田市立太田中学校	1	2 月 14 日	105	レプリカ	2

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	10	0	0	0
県民のニーズ	・学べる場があることが大変良い。 ・素晴らしい授業で、子どもの興味関心が高まった。			

※授業内容は以下の通り

レプリカ:「化石のレプリカを作ろう」　　植物化石：「植物化石を探そう」

飛ぶタネ：「飛ぶタネの模型を作ろう」

③ 職場体験活動（中学校・高等学校）　　計 14 校・36 日・延べ 35 名

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容	対応職員
高崎市立佐野中学校	中 2	5 月 23 日・24 日	1	教育普及業務	小須田
県立吉井高等学校	高 2	7 月 10 日～12 日	3	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	武井・小須田 高橋・篠原
富岡市立妙義中学校	中 2	8 月 21 日～23 日	2	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	岩井・戸所 髙桒・篠原
安中市立松井田南中学校	中 2	8 月 29 日～31 日	4	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	高橋・杉山 木村・田中 小須田
甘楽町立第二中学校	中 2	9 月 4 日・5 日	4	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	戸所・武井 杉山・髙橋
県立尾瀬高等学校	高 2	9 月 6 日・7 日	1	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	杉山・小須田
安中市立第一中学校	中 2	9 月 11 日～13 日	4	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	杉山・田中 小須田
安中市立第二中学校	中 2	9 月 26 日～28 日	4	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	木村・杉山 岩井・小須田
富岡市立南中学校	中 2	10 月 2 日	1	教育普及業務	小須田

甘楽町立第一中学校	中２	10 月 3 日・4 日	4	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	戸所・髙桒 杉山・田中
富岡市立富岡中学校	中２	10 月 4 日・5 日	1	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	高橋・田中 小須田
県立吉井高等学校	高１	10 月 16 日～18 日	4	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	高橋・杉山 木村・姉崎 小須田
県立盲学校	高２	10 月 30 日～11 月 2 日	1	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	高橋・杉山 小須田
安中市立松井田北中学校	中２	11 月 28 日～30 日	1	教育普及業務・学芸業務に関わる資料整理	高橋 戸所・小須田

④ 教育用資料貸出 **延べ ９０団体**

貸出先	貸出資料	使用目的	貸出日	返却日
群馬県立高崎女子高等学校	液体窒素	科学部	24,4,12	24.4.15
群馬県立勢多農林高等学校	液体窒素	理科授業	24,4,24	
富岡市立黒岩小学校	屈折式望遠鏡 投影版	理科授業	24,4,25	24,5,22
富岡市立富岡小学校	動物頭骨標本 ウマ,トラ,チンパンジー,ホモサピエンス	歯科保健指導	24,6,21	24,6,29
甘楽町立第二中学校	屈折式望遠鏡 投影版	日食観察	24,5,20	24,5,22
中之条町立中央公民館	液体窒素 実験セット	少年教室	24,8,17	24, 8, 18
玉村町立芝根小学校	昆虫標本セット チョウ・バッタ・トンボ・ハチ・カブトムシ・クモ	理科授業	24,6,8	24,6,21
群馬県立前橋女子高等学校	液体窒素	文化祭練習	24,5,24	24,5,30
富岡市立黒岩小学校	屈折式望遠鏡 投影版	理科授業	24,6,5	24,6,7
高崎市立南小学校	昆虫標本セット チョウ・バッタ・トンボ・ハチ・カブトムシ・クモ	理科授業	24,5,29	24,6,5
群馬県立前橋女子高等学校	液体窒素 ジュワー瓶	文化祭	24,6,7	24,6,15
高崎市立南陽台小学校	液体窒素 実験セット	PTA 活動	24,6,27	24,6,30
群馬県立勢多農林高等学校	液体窒素	理科授業	24,6,6	
群馬県立勢多農林高等学校	液体窒素	理科授業	24,6,29	
高崎市立西小学校	昆虫標本セット チョウ・バッタ・トンボ・ハチ・カブトムシ・クモ	理科授業	24,6,21	24,6,28

高崎市立吉井西小学校	昆虫標本セット チョウ・バッタ・トンボ・ハチ・カブトムシ・クモ	理科授業	24, 7, 3	24, 7, 6
群馬大学工学部	レプリカ作成セット	理科授業	24, 8, 11	24, 8, 18
群馬大学工学部	クリノメータ	理科授業	24, 8, 11	24, 8, 18
甘楽町立第二中学校	液体窒素 ジュワー瓶	理科授業	24, 7, 4	24, 7, 7
群馬県立吉井高校	液体窒素	理科授業	24, 7, 12	
NPO法人手をさしのべて	液体窒素 実験セット	理科実験	24, 8, 1	24, 8, 3
群馬県立桐生女子高校	液体窒素	理科授業	24, 8, 24	
安中市立松井田小学校	液体窒素 実験セット	科学クラブ	24, 9, 4	24, 9, 5
伊勢崎市立殖蓮第二小学校	いろいろな化石	理科授業	24, 9, 28	24, 10, 7
高崎市立東小学校	レプリカ作成セット アンモナイト, 三葉虫	理科クラブ	24, 8, 28	24, 8, 31
下仁田町立下仁田小学校	屈折式望遠鏡 反射式望遠鏡	野外活動	24, 8, 30	24, 9, 1
高崎市立大類中学校	動物頭骨標本 ウサギ，ウマ, キツネ，パンダ, ゴリラ，イルカ，アウストラロピテクス，ライオン	理科授業	24, 10, 17	24, 10, 23
高崎市立京ヶ島小学校	レプリカ作成セット ドウビラセラス	理科授業	24, 10, 14	24, 10, 16
明和県央高等学校	レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	24, 10, 14	24, 10, 21
桐生市立黒保根小学校	レプリカ作成セット アンモナイト, 三葉虫	理科授業	24, 10, 27	24, 11, 10
安中市立磯部小学校	レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	24, 9, 21	24, 9, 26
群馬県立伊勢崎高校	動物頭骨標本 ゴリラ, アフリカヌス, エレクトス, ネアンデルタール, クロマニョン人, ホモ・サピエンス 進化の証拠	理科授業	24, 9, 12	24, 9, 27
群馬県立勢多農林高等学校	液体窒素	理科授業	24, 9, 14	
高崎市立豊岡小学校	いろいろな化石	理科授業	24, 10, 19	24, 10, 26
群馬県立伊勢崎工業高等学校	液体窒素	文化祭準備	24, 9, 28	
群馬県立館林女子高等学校	液体窒素	理科授業	24, 9, 28	
群馬県立伊勢崎高等学校	液体窒素	理科授業	24, 9, 23	
下仁田町立下仁田小学校	動物頭骨標本 ウシ, シベリアトラ, パンダ, ゴリラ, イルカ	保健授業	24, 11, 6	24, 11, 17

甘楽町立福島小学校	いろいろな化石	理科授業	24, 10, 11	24, 10, 18
甘楽町立福島小学校	レプリカ作成セット アンモナイト, 三葉虫, 化石	理科クラブ	24, 11, 6	24, 11, 16
安中市立第二中学校	進化の証拠	理科授業	24, 10, 14	24, 10, 23
安中市立第二中学校	レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	24, 10, 23	24, 10, 26
群馬県立榛名高等学校	液体窒素	理科授業	24, 10, 19	
群馬県立榛名高等学校	液体窒素	理科授業	24, 11, 9	
群馬県立榛名高等学校	液体窒素	理科授業	24, 11, 10	
前橋市立箱田中学校	液体窒素 ジュワー瓶	理科授業	24, 10, 10	24, 10, 12
富岡市立南中学校	動物頭骨標本 トラ，シマウマ，クマ，ブタ	理科授業	24, 10, 16	24, 10, 18
富岡市立妙義中学校	液体窒素	理科授業	24, 10, 11	
大泉町立南中学校	液体窒素	理科授業	24, 10, 11	
前橋市立荒子小学校	液体窒素 実験セット	理科クラブ	24, 10, 13	24, 10, 20
群馬県立伊勢崎工業高等学校	液体窒素	文化祭準備	24, 10, 18	
群馬県立伊勢崎工業高等学校	液体窒素	文化祭準備	24, 10, 25	
群馬県立伊勢崎工業高等学校	液体窒素	文化祭準備	24, 10, 27	
群馬県立沼田高等学校	液体窒素	総合授業	24, 10, 19	
高崎市立西小学校	レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	24, 11, 1	24, 11, 2
前橋市立荒子小学校	レプリカ作成セット アンモナイト, 三葉虫, ビカリア, 化石	理科クラブ	24, 11, 17	24, 11, 25
高崎市立岩鼻小学校	レプリカ作成セット アンモナイト, 化石	理科授業	24, 11, 11	24, 11, 17
群馬県立勢多農林高等学校	液体窒素 ジュワー瓶	理科授業	24, 11, 8	24, 11, 13
高崎市立南陽台小学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	24, 11, 20	24, 11, 21
高崎市少年科学館	レプリカ作成セット アンモナイト	科学工作教室	24, 11, 10	24, 11, 20
群馬県立松井田高等学校	液体窒素 ジュワー瓶	理科授業	24, 11, 18	24, 11, 25
高崎市立吉井西小学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	24, 12, 11	24, 12, 12
安中市立松井田小学校	液体窒素 実験セット	科学クラブ	24, 12, 4	24, 12, 5

高崎市立西小学校	レプリカ作成セット アンモナイト,三葉虫	理科授業	24,12,13	24,12,20
群馬県立勢多農林高等学校	液体窒素	理科授業	24,11,24	
沼田市立利根中学校	液体窒素	理科授業	24,11,25	
吉岡町立駒寄小学校	液体窒素 実験セット	理科授業	24,11,27	24,11,30
太田市立駒形小学校	レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	24,12,2	24,12,9
明和県央高等学校	動物頭骨標本 ライオン，ウマ，ブタ，トラ，ウシ，ゴリラ 動物の歯のレプリカ	理科授業	25,1,19	25,1,26
上野村立上野小学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	24,12,6	24,12,6
甘楽町立第一中学校	動物頭骨標本 ウサギ，キツネ，パンダ，ヒツジ，イヌ，ゴリラ，ホモサピエンス，アウストラロピテクス，パラントロプス 動物の歯のレプリカ	理科授業	24,12,5	24,12,12
群馬県立富岡高等学校	液体窒素 ジュワー瓶	理科授業	24,12,14	24,12,15
前橋市立第七中学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	24,12,18	24,12,19
甘楽町立福島小学校	レプリカ作成セット アンモナイト,三葉虫	理科クラブ	25,1,8	25,1,18
高崎市立経済大学附属高校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	25,1,17	25,1,18
前橋市立鎌倉中学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	25,1,14	25,1,16
甘楽町立福島小学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科クラブ	25,2,5	25,2,14
高崎市立経済大学附属高校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	25,1,30	25,2,1

大泉町立西中学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	25, 2, 17	25, 2, 21
大泉町立西中学校	いろいろな化石	理科授業	25, 2, 17	25, 2, 21
太田市立生品小学校	レプリカ作成セット アンモナイト, ビカリア, 三葉虫	理科クラブ	25, 2, 5	25, 2, 8
伊勢崎市立四ツ葉学園 中等教育学校	レプリカ作成セット アンモナイト,　三葉虫	理科クラブ	25, 3, 5	25, 3, 15
群馬県立勢多農林高等学校	液体窒素	理科授業	25, 2, 9	
明和県央高等学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	25, 2, 26	25, 3, 3
明和県央高等学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	25, 3, 12	25, 3, 17
東吾妻町立太田小学校	レプリカ作成セット アンモナイト	理科クラブ	25, 3, 2	25, 3, 8
安中市立松井田小学校	レプリカ作成セット アンモナイト小, ビカリア,　三葉虫,　化石	科学クラブ	25, 2, 19	25, 2, 21
安中市立後閑小学校	液体窒素 ジュワー瓶 実験セット	理科授業	25, 3, 6	25, 3, 7
安中市立第二中学校	液体窒素 ジュワー瓶	理科授業	25, 3, 15	25, 3, 16
渋川市立古巻中学校	液体窒素	理科授業	25, 3, 5	

アンケート結果	満足	だいたい満足	やや不満足	不満足
	14	1	0	0

⑤ 博物館実習

学芸員資格取得のため、当館での実習を希望した学生を対象に博物館実習を行った。

・募集期間：平成 24 年 4 月 1 日（日）～4 月 30 日（月）

・受入期間：平成 23 年 8 月 1 日（水）～8 月 11 日（金）〔実日数 10 日間〕

・受入人数： 11 名（大学別の内訳は下表）

学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
神奈川工科大学	1 名	専修大学	1 名	東京国際大学	1 名
群馬県立女子大学	1 名	大東文化大学	1 名	新潟大学	1 名
群馬大学	1 名	高崎経済大学	1 名	日本大学	1 名
信州大学帝京大学	1 名	東京学芸大学	1 名		

・主な内容

(講義) 「学芸員を目指す人たちへ」、「博物館の組織」、「学芸業務」、「教

育普及業務」、「資料の保管・維持管理」、「企画展のできるまで」等

（実習）資料整理業務実習（哺乳類、魚類、昆虫、貝類、植物、岩石、古生物）

教育普及活動実習（科学教室「サイエンス・サタデー」の準備と実施）

企画展計画立案・展示製作・解説実習

１班：「『化石』はあなたの『身近』にある！」

２班：「大変身!!　～アブラゼミの一生～」

３班：「食べものにあった口とは？『かじる』・『なめる』・『すう』昆虫の口を見てみよう!!」

(3)　外部からの問い合わせ対応

当館では社会的ニーズを把握するため、平成 24 年度より外部からの問い合わせ対応について集計を始めた。平成 24 年度の総問い合わせ件数は 237件で、民間機関からの問い合わせが 64 件で最も多く、以下一般(学生を除く:54 件)、マスコミ(52 件)、研究者(24 件)が主な問い合わせ元であった((1)表)。その内容は一般的な問い合わせが 148 件であったが、年間 42 件の同定依頼や 35 件の教示を求める質問もあった((2)表)。問い合わせ方法は電話(102 件)、電子メール(82 件)、来館(43 件)の順に多かった((3)表)。マスコミからの対応を除く一般および学生、研究者、専門機関からの問い合わせの発信元は県内 110 件に対して県外 71 件(海外 5 件を含む)であった((4)表)。

① 問い合わせ元の職・所属

民間機関	64
一般	54
マスコミ	52
研究者	24
小中高生	10
博物館施設	9
公共団体	10
その他	8
大学生・院生	6
合計	237

② 問い合わせ内容の種別

問い合せ	148
同定	42
教示	35
取材	13
その他	4

③　問い合わせ方法

電話	102
メール	82
来館	43
郵送	10
その他	6

④　マスコミ以外の問い合わせ 元の居住地・所在地

群馬県内	110
県外	66
海外	5
不明	5

⑤　(4)表のうちの県内居住地・所在地の内訳

高崎	22
前橋	22
富岡	11
安中	9
桐生	8
沼田	6
太田	4
渋川	4
藤岡	4
下仁田	4
その他	12

(3) 学会等の開催

① ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2012 の実施

生物多様性の現状を把握し、保全をすすめていくためには、地域をみつめ、地域に根ざして活動されている方々の連携だけでなく、幅広い専門家との連携や、行政など、さまざまな主体の連携が欠かせない。幅広い方々の情報交換、意見交換の場として、本報告会を実施した。

2012 年度は、新たに環境カウンセラーズぐんま、特例財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、南限のサケを育む会の 3 団体が後援団体に加わった。

今年度は、基調講演、口頭発表、ポスター発表を実施した。ポスター発表では、県内の高校に公募をかけ、県立太田女子高校、県立尾瀬高等学校、県立勢多農林高校、県立利根実業高校の 4 校が参加した。その他、東京農業大学農学部、麻布大学、電力中央研究所の発表もあり、会場で活発な意見交換が行われた。

報告会の要旨集を、当館 HP に掲載した。

・開催日時：平成 25(2013)年 2 月 9 日（土）13:00～17:00
・実施会場：自然史博物館（学習室、実験室）
・参加人数：129 名
・実施内容：基調講演「今、ここから始める共生への歩み～里山づくりにおける連携と役割分担～」　環境カウンセラーズぐんま 臂泰雄氏
　　口頭発表（7 件）、ポスター発表（28 件）
・共催：群馬県自然環境課

② 第 18 回自然史系博物館館長懇談会

第 18 回自然史系博物館館長懇談会を下記のように開催した。自然史系博物館館長懇談会は、国内の自然史系分野を所管する博物館の中で、規模の大きい 9 博物館の館長で組織され、自然史に関わる今日的な課題を協議する場である。なお、大阪市立自然史博物館の山西良平館長は、日程が合わないため欠席であった。

・開催日時：平成 25（2013）年 2 月 1 日（金）13 時～18 時 30 分
・実施会場：群馬県立自然史博物館（懇談会・展示見学）
　　割烹旅館「常磐荘」（懇親会）
・出 席 者：菅 谷　博　（ミュージアムパーク茨城県自然博物館　館長）
　　長谷川 善和（群馬県立自然史博物館　名誉館長）
　　田島 一男　（群馬県立自然史博物館　館長）
　　上野 純司　（千葉県立中央博物館　館長）
　　近藤 信司　（国立科学博物館　館長）
　　斎藤 靖二　（神奈川県立生命の星・地球博物館　館長）
　　篠 原　徹　（滋賀県立琵琶湖博物館　館長）
　　岩槻 邦男　（兵庫県立人と自然の博物館館　館長）
　　伊藤 明夫　（北九州市立自然史・歴史博物館）
・同 席 者：群馬県立自然史博物館（住谷次長・三田補佐・戸所主幹・武井主幹・高橋主幹・髙桒主幹・杉山主幹・木村主幹）
　　千葉県立中央博物館（森田係長）
　　国立科学博物館（上野次長・窪寺ﾃﾞｨﾚｸﾀｰ・濱田室長）
　　神奈川県立生命の星・地球博物館（山下研究員）
　　兵庫県立人と自然の博物館館（田中次長）
　　北九州市立自然史・歴史博物館（栗原課長）
・懇談議事：1，自然史標本資料の重要性の社会的認知について
　　2，自然史標本資料のプレバレーションの問題について
・展示見学：常設展示
　　企画展示（写真展「サバンナの風　写真に見るアフリカの大地」
・懇 親 会：参加者 16 名

H３　資料収集・管理

(1) 資料管理

①温湿度管理

管理場所	管理状況
第１収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、50%　春秋：19℃、50%
第２収蔵庫	夏季：20℃、47%　冬季：18℃、47%　春秋：19℃、47%
第３収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、50%　春秋：19℃、50%
常設・企画展示室	常設 1F：20℃･50%　常設 2F：21℃･50%　企画 22℃･50%

②資料の安全な保護対策

ア　文化財害虫等への忌避対策

忌避対策として以下の２つを実施した。

○展示室およびバックヤードでの誘因粘着式トラップの設置による害虫の捕獲

○第二収蔵庫出入り口に積層タイプの除塵粘着シートのマットを設置し、害虫等の侵入を防いだ。

イ 文化財害虫等の燻蒸作業

番号	作業場所	実施内容	実施日	受託者	使用薬剤
1	第二収蔵庫（生物系）燻蒸	防虫 防黴	平成 24 年 6 月 18 日～24 日	関東港業株式会社	アルプ
	常設展示室（2 階霊長類ターンテーブル）	防虫 防黴	平成 24 年 6 月 18 日～24 日	関東港業株式会社	アルプ
2	第 1 回燻蒸庫燻蒸	防虫 防黴	平成 24 年 9 月 24 日～26 日	関東港業株式会社	エキヒューム S
3	燻蒸庫保守点検ならびに 第 2,3 回燻蒸庫燻蒸	防虫 防黴	平成 25 年 2 月 18 日～22 日	関東港業株式会社	エキヒューム S

②基準標本と天然記念物の状況

正基準標本 Holotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-170	*Limnofregata hasegawai*　Olson et Matsuoka, 2005　ハセガワグンカンドリ
2	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1341	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
3	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1701	*Nipponopon hasegawai* Karasawa, Kato et Terabe, 2006　ハセガワニッポノポン
4	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1256	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
5	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウケタス

6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3158	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
7	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH- PI-2116	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH- PI-2164	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3167	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3170	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3173	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3182	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3185	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3188	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
15	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH- PI-3537	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
16	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH- PI-3504	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3162	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-4001	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012

等価基準標本 Syntype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	魚類	GMNH- PV-042	*Sebastes kanezawai* (Niino, 1951)

従基準標本 Paratype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH- PI-1342	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
2	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH- PI-1700	*Hoploparia kamimurai* Kato et Karasawa, 2006 カミムラホプロパリア
3	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH- PI- 1257, 1258	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH- PI-3159	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010

5	現生	無脊椎動物	節足動物 昆虫類	GMNH	*Uresiphita fusei* Inoue, 1982 イタクラキノメイガ
6	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI-2113-15, 2117-2124	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
7	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2165 -2170	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3538, 3539	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3505 - 3525	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3164	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4003	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012

従基準標本（別性） Allotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3160-61	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
2	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3168	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
3	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3171	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3174	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
5	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3183	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3186	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
7	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3189	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
8	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3163	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4002	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012

同地基準標本 Topotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3162-64	*Ikeyacythereis wutzushuii* (Hu et Tao, 2008) (in Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010)

国指定 特別天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	特別指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-1028	*Diomedea albatrus* Pallas, 1769 アホウドリ	1962.04.19
2	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM-066 ほか	*Capricornis crispus* (Temminck, 1836) カモシカ	1955.02.15
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-855	*Spilornis cheela* (Latham, 1790) カンムリワシ	1977.03.15
4	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-677 ほか	*Grus japonensis* (Muller, 1776) タンチョウ	1952.03.29
5	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-936 ほか	*Lagopus mutus* Montin, 1781 ライチョウ	1955.02.15
6	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA	*Nipponia nippon* (Temminck, 1835) トキ	1952.03.29

国指定 天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-546 ほか	*Aquila chrysaetos* (Linnaeus, 1758) イヌワシ	1965.05.12
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-4658 ほか	*Parnassius eversmanni daisetsuzanus* Matsumura, 1926 ウスバキチョウ	1965.05.12
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-847 ほか	*Haliaeetus pelagicus* (Pallas, 1811) オオワシ	1970.01.23
4	動物	無脊椎動物	甲殻類	GMNH-IC-113	*Coenobita cavipes* Stimpson, 1858 オカヤドカリ	1970.11.12
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-31292 ほか	*Vacciniina optilete daisetsuczana* (Matsumura, 1926) カラフトルリシジミ	1967.05.02
6	動物	脊椎動物	爬虫類	GMNH-VR-289	*Plestiodon kishinouyei* (Stejneger, 1901) キシノウエトカゲ	1975.06.26
7	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-9674 ほか	*Oeneis melissa daisetsuzana* Matsumura, 1926 ダイセツタカネヒカゲ	1965.05.12

8	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-959	*Anser albifrons* (Scopoli, 1769) マガン	1971.06.28
9	動物	脊椎動物	魚類	GMNH-VP-197 ほか	*Tanakia tanago* (Tanaka, 1909) ミヤコタナゴ	1974.06.25
10	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VP-197 ほか	*Tanakia tanago* (Tanaka, 1845) ヤマネ	1975.06.26

県指定　天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	地球	鉱物		GMNH-EM-781	Zunyite ズニ石（みなかみ町入須川産）	1973.08.21
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-858　ほか	*Colias palaeno aias* Fruhstorfer, 1903 ミヤマモンキチョウ	1977.04.01
3	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203　ほか	*Erebia niphonica* (Janson, 1877) ベニヒカゲ	1977.04.01
4	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203　ほか	*Aporia hippia japonica* Matsumura, 1919 ミヤマシロチョウ	1977.04.01
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-3332 ほか	*Luehdorfia puziloi inexpecta* Sheljuzhko, 1913　ヒメギフチョウ	1976.03.07
6	動物	脊椎動物	両生類	GMNH-VR-206 ほか	*Hynobius lichenatus* Bouleger, 1883 トウホクサンショウウオ	2007.03.27
7	動物	無脊椎動物	両生類	GMNH-VR-035 ほか	*Hynobius kimurae* Dunn, 1923 ヒダサンショウウオ	2007.03.27
8	化石	脊椎動物	両生類	GMNH-PV-001　ほか 1 点	*Rana* aff. *architemporalia* ムカシアカガエル	1996.03.29
9	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010　ジョウモウケタス	2012.03.23

(2) 収蔵資料数

番号	分　　野	24 年度	全登録
1	哺乳類	1,083	3,030
2	鳥類	21	1,685
3	両生・爬虫類	0	626
4	魚類・円口類	14	768
5	昆虫	524	36,766
6	クモ類	0	51
7	甲殻類	0	470
8	その他の節足動物	0	6

9	軟体動物	68	10,636
10	その他の無脊椎動物	0	155
11	ロット標本	0	578
12	種子植物	3,016	53,570
13	シダ植物	1,322	7,643
14	蘚苔類	0	670
15	藻類	0	331
16	地衣類	0	313
17	菌類	482	4,225
18	細菌類	0	0
19	人類	0	1,910
20	古動物	120	4,808
21	古植物	0	2,821
22	岩石	179	2,389
23	鉱物	0	1,781
24	環境・地質現象	0	43
合　計		6,394	135,095

(3) 資料購入

番号	資　料　名　称	分　野	数量	購　入　業　者
1	ウシ頭骨レプリカ（教育普及用）	哺乳類	1	（株）パレオサイエンス
2	アンモナイト化石（教育普及用）	古生物	1	（株）パレオサイエンス
3	オウムガイ化石（教育普及用）	古生物	1	（株）パレオサイエンス
4	ティランノサウルス歯レプリカ（教育普及用）	古生物	1	（株）パレオサイエンス

(4) 委託（製作・資料整理）

番号	委 託 名 称	分野	数量	委 託 先 名 称	用 途
1	いろいろな化石製作業務委託	古生物	1	（株）パレオサイエンス	貸出 移動博
2	野生きのこ菌株の分譲	菌類	1	群馬県林業試験場	教育 普及
3	菌類模型の作製業務委託	菌類	3	（有）Ｔ＆Ｔ	展 示
4	ヘビ類（パレオフィス）全身骨格化石複製品製作業務委託	古生物	1	（有）プラニー商会	展 示 研 究
5	菌類標本製作業務委託	菌類	4	（株）西尾製作所	展 示
6	魚類標本製作業務委託	魚類	1	（有）上野剥製所	展 示
7	哺乳類剥製標本製作業務委託	哺乳類	1	（有）上野剥製所	展 示 研 究
8	ゾウ類化石レプリカ標本製作業務委託	古生物	一式	合名会社中馬工房	展 示

9	県産鉱物資料調査委託	鉱物	一式	(株) ホリミネラロジー	調 査 展 示

(5) 寄贈資料・管理移管資料

番号	受贈(移管)資料名称	分野	数量	受贈(移管)者	受付年月日
1	ナギモドキ属乾燥標本	植物・ 古植物	7	有薗　健志	H24.6.7
2	青森県・尻屋崎産メガロドン属化石標本	古無脊椎動物	5	杉沢　典孝	H24.6.14
3	自然科学関係書籍	自然科学全般	161	野村　正弘	H24.6.26
4	オオタカ剥製標本	鳥類	1	安中市立 第二中学校	H24.6.26
5	昆虫標本（収納棚含む）	昆虫	92 箱	岡村　浩子	H24.7.27
6	軟体動物関連書籍	軟体動物	268	大谷　洋子	H24.8.8
7	上野村産亀甲石	岩石	1	土屋　日出夫	H24.9.14
8	タイマイ、イヌワシ剥製	爬虫類 ・鳥類	2	高崎市立 中川小学校	H24.10.2
9	各種生物標本	動物全般	35	高崎市立 南八幡小学校	H24.10.27
10	安中市産カルカロドン・メガロドン化石標本	古脊椎動物	一式 (23)	岡本　春忠	H24.11.4
11	植物標本	植物	749	井田　宏一	H24.11.23
12	アカウミガメ剥製標本	爬虫類	1	関口　千枝子	H24.12.6
13	鱗翅目標本	昆虫	1490	池沢　隆一	H24.12.6
14	ボリビア産 古生代デボン紀化石標本	古生物	32	石井　清史	H24.12.13
15	科学書籍	自然科学全般	53	野村　正弘	H25.1.12
16	三宅島火山噴火写真等	地質 (火山)	15	佐藤　輝子	H25.2.15
17	陸棲哺乳類検体	哺乳類	560	県内市町村、環境森林事務所等	通年
18	鳥類資料	鳥類	80	県内市町村、環境森林事務所等	通年
19	両生・爬虫類資料	両生 爬虫類	2	県内市町村、環境森林事務所等	通年

(6) 寄託資料

番号	寄託資料名称	数量	寄託者名称	寄　託　期　間
	今年度は無し			

(7) 貸出資料

番号	貸出資料名称	数量	貸出先名称	貸出期間	備　考
1	アマルガサウルス全身骨格	1	神流町恐竜センター	H10.3.23-	前年度から継続
2	ゴニオフォリス、カマラサウルス幼体全身骨格等	21	大阪大学総合学術博物館	H24.3.10～H24.7.20	前年度から継続
3	ヨツボシカミキリ乾燥標本	2	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	H24.3.12～H24.4.11	前年度から継続
4	オオシャコガイ	1	日本テレビ放送網株式会社	H24.4.24～H24.4.25	「ZIP」放送で使用
5	キバナノコマノツメ樹脂包埋標本等	16	埼玉県立川の博物館	H24.5.23～H24.9.28	特別展サテライト展示
6	エゾエンマコオロギ等昆虫標本24種	32	群馬県立ぐんま昆虫の森	H24.5.23～H24.9.20	ミニ展示
7	ナウマンゾウ右下顎骨	1	みどり市大間々博物館（コノドント館）	H24.5.25～H24.6.27	特別企画にて展示
8	ヘルレラサウルス全身骨格等	45	飯田市美術博物館（長野県）	H24.6.12～H24.9.12	特別展
9	パラプゾシア（アンモナイト）等	24	みどり市大間々博物館（コノドント館）	H24.6.5～H24.9.12	企画展
10	軟体動物関係資料（現生標本、化石標本等）	143	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	H24.6.12～H24.9.21	企画展
11a	竜脚類、獣脚類の足復元模型等	3	神流町恐竜センター	H24.6.12～H24.12.5	館イベントでの展示
11b	トリケラトプス頭部復元模型	1	神流町恐竜センター	H24.10.1～H24.12.5	館イベントでの展示
12	群馬県産デスモスチルス、パレオパラドキシア	2	瑞浪市化石博物館（岐阜県）	H24.6.15～H24.12.15	特別展
13	ニホンハナガメ腹部化石レプリカ等	2	埼玉県立川の博物館	H24.6.29～H24.9.11	特別展
14	プロダクタス等腕足類化石標本	64	佐野市葛生化石館（栃木県）	H24.7.1～H24.9.9	夏期企画展
15	ペディオミス歯化石、トリケラトプス肋骨等	26	旭川市科学館サイパル	H24.7.1～H24.9.21	夏期展示
16	アンテトニトルス部分骨格等	39	株式会社テレビ朝日	H24.7.1～H24.10.5	イベント展示

17	氷縞粘土、氷期地球模型、トウヨウゾウ臼歯等	17	埼玉県立川の博物館	H24.7.2～ H24.9.11	特別展
18	カマラサウルス幼体全身骨格等	42	愛媛県総合科学博物館	H24.7.3～ H24.9.27	特別展
19	シガマッコウ全身骨格等	24	豊橋市自然史博物館（愛知県）	H24.7.4～ H24.9.14	特別企画展
21	アマルガサウルス全身骨格	1	福島県立博物館	H24.7.4～ H24.9.24	夏期企画展
22	アカントーデス（古生代魚類）全身骨格等	42	長野市博物館	H24.7.21～ H24.10.15	特別展
23	ニジイロクワガタ拡大模型	1	群馬県立ぐんま昆虫の森	H24.7.25～ H24.9.20	企画展
24	サンチュウリュウ胸胴椎化石レプリカ等	2	埼玉県立自然の博物館	H24.9.24～ H24.10.19	イベント展示
25	エオラプトル全身骨格等	7	千葉県立中央博物館	H24.10.3～ H25.1.10	特別展
26	アサフス等三葉虫関係資料	4	神流町恐竜センター	H24.12.21～ H25.2.15	解説員展示
27	谷下産ワニ類全身骨格化石（レプリカ）	1	島根県立三瓶自然館サヒメル	H25.3.1～ H25.5.31	H25年度へ継続
28	デイノニクス全身骨格	1	久慈琥珀博物館	H25.3.20～ H25.6.4	H25年度へ継続
29	ヘルレラサウルス全身骨格等	23	宮崎県総合博物館	H25.6.15～ H25.9.15	H25年度分貸出許可

(8) 借用資料

番号	借用資料名称	数量	借用先名称	借 用 期 間	備考
1	寺西貝塚出土のｼｼﾞﾐ･ﾊﾞｲｶﾞｲ	304	板倉町教育委員会事務局	H23.4.1～ H26.3.31	前年度から継続
2	アンモナイト（ヘテロケラス）等化石標本	7	松原剛史	H23.4.1～ H26.3.31	前年度から継続
3	ストロマトライト等岩石資料	9	神奈川県立生命の星・地球博物館	H24.4.1～ H25.3.31	前年度から継続・期間更新
4	三峰山鉱山内産ナウマンゾウ化石	一式	佐野市葛生化石館	H24.4.13～ H24.4.30	
5	ウスハダカ等発光生物の画像	23	神奈川県立生命の星・地球博物館	H24.4.19～ H24.5.19	
6	深海生物、深海調査船、チムニーの動画・画像	6式	（独）海洋研究開発機構	H24.4.27～ H24.9.2	
7	羽根田弥太博士使用のミクロトーム等の画像	36	横須賀市立自然・人文博物館	H24.4.27～ H24.9.2	

8	羽根田弥太博士使用のミクロトーム、発光生物液浸標本等	33	横須賀市立自然・人文博物館	H24.6.6～ H24.9.7	
9	ヌタウナギ等各種標本	28	新江ノ島水族館	H24.6.6～ H24.9.7	
10	菌類関係資料	13	日本きのこ研究所	H24.6.6～ H24.11.29	
11	タカアシガニの脱皮等深海生物の生態デジタル画像	11	新江ノ島水族館	H24.6.30～ H24.9.2	
12	リュウグウノツカイ、スハダカ等魚類標本	11	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H24.7.5～ H24.9.7	
13	しんかい6500、ダイオウイカ等の模型、各種標本	12	（独）海洋研究開発機構	H24.7.6～ H24.9.7	
14	冬虫夏草の標本ならびに関係資料等	416	日本冬虫夏草の会	H24.8.7～ H24.11.30	
15	タマゴタケの胞子の舞（デジタルデータ）	1	埴　沙萌	H24.8.10～ H24.11.18	
16	かつお節関連資料	一式	株式会社にんべん	H24.8.25～ H24.11.30	
17	外生菌根菌ほか	一式	国立科学博物館	H24.8.29～ H24.11.30	
18	きのこ曼荼羅ほか	一式	伊沢　正名	H24.8.29～ H24.11.30	
19	ペニシリン関連資料他	一式	明治ホールディングス	H24.8.29～ H24.11.30	
20	ブルーチーズの発酵菌レプリカ等	一式	千葉県立中央博物館	H24.9.3～ H24.11.30	
21	ウレタン製キノコの拡大模型、ジオラマ等	7式	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H24.9.4～ H24.11.30	
22	酒樽等日本酒関連資料	14	聖徳銘醸株式会社	H24.9.7～ H24.11.29	
23	群馬KAZE酵母	6	群馬県立 群馬産業技術センター	H24.9.7～ H24.11.29	
24	ウレタンスポンジ製 キノコの拡大模型	一式	鳥取県立博物館	H24.9.12～ H24.11.30	
25	ハマサンゴ ボーリングコア等	一式	東京大学大気海洋研究所	H24.11.16～ H25.5.20	H25年度 へ継続
26	サンゴ幼生液浸標本等	4	お茶の水大学湾岸生物教育センター　服田昌之	H24.11.19～ H25.5.31	H25年度 へ継続
27	ミドリイシのバンドル	2	一般財団法人	H24.12.26～	H25年度

	液浸標本等		沖縄美ら島財団	H25.5.31	へ継続
28	カメラ等、 小倉寛太郎氏関連資料	27	小倉和江	H24.12.23～ H25.3.10	

29	Web 動画「プレートテク	1	下仁田町教育委員会	H25.1.21～	H25 年度
	トニクスと石灰岩の移動と付加」		ジオパーク推進室	H25.5.31	へ継続
30	東御市産 アケボノゾウ化石	23	東御市教育委員会	H25.2.15～ H25.9.15	
31	アキシマクジラ関係資料	22	昭島市教育委員会	H25.2.15～ H25.9.15	
32	宝石サンゴの原石	1	さんご専門店河田 代表　前嵩西　勇	H25.3.1～ H25.5.20	H25 年度 へ継続
33	宝石サンゴのピアス	1	伊丹　清美	H25.3.1～ H25.5.20	H25 年度 へ継続
34	宝石サンゴの ネックレス、指輪	2	中野　静代	H25.3.1～ H25.5.20	H25 年度 へ継続
35	宝石サンゴのペンダント等宝飾品	13	山下みさ子	H25.3.1～ H25.5.20	H25 年度 へ継続
36	宝石サンゴの ネックレス等宝飾品	3	長井　良子	H25.3.1～ H25.5.20	H25 年度 へ継続
37	水中撮影装置	一式	野口　強志	H25.3.15～ H25.5.20	H25 年度 へ継続
38	楊井層産サイ類化石	1	吉田　健一	H25.3.19～ H25.9.15	
39	ストロマトライト等岩石資料	9	神奈川県立生命の星・地球博物館	H25.4.1～ H26.3.31	前年度から継続・期間更新
40	ナウマンゾウ化石 （浜町標本）	23	八王子市教育委員会	H25.7.1～ H25.9.15	H25 年度 借用分
41	中津層群神沢層産 脊椎動物化石	7	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H25.7.1～ H25.9.15	H25 年度 借用分
42	ハチオウジゾウ関係標本	8	慶應義塾幼稚舎　相場博明	H25.7.1～ H25.9.15	H25 年度 借用分

(9) 特別観覧

番号	観覧資料名称	数	特別観覧申請者		申請期間	備考
1	常設展示 「地球の時代」	一式	ビデオグラファーズオンライン	安友　康博	H24.4.11	ﾋﾞﾃﾞｵ 撮影

2	翼竜（タペヤラ）全身骨格	1	東京都在住	高安　正雄	H24.4.28	
3	常設展示「地球の時代」	一式	群馬テレビ株式会社	瀧本　義久	H24.5.15	生中継
4	アガチス・ジュラシカ（植物化石）	1	元ボルネオ大学	有薗　健志	H24.5.16	
5	メガロドン（貝類化石）	1	青森県在住	杉沢　典孝	H24.5.26	
6	ガリミムス等恐竜標本	4	北海道大学大学院	飯島　正也	H24.5.27	
7	カマラサウルス全身骨格等中生代古生物標本	15	株式会社テレビ朝日	早川　忠夫	H24.6.27	
8	常設展示「地球の時代」	一式	株式会社 TBS テレビ	藤田　賢城	H24.7.3	番組収録
9	カラス関係標本	9	多摩動物公園	吉原　正人	H24.9.1	
10	アフリカゾウ頭骨標本	1	埼玉県立自然の博物館	渋澤　重雄	H24.9.20	型取りを含む
11	アオザメ等脊椎動物全身骨格	4	よこはま動物園ズーラシア	東野　晃典	H24.11.13	書籍用撮影
12	ジョウモウクジラ	1	オタゴ大学大学院（ニュージーランド）	Cheng-Hsiu,Tsai	H24.1.11	
13	メガネカイマン、イリエワニ	2	岡山理科大学	寺岡　亮佑	H25.1.22	
14	イイズナ	1	埼玉県中央部森林組合	金子　岳志	H25.3.3	
15	群馬県産束柱類化石	2	京都大学大学院	松井久美子	H25.3.12～3.13	

(10) 画像等使用許可

番号	使用画像名称	数	使用者名称	使用開始日
1	トリケラトプス・ボーンベッド等 A-3 関係標本	7	株式会社エンターテイメントボウル(通信機器会社システムデモ用画像)	H24.4.20-
2	館内授業（化石レプリカ製作）の画像	1	伊与久　哲男（学芸員資格取得のためのレポートに使用）	H24.6.28
3	一志層群産ウミユリ化石	1	名古屋大学博物館（同館開催の日本古生物学会講演予稿集の表紙に使用）	H24.6.29-
4	ストルティオミムス、マメンキサウルス全身骨格	2	株式会社 NHK 出版(同社発行の「恐竜王ティラノサウルスに掲載)	H24.7.1-
5	サンチュウリュウ、群馬県産スピノサウルス類	2	長野市立博物館(夏期特別展の展示)	H24.7.21-9.23
6	トリブラキディウム等古生物標本	10	株式会社新潮社（同社発行の 38 億年生物進化の旅文庫版に掲載）	H24.8.28-

7	ジョウモウクジラ関連画像（標本と記者発表）	2	葛袋地学研究会（同会ＨＰに掲載）	H24.9.1-
8	デイノニクス、カマラサウルス全身骨格	2	株式会社ベネッセコリア(韓国版こどもちゃれんじ 2012 年 10 月号掲載)	H24.10.1-
9	サンチュウリュウ復元イラスト２種(小田 隆 画)	2	埼玉県立自然の博物館（同館のリニューアルイベントの展示で使用）	H24.10.6-
10	イカロニクテリス（コウモリ類）化石	1	美祢市歴史民俗資料館（特別展「秋吉台のコウモリ」で展示）	H24.11.3-11.25
11	群馬産スピノサウルス類歯化石	1	株式会社新人物往来社（同社発行の新人物文庫 「群馬県謎解き散歩」に掲載）	H24.12.12-
12	群馬産スピノサウルス類歯化石	1	有限会社ハユマ（成美堂出版(株)発行のパノラマふしぎ探検図鑑に掲載）	H24.12.30-
13	ホモ・ネアンデルターレンシスのジオラマ	1	曹洞宗総合研究センター（研究成果本「葬送儀礼と民族」に掲載）	H25.1.1-
14	石墨（再利用）	1	ネイチャープロ編集室（ベネッセ・コーポレーション発行「かがく組 11 月号」掲載）	H25.2.1-
15	ディノサウロイド（再利用）	1	有限会社オフィス朔（世界文化社発行「最新版こども科学わくわく新聞」掲載）	H25.2.1-
16	スプリッギナ等古生物標本（7 点再利用）	10	株式会社第一学習社（高校用理科副教材「スクエア最新図説生物・同素材 CD-ROM」に使用）	H25.2.8-
17	オルドビス紀末に絶滅した腕足動物、デボン紀末に絶滅した三葉虫	2	株式会社第一学習社（高校用理科副教材「スクエア最新図説生物・同素材 CD-ROM」に使用）	H25.2.18-
18	アーケオプテリクス等古生物標本	3	(株)小学館クリエイティブ（小学館発行「小学百科大事典 きっずジャポニカ第２版」に掲載）	H25.3.1-
19	ビカリア、エディアカラ動物群	2	数研出版株式会社（高校理科教科書「地学基礎」デジタル版に使用）	H25.3.13-H29.3.31
20	サヘラントロプス・チャデンシス	1	鳥取県立博物館（企画展「サルとヒト」広報に使用）	H25.3.15-
21	デイノニクス	1	久慈琥珀博物館（H25 年度春期特別展に展示）	H25.3.20-6.2
22	アマルガサウルス全身骨格等	6	ジーグレイプ株式会社（実業之日本社発行「もしもの図鑑 恐竜の飼い方」に掲載）	H25.3.27-

23	中新世の日本列島周辺古地理図	2	東松山市教育委員会（同教委作成の化石啓発用パンフレットに掲載）	H25.3.31-
24	アウストラロピテクス・アファレンシス	1	株式会社日本入試センター（小学生対象学習塾講師講習会の教材に掲載）	H25.5.1-
25	サンチュウリュウ復元イラスト２種(小田 隆 画)	2	川口市立科学館（春の特別展「地球からの贈り物（仮称）で展示）	H25.6.8-7.7
26	スピノサウルス全身骨格（飯田市美博所蔵）	1	レカポラ編集舎（洋泉社発行「10 大恐竜と巨大古生物（仮称）」に掲載）	H25.4.1-

(11) 資料修復

平成 24 年度は、当館所蔵の古生物標本の貸出件数（点数）が非常に多かったが、その中で搬出入やその準備作業中に標本の破損事故が４件あった。全て貸出に伴うものであったので、それらの修復については、いずれも各標本借用先が実施し、当館職員が修復完了を確認した上で返却済みである。また、平成 24 年３月 11 日の地震で破損したディメトロドン実物全身骨格の棘突起は、ガラスケース内に入って作業を行うことが困難であるため、修復に未着手である。

① ウインタテリウム全身骨格（実物）の右犬歯

W館へ貸し出す資料の搬出作業を行っている際に、貸出予定ではないウインタテリウム全身骨格（実物）を誤ってエレベータ内に移動させてしまい、それを収蔵庫に戻している際に作業員が犬歯に接触、犬歯が基部から折れて落下し、床にあたってバラバラとなった。専門業者がバラバラになった歯の破片を可能な限り回収し、２ヶ月近くかけてできるだけそれらを接着し、ほぼ原形に近い形に修復して元の位置に接着した。

② シガマッコウ全身骨格（レプリカ）の頭部

Ｘ館へ貸し出した資料の返却の際に、頭部レプリカの荷重が頭部固定パーツ付近に集中したらしく、レプリカが運搬時にかかったその荷重に耐えられずに割れてしまったと推定される。後日、専門業者が来館し、破損したパーツを回収したうえで、修復すると共に、パーツ取付部の強化を行った。

③ ナウマンゾウの臼歯（実物）

Ｙ館へ貸し出した瀬戸内海産ナウマンゾウ臼歯を仮置きしてあった場所から、展示する場所に移動させようと持ち上げたところ、臼歯の途中のラメラ間にあったヒビのところから割れてしまった。電話で連絡を受けたので、ゾウ化石にも造詣の深い同館関係者に依頼し、接着を行った。

④ コエラカントゥスの全身骨格（実物）

Ｚ館へ貸し出した石板状のペルム紀魚類コエラカントゥス全身骨格が、同館で返却のため梱包作業を行っていたところ、樹脂で接着してあった部分を境にして２つに割れてしまった。梱包内にあった破片は回収され、それらを元に専門業者が接着による修復と当該標本の強化を行った。

(12) 科学系博物館情報ネットワーク開発事業自然史標本データ整備事業

国立科学博物館のＳNet（科学系博物館情報ネットワーク開発事業）及びＧＢＩＦ(地球規模生物多様性情報機構)の生物標本収蔵データベースネットワークへの参加に伴い、当館の収蔵データベースシステムにあるデータの加工・変換を行った。

・変換データ数：6,582 件（延べ数）

・データ変換委託事業期間：平成 25 年 1 月 4 日～2 月 28 日
・データ変換業務委託先：株式会社 K-Bix
上記ネットワークへのデータ提供件数は、平成23年度末で57,886件である。

(13)　文献資料等の充実

○　購入

図書	75 冊
和雑誌	302 冊
洋雑誌	150 冊

○　寄贈受入

図書	939 冊
雑誌	1875 冊
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾒﾃﾞｨｱ	14 点
地図	22 点

4　調査研究

(1)　上野村地域総合学術調査（自然史調査）

平成 23 年度から 25 年度までの 3 ヵ年にわたり、県南西部の多野郡上野村を対象として動植物と地質の総合的な調査を実施した。対象地域は一部で県の調査や北沢シオジ林の天然記念物指定に伴う調査が行われたものの、大部分の地域で生物学的・地学的知見が不足している場所が多く、かつ、電力資源や森林資源の開発、シカの侵入などにより生態系の変化が顕著に進行しつつある。よって、この地域の学術情報を証拠となる標本とともに収集・蓄積していくことが必要との判断から調査地域とした。

①　調査内容

・哺乳類　:小型哺乳類のトラップによる捕獲、カメラトラップ調査、痕跡調査、ライトセンサス調査、バットディテクターによるコウモリ調査
・両生類・爬虫類　:カエル・ヘビ類を中心に捕獲
・昆虫類　:捕虫網・トラップによる捕獲
・無脊椎動物　:軟体動物を中心に捕獲
・維管束植物・蘚苔類:採集
・菌類　:採集
・地質　:岩石採取
・古生物　: 下部白亜系山中層群における露頭状況と産出化石

②　調査日および調査内容

第 1 回　4 月 19 日，20 日　小型哺乳類
第 2 回　4 月 29 日　維管束植物
第 3 回　5 月　9,10 日　昆虫
第 4 回　5 月 16 日　維管束植物
第 5 回　5 月 23 日　菌類
第 6 回　5 月 23 日　哺乳類
第 7 回　5 月 30～31 日　維管束植物
第 8 回　6 月 1 日　哺乳類
第 9 回　6 月 7 日　軟体動物
第 10 回　6 月 13,14 日　昆虫
第 11 回　6 月 19 日，20 日　小型哺乳類
第 12 回　6 月 20 日　軟体動物
第 13 回　6 月 22 日　維管束植物
第 14 回　6 月 27 日　菌類
第 15 回　6 月 29 日，30 日　小型哺乳類
第 16 回　7 月 4 日　哺乳類
第 17 回　7 月 7 日　哺乳類
第 18 回　7 月 25 日　菌類
第 19 回　8 月 3 日　軟体動物
第 20 回　8 月 15 日　維管束植物
第 21 回　8 月 22 日　菌類
第 22 回　8 月 23 日，24 日　小型哺乳類
第 23 回　9 月 14 日　軟体動物
第 24 回　9 月 26 日　維管束植物・菌類
第 25 回　9 月 27 日，28 日　小型哺乳類
第 26 回　10 月 3 日　軟体動物

第 27 回　10 月 4 日　維管束植物
第 28 回　10 月 4,5 日　昆虫
第 29 回　10 月 17 日　菌類
第 30 回　10 月 17 日，18 日　小型哺乳類
第 31 回　11 月 9 日　菌類
第 32 回　11 月 16 日　古生物
第 33 回　11 月 21 日，22 日　小型哺乳類
第 34 回　12 月 6 日　哺乳類
第 35 回　12 月 7 日　哺乳類
第 36 回　12 月 12 日，13 日　小型哺乳類
第 37 回　2 月 21 日，22 日　小型哺乳類

(2)　担当分野別調査研究一覧

担当分野	内容（自然史調査を除く）	主な方法
植物	群馬県および上信越・東北地域における維管束植物の分布調査	・踏査、採集、GPS 測位
菌類	群馬県における菌類生息状況調査 自然史博物館博物館周辺の菌類調査	・群馬県野生きのこ同好会の採集会に参加、採集資料の収蔵 ・博物館周辺の菌類構成の季節的変化の把握
貝類	群馬県における貝類生息状況調査 群馬県における外来生物調査	・踏査、採集 ・聞き取り調査
爬虫・両生類	カエルツボカビ調査 群馬県における外来生物調査	・幼体サンプル採集 ・カミツキガメ、ワニガメの受入、検体分析（食性、繁殖状況、死亡年齢査定）
鳥類	群馬県における外来生物調査 群馬県における鳥類解剖調査 群馬県における放射性物質汚染状況調査	・ソウシチョウ、ガビチョウの受入、収蔵 ・野鳥病院より検体の受入 ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、性別、年齢など） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉））試料の生成、データ蓄積
魚類	タナゴ類繁殖管理	・人工授精・飼育
哺乳類	群馬県における哺乳類生息状況の長期モニタリング調査 群馬県における外来生物調査 群馬県における野生動物放射性物質汚染状況調査	・群馬県鳥獣保護員報告野生動物情報調査 ・カメラトラップ調査（榛名、玉原、藤原、太田、桐生） ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、死亡年齢査定） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉）、NaI シンチレーション（全身スクリーニング）試料の生成、データ蓄積 ・シャーマントラップ調査（下仁田、南牧）

脊椎動物化石	群馬県産脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
無脊椎 動物化石	群馬県産無脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
植物化石	群馬県産植物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
岩石・鉱物	群馬県産の岩石・鉱物ならびにそれらと関連性の深い他地域の岩石や鉱物に関する調査研究	・フィールド調査（県外も含む） ・堀秀道氏との共同調査
地形・地質	群馬県内の地形・地質調査	・碓氷川、鏑川、星川、鮎川、雁行川でのルートマップの作成

(3) 美術館・博物館調査研究

「甦れカミツキマッコウ　古代ゾウ～関東に眠る太古の生きものたち」

関東平野周辺からこれまでに多くの化石が産出しており，現在の日本周辺における生物相の形成過程を知る上で鍵となる過去の生物相の情報をもたらしている．企画展では関東地方より産出した化石により，関東平野の対置に眠る生き物たちの生命の歴史を中心に紹介する予定である．本年度の美術・博物館調査研究として関東地方の博物館に収蔵されている標本についての資料調査を行うと共に，企画展において中心的な展示物の一つとなるゾウ類化石のレプリカ標本製作を行った．

「稲もすすきも芝も竹だってみんなイネ科」

人類の食物の大部分はイネ科植物に依存し、重要な工芸作物になるなど、人間生活に対して大きな役割を果たしている。イネ科の多様な種やその変化に富んだ生態を紹介するとともに、イネ科植物と人間生活との関わりを、企画展を通して紹介することを予定している。農業関係の試験研究機関からの指導を受け、JA や地元農家の協力のもと体験水田を実施するにあたり、折衝と事前打ち合わせを行った。さまた、水田・五穀やそれに係る風景、野生イネ科植物の写真撮影を行った。

「生きものをまねるーネイチャーテクノロジー入門ー」

近年の工業製品の中には、「カワセミのとがったくちばしをまねて作られた 500 系新幹線の車両」のように、自然に見られる構造やシステムからデザインしたものが少なくない。このような新しい技術はネイチャーテクノロジーと呼ばれているが、生物標本と工業製品を対比して紹介することを予定している。北海道大学総合博物館で行ったネイチャーテクノロジー展の視察、及び東北大学大学院環境科学研究部教授石田秀輝氏から展示について指導を受けた。

③ 自然のフォトギャラリー

「サバンナの風　写真に見るアフリカの大地（仮）」の調査

千代田区一ツ橋日本教育会館で開催された一般社団法人サバンナクラブ - 東アフリカ友の会の写真展「サバンナを訪ねて」を視察し、同会会長や役員等と自然のフォトギャラリーの開催に向け協力依頼を行い、内諾を得た。また、同会の設立者である故小倉寛太郎夫人の小倉和江氏とも面会し故小倉氏に関わる展示を加えることでも了承を得た。

(4)　群馬県立自然史博物館研究報告第 17 号の発行

内容は、論文 16 編（原著論文・総説 13、短報 1、資料 1、雑報 1）である。

(5) 外部連携による調査研究

事業名	分担区分	担当者名	外部資金	連携組織 資金提供組織	備考
良好な自然環境を有する地域学術調査	分担	大森威宏 姉崎智子 田中源吾	○	群馬県自然環境調査研究会	
群馬県レッドデータブック改訂	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会	
群馬県特定外来生物生息状況調査	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会	
尾瀬における植物分布調査およびシカ食害調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課尾瀬保全推進室	
群馬県シードバンク構築事業	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境課	H23～
群馬県内における菌類調査	連携	篠原克実		群馬県林業試験場 群馬県野生きのこ同好会	
群馬県特定動物保護管理計画にともなう検体分析事業（ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ニホンジカ、ニホンイノシシ）	連携	姉崎智子		群馬県自然環境課、市町村 東京農業大学、（財）自然環境研究センター、京都大学霊長類研究所、総合研究大学院大学	
野生鳥獣肉をモデルとした放射性物質（セシウム）の体内分布に関する調査	連携	姉崎智子		群馬県食肉衛生検査所	
群馬県ニホンジカにおけるプリオン調査	協力	姉崎智子		群馬県食肉衛生検査所	
群馬県における野生動物カメラトラップ調査	連携	姉崎智子		利根沼田自然を愛する会 桐生自然観察の森	
栃木県産クジラ類化石	連携	木村敏之		栃木県立博物館	
昭島市産ヒゲクジラ類化石	代表	木村敏之		昭島市教育委員会・国立科学博物館	
食虫類のハンタウイルス	連携	木村敏之		国立感染症研究所	
動物園個体の標本化・収蔵	連携	姉崎智子		株式会社群馬サファリワールド、桐生市桐生が岡動物園	
山中層群の古生物学的研究	連携	髙桒祐司		神流町恐竜センター	
桐生市梅田の足尾帯産腕足類研究	連携	髙桒祐司		田澤純一（元新潟大学）	
絶滅爬虫類の脳形態に関する研究	連携	髙桒祐司		對比地孝亘（東京大学理学部）	
ザゼンソウ群落保全に係る調査	連携	大森威宏	○	草津町教育委員会	
日本産カヤツリグサ科分布図作成事業	連携	大森威宏		すげの会	
赤城山ニホンジカ個体数調整事業	分担	姉崎智子	○	環境省地域生物多様性保全活動支援	

共同利用研究「群馬県空中写真デジタル化・環境解析事業」	連携	姉崎智子		同志社大学	
群馬県立自然史博物館教職員実技研修会事業	代表	高橋秀武	○	（財）全国科学博物館振興財団	H22,23
基盤研究Ｂ： 「岩陰遺跡の生物考古学的研究－長野県北相木村ノンコ岩Ｉ遺跡の学際的調査」	分担	姉崎智子	○	文部科学省科学研究費補助金	（平成 22 年度～平成 24 年度：研究代表者本郷一美・総合研究大学院大学・葉山高等研究センター）
新学術領域： 「西アジア都市文明の資源基盤と環境」	分担	姉崎智子	○	文部科学省科学研究費補助金	（平成 24 年度～平成 28 年度：研究代表者本郷一美・総合研究大学院大学・葉山高等研究センター）
若手研究Ｂ： 「三葉虫はスキソクローラル・アイでどのように物を見ていたか」	代表	田中源吾	○	文部科学省科学研究費補助金	（平成 22 年度～平成 24 年度）
暗黒バエの眼の退化の研究	代表	田中源吾	○	文部科学省科学研究費補助金、京都大学、岡山大学、オクスフォード大学	若手研究 B の一部より捻出
西南日本の中生代の地質学的・古生物学的研究	分担	田中源吾		京都大学、むかわ町立穂別博物館、IMPEC、JAPEC	
オルステンタイプの保存を示す化石の研究	分担	田中源吾		ウルム大学、レスター大学、京都大学	
例外的に保存された眼の化石の研究	代表	田中源吾	○	文部科学省科学研究費補助金、レスター大学、オクスフォード大学、英国自然史博物館、信州大学	若手研究 B の一部より捻出
カンブリア紀初期の中枢神経系の復元	代表	田中源吾		雲南大学、アリゾナ大学	
世界最古の雌の化石の研究	分担	田中源吾		レスター大学、イェール大学	
津波堆積物の現・古生物学的、堆積学的研究	分担	田中源吾		千葉大学、東京大学、神奈川県立生命の星・地球博物館、京都大学	
共同利用研究「現生および考古遺跡出土ニホンザルの骨形態変異に関する研究」	代表	姉崎智子	○	京都大学霊長類研究所	
共同利用研究「神奈川県下のイノシシ・ニホンザルの形態変異に関する研究」	代表	姉崎智子		神奈川県立生命の星・地球博物館	

・外部研究者の調査協力

研究テーマ	協力者	協力元代表研究者名（所属）	備考
絶滅危惧種・ブコウマメザクラの生態に関する研究	大森威宏	勝木俊彦（森林総合研究所）	調査同行・案内
日本産シダ植物の分布資料作成	大森威宏	海老原淳（国立科学博物館）	

ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワグマの遺伝的集団構造	姉崎智子	佐々木剛（東京農業大学）	試料提供
群馬県ニホンザル苦味受容体遺伝子解析	姉崎智子	今井啓雄、鈴木南美（京都大学霊長類研究所）	試料提供
ハクビシンの遺伝子解析	姉崎智子	増田隆一（北海道大学）	試料提供

5 情報システム

自然史博物館情報システムは平成 20 年度より第三次システムの運用を開始した。システム概要は以下の通りである。情報システムは 5 つのサブシステムから構成されており、これらが相互連携して機能することにより、来館者、外部利用者、館職員が利用しやすいように設計されている。

(1) 収蔵品管理システム

収蔵資料の属性データをデジタル化して一元管理するためのシステムである。データは属性情報だけでなく、当該資料の画像等の管理も行っている。また、一元管理されたデータは、展示情報システム、普及広報システムと連携を図り有効活用している。使用しているソフトウェアは MusethequeV3　である。

年度当初、データを磁気テープ媒体にバックアップし、情報管理室内にて保管している。

(2) 展示情報システム

情報コーナー展示システム、常設展示用展示システム、来館案内（プラズマディスプレイ）の 3 つからなる。収蔵情報・クイズ・ビデオ・図書情報が簡単な操作で見られるように構成されており、館内の情報コーナー及び各展示コーナーの端末で利用できる。収蔵情報は収蔵品管理システムと連動しており、新たな収蔵品の情報を直ちに見ることができる。ビデオ番組は、群馬県内の自然環境および景勝地などを過去に撮影したもの等、合計 200 タイトルを保有している。来館案内は、企画展、イベントの情報を常時配信している。

(3) 図書文献管理システム

館所蔵の図書文献を管理し、図書情報の検索に活用している。収蔵情報は展示情報システム、普及広報システムに反映され、来館者が図書室、情報コーナーに保管している図書を検索できる。

(4) 普及広報システム

インターネット上で、イベント、博物館活用ネットワーク、友の会、ボランティア、収蔵品、図書、博物館実習等の各情報や、施設案内・博物館だよりなどを紹介している。展示室・イベント情報については動画配信を行っている。学習用ワークシート、調査報告書、博物館便り（デメテール）は、すべて HP からダウンロードできる。また、イベントや団体・学校利用に関する質問、博物館の資料・展示・研究に関する質問、システム・ホームページに関する質問についてそれぞれ電子メールでの対応も行っている。

ア　HP アクセス件数　　302,213
イ　HP への情報掲載（新着情報）件数　　77
ウ　メールマガジン送信数　　13

(5) 学習支援システム

学校から学年単位などの団体で来館し、展示室で課題解決学習を行いたいという要望に応える形で作成したプログラムである。児童・生徒が各コーナーの展示資料の見方や展示場所をコンピュータで調べ、実物の資料を観察ながら学習できるシステムである。

６　出版・広報事業

(1)　出版物

次の広報用印刷物および書籍を発行した。

種類	名　　称	規格	頁数	部数
博物館だより	自然史博物館だより「デメテール」No54	A4 版 2p ｶﾗｰ･6p2 色	4	10,000
	自然史博物館だより「デメテール」No55	A4 版 2p ｶﾗｰ･6p2 色	4	10,000
	自然史博物館だより「デメテール」No56	A4 版 2p ｶﾗｰ･6p2 色	4	10,000
ポスター	第 40 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	第 41 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	第 42 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
企画展・特別展リーフレット	第 40 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		60,000
	第 40 回企画展広報用しおり	B5・1/8 ｶﾗｰ		4,000
	第 41 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		60,000
	第 41 回企画展広報用しおり	B5・1/8 ｶﾗｰ		4,000
	第 42 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		60,000
	第 42 回企画展広報用しおり	B5・1/8 ｶﾗｰ		4,000
	写真展「サバンナの風」	A4 版ｶﾗｰ		15,000
企画展図録	第 40 回企画展展示ガイドブック	A4 版ｶﾗｰ	40	1,000
	第 41 回企画展展示ガイドブック	A4 版ｶﾗｰ	52	800
	第 42 回企画展展示ガイドブック	A4 版ｶﾗｰ	52	800
リーフレット	イベントガイド 2012.10～2013.3	A3 版横観音開き 表ｶﾗｰ･裏１色		25,000
	イベントガイド 2013.4～2013.9	A3 版横観音開き 表ｶﾗｰ･裏１色		25,000
研究報告	研究報告 17 号	A4 版一部ｶﾗｰ	148	650

(2)　出版物の主な配布先（研究報告を除く）

群馬県	市町村教育委員会、小中学校、高等学校、幼稚園、保育園、大学、短期大学、公民館、道の駅、地元企業、報道機関、ホテル、旅館、観光施設、児童館、病院
埼玉県	小中学校（一部）、公民館（一部）、旅行業者（一部）
東京都	市町村教委（一部）
栃木県	小中学校（足利・佐野地域）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
長野県	小中学校（一部）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
その他	関東近県博物館、同美術館等

(3)　広報（情報発信）・広告・取材

見学予定の団体に対してプロモーション用ＤＶＤの貸出を行った。さらに写真･資料を雑誌･広報誌等に提供し、館および企画展を紹介した。

①　プロモーション用ＤＶＤの貸出

平成 24 年度貸出件数　110 件

②　活字媒体による情報資料掲載

ア　県広報等からの発信

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.4.1	企画展講演会「青い魚はなぜ青い？」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.4.7	ファミリー自然観察会「春の草花をみつけよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.4.13	学芸員による特別解説の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.4.13	第３９回企画展「オシャレな動物たち」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.4.19	企画展講演会「青い魚はなぜ青い？」の紹介紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.4.21	ミュージアムスクール生募集の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.4.28	第３９回企画展「オシャレな動物たち」の紹介
群馬交響楽団	講演チラシ	2012.5	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.5.1	博物館紹介動画について
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.5.3	サイエンス・サタデー「ライオンの歯のレプリカをつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.5.3	「バックヤードツアー３０」の紹介
県庁広報課	ぐんま広報	2012.6	企画展講演会「ぐんまの大地をつくる鉱物たち」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.6.1	「バックヤードツアー３０」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.6.2	サイエンス・サタデー「火山灰から宝石を見つけよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.6.2	「『金星の太陽面通過』観察会」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.6.9	「自然史博物館探検隊」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.6.14	自然教室「チリメンモンスターをゲットしよう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.6.15	「学芸員による特別解説」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.7.1	ファミリー自然観察会「昆虫をつかまえよう－自由研究の参考に－」の紹介

上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.7.6	サイエンス・サタデー「翼竜アンハングエラ型グライダーをつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「オピニオン２１－導きの人－」	2012.7.6	サイエンス・サタデー「翼竜アンハングエラ型グライダーをつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.7.7	講演会「知られざる深海の世界－現世・化石ウミユリを例に－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.7.11	自然教室「ペーパークラフトで深海の世界をつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.7.14	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.7.18	「自然史博物館ボランティア募集」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.8.2	サイエンス・サタデー「アンモナイト化石のレプリカをつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.8.5	チャレンジ講座「貝類コース」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.8.15	講演会「深海の生態系」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.8.17	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.8.22	自然教室「ぐんまの陸貝の世界」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.9.7	サイエンス・サタデー「飛ぶたね型ブーメランをつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.9.20	講演会「冬虫夏草は面白い！！」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.9.22	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.3	天体観望会「夏・秋の星を観察しよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.4	自然教室「食育プログラムーおだしのことなら」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.6	講演会「毒きのこってどういうの？」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.7	「ミュージアムナイトツアー」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.10	講演会「菌類と私たちの生活」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.11	講演会「うんちはごちそう」の紹介

上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.12	サイエンス・サタデー「クルクル絵本でつくるキノコの世界」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.13	展示会「秋のきのこウォッチング」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.18	「ミュージアムナイトツアー」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.10.18	自然教室「家庭で楽しむキノコ栽培」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.11.2	講演会「群馬の尾瀬・至仏山」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.11.4	「学芸員による特別解説」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.11.9	ファミリー自然観察会「バードウォッチング」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.11.14	天体観望会「ふたご座流星群を観察しよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.12.1	サイエンス・サタデー「岩絵の具でクリスマスカードや年賀状をつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.12.12	天体観望会「木星と冬の星たちを観察しよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.12.20	バックヤードツアーの紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2012.12.27	ファミリー自然観察会「かくれている昆虫を見つけよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.1.1	サイエンス・サタデー「松ぼっくりで動物をつくろう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.1.16	天体観望会「月と冬の星たちを観察しよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.1.17	バックヤードツアーの紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.2.1	サイエンス・サタデー「土の中から石の結晶を見つけよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.2.7	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.3.2	サイエンス・サタデー「顕微鏡で土の中の生き物を見つけよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.3.16	第４２回企画展「サンゴ　ー共生の海・ささえあう生命ー」の紹介

イ　上記以外からの発信

朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.4.13	第３９回企画展「オシャレな動物たち」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.4.13	企画展講演会「青い魚はなぜ青い？」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2012.4.13	第３９回企画展「オシャレな動物たち」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.4.27	サイエンス・サタデー「ライオンの歯のレプリカをつくろう」の紹介
上毛新聞社	ＴＡＫＡＴＡＩ	2012.5.11	金環日食観察会
読売新聞	群馬よみうり	2012.5.11	金環日食観察会
パリッシュ出版	月刊パリッシュ	2012.6	サイエンス・サタデー「火山灰から宝石を見つけよう」の紹介
富岡市	広報とみおか	2012.6	「富岡周遊スタンプラリー」の紹介
埼玉新聞社	埼玉新聞	2012.6.29	博物館紹介
株式会社ジャスト	月刊ヴィアン	2012.7	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
株式会社 広告新聞	広告新聞	2012.7.8	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2012.7.13	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
上毛新聞社	テレナイン	2012.7.14	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
信濃毎日新聞社	信濃毎日新聞	2012.7.19	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
読売新聞	群馬よみうり	2012.7.27	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.7.27	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.7.31	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
桐生タイムス社	タウンわたらせ	2012.8.11	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.8.17	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2012.9.7	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
朝日新聞社	朝日新聞（首都圏版）	2012.9.19	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介

朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.9.21	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
東部よみうり新聞社	東部よみうり新聞	2012.9.21	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
朝日新聞社	朝日新聞群馬マリオン	2012.9.25	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
東部よみうり新聞社	東部よみうり新聞	2012.9.28	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2012.11.2	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
朝日新聞社	朝日新聞群馬マリオン	2012.11.9	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「テレナイン」	2012.12.15	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」
読売新聞	群馬よみうり	2012.12.28	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」
パリッシュ出版	月刊パリッシュ	2013.1	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」
朝日新聞社	朝日群馬	2013.1.18	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」
朝日新聞社	朝日新聞群馬マリオン	2013.1.23	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」
上毛新聞社	上毛新聞	2013.2.21	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介
読売新聞	群馬よみうり	2013.3.8	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2013.3.15	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介
朝日新聞社	朝日群馬	2013.3.15	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介
上毛新聞社	テレナイン	2013.3.16	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2013.3.22	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介
東京新聞社	東京新聞	2013.3.22	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介

③　電波媒体による情報発信

ア　県広報等からの発信

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「カラーワイヤーで昆虫をつくろう」の紹介	2012.4
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	ぐんま情報トッピング	企画展講演会「青い魚はなぜ青い？」の紹介	2012.4.5
岩井　利信	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展講演会「青い魚はなぜ青い？」の紹介	2012.4.10
岩井　利信	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	企画展講演会「青い魚はなぜ青い？」の紹介	2012.4.12
アナウンサーによる原稿読み	群馬テレビ	ＧＴＶニュース	特別展示「世界最小のナウマンゾウ」の紹介	2012.4.18
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス・サタデー「ライオンの歯のレプリカをつくろう」の紹介	2012.5
アナウンサーによる原稿読み	群馬テレビ	ニュースジャスト800	特別展示「絶滅イルカの全身骨格化石」の紹介	2012.5.7
生中継	群馬テレビ	ＧＴＶニュース	博物館紹介	2012.5.15
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	ぐんま情報トッピング	講演会「ぐんまの大地をつくる鉱物たち」の紹介	2012.5.22
戸所　雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「ぐんまの大地をつくる鉱物たち」の紹介	2012.5.23
戸所　雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「ぐんまの大地をつくる鉱物たち」の紹介	2012.5.24
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	あさナビ・ジャスト６	サイエンス・サタデー「火山灰から宝石を見つけよう」の紹介	2012.6.8
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然教室「ペーパークラフトで深海の世界をつくろう」の紹介	2012.7
小須田　健志	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「知られざる深海の世界－現世・化石ウミユリを例に－」の紹介	2012.7.13

小須田　健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「知られざる深海の世界－現世・化石ウミユリを例に－」の紹介	2012.7.13
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	ぐんま情報トッピング	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介	2012.8.7
小須田　健志	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「深海の生態系」の紹介	2012.8.17

アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	あさナビ・ジャスト６	講演会「深海の生態系」の紹介	2012.8.13
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「冬虫夏草は面白い！！」の紹介	2012.9
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介	2012.9
姉崎　智子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介	2012.9.19
姉崎　智子	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介	2012.9.21
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	ぐんま情報トッピング	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介	2012.9.24
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	ぐんま情報トッピング	講演会「菌類と私たちの生活」の紹介	2012.9.24
アナウンサーによる原稿読み	群馬テレビ	ＧＴＶニュース	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介	2012.9.25
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「うんこはごちそう」の紹介	2012.10
戸所　雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「菌類と私たちの生活」の紹介	2012.10.3
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	ファミリー自然観察会「バードウォッチング」の紹介	2012.11

アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	あさナビ・ジャスト６	ファミリー自然観察会「バードウォッチング」の紹介	2012.11.13
戸所　雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「群馬の尾瀬・至仏山」の紹介	2012.11.15
戸所　雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「群馬の尾瀬・至仏山」の紹介	2012.11.22
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」の紹介	2012.12
三田　照芳	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」の紹介	2012.12.26
三田　照芳	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」の紹介	2012.12.28
アナウンサーによる原稿読み	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	天体観望会「月と冬の星たちを観察しよう」の紹介	2013.1
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	ぐんま情報トッピング	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真にみるアフリカの大地」の紹介	2013.1.1
小須田　健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	天体観望会「月と冬の星たちを観察しよう」の紹介	2013.1.4
小須田　健志	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	天体観望会「月と冬の星たちを観察しよう」の紹介	2013.1.11
アナウンサーによる原稿読み	群馬テレビ	ＧＴＶニュース （ジャスト６）	自然のフォトギャラリー「サバンナの風　写真に見るアフリカの大地」の紹介	2013.1.14
戸所　雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「ぐんまの大地にねむる化石たち」の紹介	2013.2.15
戸所　雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「ぐんまの大地にねむる化石たち」の紹介	2013.2.21
アナウンサーによる原稿読み	ＦＭ群馬	ぐんま情報トッピング	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介	2013.3.14
小須田　健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介	2013.3.19
小須田　健志	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	第４２回企画展「サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－」の紹介	2013.3.28

イ　上記以外からの発信

アナウンサーによる原稿読み	ＮＨＫ前橋	お昼のニュース	企画展講演会「青い魚はなぜ青い？」の紹介	2012.4.6
アナウンサーによる原稿読み	ＮＨＫ前橋	お昼のニュース	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介	2012.6
アナウンサーによる原稿読み	ＮＨＫテレビ	お昼のニュース	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介	2012.6
木村　敏之	ＮＨＫ前橋	ほっとぐんま６４０	特別展示「県指定特別天然記念物『ジョウモウクジラ』」の紹介	2012.6.12
特別番組	ＴＢＳテレビ	特別番組「可視化ＳＨＯＷ」	常設展示の紹介	2012.7.3

④　取材対応

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内　　容
上毛新聞社	上毛新聞	2012.4.6	第３９回企画展「オシャレな動物たち-入館者数１万人達成セレモニーー」の紹介
読売新聞社	読売新聞	2012.4.7	第３９回企画展「オシャレな動物たち」の紹介
毎日新聞社	毎日新聞	2012.4.13	特別展示「世界最小のナウマンゾウ」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.4.22	特別展示「世界最小のナウマンゾウ」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.5.2	特別展示「絶滅イルカの全身骨格化石」の紹介
読売新聞社	読売新聞	2012.5.22	「金環日食観察会」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.7.15	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
読売新聞社	読売新聞	2012.7.21	第４０回企画展「深海の生物－海底二万里の世界－」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.7.22	移動博物館（太田新田荘歴史資料館）の紹介
読売新聞社	読売新聞	2012.7.28	第４０回企画展「来館者数一万人達成セレモニー」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.7.29	第４０回企画展「来館者数一万人達成セレモニー」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.8.9	講演会「知られざる深海の世界」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞（テレナイン欄）	2012.9.22	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介

上毛新聞社	上毛新聞	2012.9.23	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
産経新聞社	産経新聞	2012.9.24	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
朝日新聞社	朝日ぐんま	2012.9.28	第４１回企画展「キノコとカビのミラクルワールド」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2012.10.29	第４１回企画展「来館者２万人達成セレモニー」の紹介
読売新聞社	読売新聞	2012.11.17	ファミリー自然観察会「バードウォッチング」の紹介
東京新聞社	東京新聞	2013.1.7	自然のフォトギャラリー「サバンナの風 写真にみるアフリカの大地」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2013.1.13	自然のフォトギャラリー「サバンナの風 写真にみるアフリカの大地」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2013.1.19	講演会「食害とナラ枯れ」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2013.3.17	第４２回企画展「サンゴ　ー共生の海・ささえあう生命ー」の紹介
読売新聞社	読売新聞	2013.3.17	第４２回企画展「サンゴ　ー共生の海・ささえあう生命ー」の紹介

③　ビデオグラファーズオンライン作成の当館イメージビデオについて、当館ＨＰならびに Youtube で公開をはじめた。

7　ボランティア等支援活動

(1)　ボランティア活動

① ボランティア登録状況

活動者	休止者	合計	辞退者
88 名	26 名	114 名	4 名

② ボランティア活動状況　（登録人数は重複あり）

分　　野	登録人数	活動回数
解　説	26名	240
資料整理	24名	80
発　送	22名	39
サイエンス・サタデー	35名	151
合　　計	107名	510

③ ボランティア基礎学習会

ボランティアの基礎知識向上と生涯教育の一環、ボランティアと職員との交流をねらいとして基礎学習会を行った。

テーマ	講　師	日　時	参加者
第 1 回 身近な放射線	県民健康科学大学 高橋康幸	平成 24 年 6 月 3 日(日)	15 名
第 2 回 霧箱についての説明	学芸係長 三田照芳	平成 24 年 7 月 16 日(月)	6 名
第 3 回 日本にパンダはいたか	名誉館長 長谷川善和	平成 25 年 3 月 3 日(日)	25 名

④ サタデーボランティア新規メニュー検討会

新規のメニューの説明内容・作成方法等を習得するとともに、改善点を話し合った。

テーマ	講　師	日　時	参加者
飛ぶたね型ブーメランをつくろう	教育普及係 岩井利信	平成 24 年 7 月 7 日(土)	8 名
くるくる絵本でつくるキノコの世界	教育普及係 戸所雄彦	平成 24 年 9 月 8 日(土)	4 名
松ぼっくりで動物をつくろう	教育普及係 小須田健志	平成 24 年 12 月 22 日(土)	4 名
土の中から石の結晶を見つけよう	学芸係 田中源吾	平成 25 年 1 月 19 日(土)	4 名

⑤ ボランティア全体会

ボランティア全体会を 1 回実施した。内容は、名誉館長を含めた館職員といっしょに、一年間の活動の反省と課題について意見交換を行った。

日　　時	平成 25 年 3 月 3 日(日)10:00～12:10
参加人数	ボランティア 21 名、 館職員 3 名
場　　所	大会議室

(2)　友の会

① 平成 24 年度会員数　344 名

〈内 訳〉

個人会員	46 名

家族会員	69 家族
賛助会員	14 団体・個人

② 総会・講演会

日　　時	2011 年 5 月 8 日(日)
参加人数	46 名
講　　師	館長　長谷川善和

③ 友の会博物館等視察研修会

日　　時	2011 年 11 月 6 日(日)　　7:30～18:00
場　　所	ミュージアムパーク茨城県自然博物館　ＪＡＸＡ筑波宇宙センター
参加人数	44 名

④ フィールド活動・体験活動

タイトル	里山の植物を観察しよう（雨天中止）	魚・鳥・イカを解剖して脳を探そう	野鳥を観察しよう
講　師	里見哲夫	学芸係　杉山直人	葛生淳一・坂本　弘
日　時	5 月 29 日(日) 10:00～12:00	9 月 4 日(日) 10:00～12:00	2 月 12 日（日） 9：00～12：00
参加者	20 名（予定）	15 名	17 名

⑤ 友の会通信

	第 25 号	第 26 号
発　行　日	8 月 23 日(火)	1 月 31 日(火)
編集委員会	5 月 20 日(金)	12 月 4 日(日)
場　　所	中会議室	中会議室
発行部数	500 部	500 部

(3)　東日本大震災による被災標本等の救済活動

東北地方太平洋沖地震により被災した文化財等の救済活動を次のように実施した。

①日本鯨類研究所所蔵のクジラ類骨格標本の救済活動

【派遣期間】平成 24 年 4 月 9 日～4 月 11 日

【当館からの派遣人員】１名（木村敏之・学芸係）

【活動内容】文化財等レスキュー（日本博物館協会による）

骨格標本等の回収・同定・整理

【派 遣 先】日本鯨類研究所鮎川実験所（宮城県石巻市）

②陸前高田市立博物館の昆虫標本の修復および DB 化

陸前高田市立博物館の昆虫標本 284 点を修復し DB 化を行った。

Ⅲ　資料

１　職員の委員会等委員就任状況

職・氏名	名　　称	依頼先	期　　間
名誉館長　　長谷川善和	埼玉県立自然史博物館資料評価委員会委員	埼玉県立自然史博物館	
	日本蛇族学術研究所理事	日本蛇族学術研究所	
	長野県飯田市美術博物館顧問	飯田市	
	日本洞窟学研究所理事	岩手県岩泉町	
主幹　大森威宏	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	H17.4.1～
	群馬県自然環境審議会委員	群馬県環境森林部	H21.3.25～
	群馬県尾瀬保護専門委員	群馬県知事	H23.4.1～
	群馬県希少野生動植物保護条例（仮称）検討委員会	群馬県環境森林部	H22.12.17～
	すげの会幹事	すげの会	H20.5.7～
主幹（学芸員）　髙桒祐司	ジオパーク下仁田協議会委員	下仁田町	H22.3.2～
	自然史学会連合博物館部会委員	自然史学会連合	H22.1.1～
	化石研究会運営委員	化石研究会	H21.6.13～ H24.6.9
	化石研究会事務局長	化石研究会	H24.6.9～
	日本古生物学会将来計画委員	日本古生物学会	H24.2.6～
	日本古生物学会化石友の会担当幹事	日本古生物学会	H24.4.10～
	第 56 回日本学生科学賞・県審査会審査員	読売新聞社	H24.10.23
主任（学芸員）　木村敏之	瑞浪市化石博物館専門委員	瑞浪市化石博物館	H.13.4.1～
	第 56 回日本学生科学賞・県審査会審査員	読売新聞社	H24.10.23
主任（学芸員）　姉崎智子	群馬県ツキノワグマ保護管理検討会委員	群馬県環境森林部	H17.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ保護管理検討会委員	群馬県環境森林部	H20.11.1～
	群馬県ニホンザル保護管理検討会委員	群馬県環境森林部	H22.3.9～
	群馬県ニホンイノシシ保護管理検討会委員	群馬県環境森林部	H21.8.28～
	群馬県ニホンジカ保護管理検討会オブザーバー	群馬県環境森林部	H20.9.1～
	群馬県 RDB 改訂(動物部門)検討委員	群馬県自然環境調査会	H20.4.1～
	環境省鳥獣保護管理調査コーディネーター	環境省自然環境局	H22.6.17～
	日本哺乳類学会　種名・標本委員会委員	日本哺乳類学会	H23.11～
	第 56 回日本学生科学賞・県審査会審査員	読売新聞社	H24.10.23
主任（学芸員）　田中源吾	日本古生物学会会員係幹事	日本古生物学会	H20.6.30～

２　職員の研修会等講師としての派遣の状況

研　修　会　等　名　称	主　　催　　者	期　　日	派遣職員
群馬県自然保護指導員委嘱式に係る講習会	群馬県自然環境課	H.24.4.17	大森威宏
尾瀬ガイド協会認定ガイド講習会（座学）	尾瀬ガイド協会群馬支部・尾瀬保護財団	H.24.5.18	大森威宏
尾瀬ガイド協会認定ガイド講習会（現地）	尾瀬ガイド協会群馬支部・尾瀬保護財団	H.24.8.18～19	大森威宏
群馬県レッドデータブックに関する勉強会	群馬県弁護士会	H.24.9.3	大森威宏
第２回「どうする、どうなる、群馬の自然の保護を考える」	環境カウンセラーズぐんま、群馬県	H.24.11.14	大森威宏
「莎草研究」誌論文査読	すげの会	H.24.10.	大森威宏
軽井沢サクラソウ会議視察研修講師（館内）	軽井沢サクラソウ会議	H.24.12.8	大森威宏
出前講座・群馬の絶滅危惧植物	水資源機構群馬用水管理所	H.24.12.18	大森威宏
第１回森林の生物多様性講座「群馬の自然林は今・・・」	群馬県緑化推進課	H.25.1.23	大森威宏
群馬県自然保護指導員講習会	群馬県自然環境課	H.25.1.26	大森威宏
「東北植物研究」誌論文査読	東北植物研究会	H.25.1.	大森威宏
カマラサウルス等貸出展示物の展示解体指導	大阪大学総合学術博物館	H.24.7.2	髙桒祐司
アンテトニトルス等貸出展示物の列品ならびに解体指導	世界最大 恐竜王国 2012	H.24.7　～10	髙桒祐司
職業人講話・講師	群馬県立富岡高等学校	H.24.8.30	髙桒祐司
６年生地層見学（安中市内）講師	高崎市立吉井西小学校	H.24.10.11	髙桒祐司
６年生地層見学（安中市内）講師	安中市立九十九小学校	H.24.10.24	髙桒祐司
論文査読：化石（日本古生物学会和文誌）	日本古生物学会	H.24.11.	髙桒祐司
しんとう　ふるさと歴史講座　「ぐんまの化石」	榛東村耳飾り館	H.25.2.9.	髙桒祐司
ＮＰＯ法人　群馬県地すべり防止工事士会 技術講演会「群馬に海があった頃～ジョウモウクジラと海棲生物化石～」	ＮＰＯ法人　群馬県地すべり防止工事士会	H.25.2.20	木村敏之
化石発掘指導	栃木県立博物館	H.25.2.11, 12	木村敏之
かぶら文化講座「富岡に海があった頃～ジョウモウクジラと海棲生物化石～」	富岡市教育委員会	H.24.10.10	木村敏之
庄原市立比和自然科学博物館地学分館オープン記念講演会「クジラ類の進化をたどる」	庄原市立比和自然科学博物館	H.24.8.3	木村敏之
論文査読：Acta Palaeontologica Polonica	Institute of Paleobiology, Polish Academy of Sciences	H.24.10.	木村敏之
論文査読: Paleontological Research	日本古生物学会	H.24.12.	木村敏之
論文査読: Paleontological Research	日本古生物学会	H.25.1.	木村敏之
鳥獣保護員委嘱式講演「群馬県内の野生動物の現状を把握するために」	群馬県自然環境課	H.24.4.11	姉崎智子
定例会講座「人と動物の関係史～豊かな自然を未来へつなぐために～」	群馬県緑のインタープリター会	H.24.7.18	姉崎智子
インタープリター養成講座研修「動植物と食物連鎖」	ぐんま緑のインタープリター協会	H.24.10.7	姉崎智子
イノシシの生態について	全国獣害サミット・長崎	H.24.10.25～27	姉崎智子
第２回「どうする、どうなる、群馬の自然の保護を考える」	環境カウンセラーズぐんま、群馬県	H.24.11.14	姉崎智子
群馬県自然保護指導員講習会「外来生物について・哺乳類」	群馬県自然環境課	H.25.1.26	姉崎智子
論文査読：哺乳類科学	日本哺乳類学会	H.24.8.	姉崎智子

３　職員の論文発表等

（1）　論文等

職・氏名	論　　題	発表誌	発表年
名誉館長　長谷川善和	日本の現地ほ乳類の起源を考える(長谷川善和)	哺乳類科学 52(2):233-247	2012
	千葉県銚子市長崎鼻の鮮新統名洗層産象臼歯化石．（長谷川善和･冨田　進･加藤久佳･北川博道･國府田良樹）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 49-54.	2013
	群馬県桐生市蛇留淵洞から産出したトラとニホンザル化石．（長谷川善和・岡部勇・宮崎重雄・髙桒祐司・木村敏之）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 55-60.	2013
	栃木県佐野市出流原片柳石灰採石場産の狼と象化石．　（長谷川善和・奥村よほ子・片柳岳巳・北川博道・田中源吾）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 61-70.	2013
	島根県大田市の中新統よりガンジスカワイルカ上科ハクジラ類化石の産出．（木村敏之･長谷川善和･河野重範･松浦良彦）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 71-78.	2013
	Early Middle Miocene ostracods from 'Kojyakui-sho', Tomioka City, Gunma Prefecture, central Japan. (Gengo Tanaka and Yoshikazu Hasegawa)	Bulletin of Gunma Museum of Natural History, (17): 1-18.	2013
	埼玉県産出のパレオパラドキシア化石について(北川博道･坂本治･長谷川善和)	**埼玉県立自然の博物館研究報告**(7):15-22	2013
	宇都宮市下岡本の鬼怒川河川敷より産出したグジラ類化石の産状について(柏原勇二･木村敏之･青島睦治･小暮健太･長谷川善和)	**栃木県博物館研究紀要**(30):9-16	2013
主幹　大森威宏	尾瀬ヶ原におけるスゲ属ハクサンスゲ節植物の分布と生育立地（大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (34):79-84.	2012
	尾瀬ヶ原におけるナガバノモウセンゴケ *Drosera anglica* Huds. の分布と生育立地（大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (34):85-89.	2012
	尾瀬ヶ原におけるミツカドシカクイとミチノクホタルイの分布と生育立地（大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (35):49-52.	2013
	尾瀬ヶ原山ノ鼻及び背中アブリ田代におけるシカ攪乱地の植生とシカの嗜好性（大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (35):53-63.	2013
	尾瀬の植生と植物相ⅩⅧ－中田代の植生1－（鈴木伸一・吉井広始・片野光一・大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (35):39-47.	2013
	尾瀬の保護状重要な植物の生育情報データベースの構築（黒沢高秀・大森威宏・猪狩貴史）	尾瀬の保護と復元-福島県特殊植物等保全事業調査報告書-, (30):33-38.	2012
主幹（学芸員）髙桒祐司	群馬県桐生市蛇留淵洞から産出したトラとニホンザル化石．（長谷川善和・岡部勇・宮崎重雄・髙桒祐司・木村敏之）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 55-60.	2013

主幹　杉山直人	群馬県西部におけるカワヒバリガイの分布状況（2012 年）.（杉山直人）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 151-154.	2013
	陸産貝類簡易検索表の作成と活用の試み.（杉山直人）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 155-160.	2013
主任（学芸員） 木村敏之	島根県大田市の中新統よりガンジスカワイルカ上科ハクジラ類化石の産出.（木村敏之・長谷川善和・河野重範・松浦良彦）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 71-78.	2013
	群馬県桐生市蛇留淵洞から産出したトラとニホンザル化石.（長谷川善和・岡部勇・宮崎重雄・髙桒祐司・木村敏之）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 55-60.	2013
	宇都宮市下岡本の鬼怒川河川敷より産したクジラ類化石の産状について（柏村勇二 ・木村敏之・青島睦治・小暮健太・長谷川善和）	栃木県立博物館研究紀要, (30):9-16	2013
主任（学芸員） 姉崎智子	The prenatal mortality rate of the wild boar (*Sus scrofa*) in Gunma Prefecture. (Anezaki, T.)	Bulletin of Gunma Museum of Natural History, (17): 19-23.	2013
	Genetic population structure of the masked palm civet Paguma larvata, (Carnivora; Viverridae) in Japan, revealed from analysis of newly identified compound microsatellites. (Inoue, T., Kaneko, Y., Yamazaki, K., Anezaki, T., Yachimori, S., Ochiai, K., Kin, L-K., Pei, K.J-C., CHen, Y-J., Chang, S-W., Masuda, R.)	Conservation Genetics, 13:1095-1107.	2012
主任（学芸員） 田中源吾	Early Middle Miocene ostracods from 'Kojyakui-sho', Tomioka City, Gunma Prefecture, central Japan. (Gengo Tanaka and Yoshikazu Hasegawa)	Bulletin of Gunma Museum of Natural History, (17): 1-18.	2013
	節足動物の眼の機能形態学（田中源吾）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 25-48.	2013
	群馬県高崎市吉井南方に分布する中新統牛伏層の地質学的考察.（田中源吾・茂木由行・中嶋義明）	群馬県立自然史博物館研究報告，(17): 79-86.	2013

(2)　学会等発表

職・氏名	発　　表　　題	学会名等	発表年
主幹　大森威宏	群馬県レッドデータブック改訂版に掲載されたカヤツリグサ科植物（大森威宏）	第 23 回すげの会全国大会（於: 延岡）	2012.5.3
	上野村のシカ食害について（大森威宏）	ぐんまの自然のいまを伝える報告会（於：群馬県立自然史博物館）	2013.2.9
主幹　杉山直人	群馬県西部におけるカワヒバリガイの分布について（杉山直人）	第 15 回自然系調査研究機関連絡会議（NORNAC）（於:さいたま市市民会館おおみや)ポスター発表	2012.11.19
		ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2012（於：群馬県立自然史博物館）	2013.2.9

主幹　篠原克実	群馬県多野郡上野村における大型菌類の調査（篠原克実）	第 15 回自然系調査研究機関連絡会議（NORNAC）（於:さいたま市市民会館おおみや)ポスター発表	2012.11.19
		ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2012（於：群馬県立自然史博物館）	2013.2.9
副主幹(学芸員) 木村敏之	栃木県宇都宮市の上部中新統よりクジラ類化石の産出（柏村勇二・木村敏之・長谷川善和）	日本古生物学会第 162 回例会	2013.1.25-27
	Genetic diversity and phylogeographic of Asama virus in the Japanese shrew mole (*Urotrichus talpoides*) (Arai, S., Kimura, T., Asakawa, M., Bennett, S.N., Ohdachi, SD., Tanaka-Taya, K., Morikawa, S., Okabe, N., Yanagihara, R.)	XVIII International Congress for Tropical Medicine and Malaria XLVIII Congress of the Brazilian Society of Tropical Medicine	2012.9.23-27
	上野村におけるネズミ類の生息調査（予報）（木村敏之）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2012（於：群馬県立自然史博物館）	2013.2.9
主任(学芸員)　姉崎智子	日本列島におけるイノシシの家畜化について・骨形態学的アプローチ（姉崎智子、本郷一美）	日本人類学会骨考古学分科会シンポジウム（於：慶應義塾大学）	2012.11.2
	群馬県におけるツキノワグマ検体分析結果（2012）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2012（於：群馬県立自然史博）	2013.2.9
	ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワグマの遺伝的集団構造（佐々木剛、和久井諒、小澤咲久美、渡邊千晶、小川博、安藤元一、米澤隆弘、姉崎智子）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2012（於：群馬県立自然史博）	2013.2.9

(3) 著書・訳書・監修

氏　　名	書　　誌　　題	発　　行　　所	発表年	備考
名誉館長 長谷川善和	世界最大 恐竜王国 2012 公式カタログ	汎企画 21	2012	監修
名誉館長 長谷川善和	「もしも？」の図鑑　恐竜の飼い方	実業之日本社	2013	監修
補佐（学芸係長）三田照芳	「もしも？」の図鑑　恐竜の飼い方	実業之日本社	2013	監修
補佐（学芸係長）三田照芳	先生のための授業で使える『かぶらの里露頭ガイド』	群馬県立自然史博物館 かぶら理科研究会	2013	分担執筆 監修
主幹 大森威宏	群馬県の絶滅のおそれのある野生生物植物編　（2012 年改訂版）	群馬県	2012	編集委員長・執筆
主幹（学芸員） 髙桒祐司	オーストラリアの恐竜～そのふしぎな進化の旅～（世界最大 恐竜王国 2012 公式カタログ）	汎企画 21	2012	分担執筆
主幹（学芸員） 髙桒祐司	「もしも？」の図鑑　恐竜の飼い方	実業之日本社	2013	監修

主幹（学芸員） 髙桒祐司	先生のための授業で使える『かぶらの里露頭ガイド』	群馬県立自然史博物館 かぶら理科研究会	2013	監修
主幹　杉山直人	先生のための授業で使える『かぶらの里露頭ガイド』	群馬県立自然史博物館 かぶら理科研究会	2013	分担執筆 監修
副主幹（学芸員）木村敏之	地球と人類の 46 億年史	洋泉社	2013	分担監修
主任（学芸員） 姉崎智子	群馬県の絶滅のおそれのある野生生物動物編　(2012 年改訂版)	群馬県	2013	哺乳類部門 執筆
主幹 小須田健志	先生のための授業で使える『かぶらの里露頭ガイド』	群馬県立自然史博物館 かぶら理科研究会	2013	分担執筆 監修

(4) その他（自然史に関する解説や意見のマスコミ等への発表・表彰など）

氏　　名	論　　題	発表誌／発行所	発表年	備考
主幹　大森威宏	草津白根山のコマクサについて	読売新聞（群馬版）	2012.4.21	
	野生植物の盗掘と絶滅危惧種について	東京新聞（群馬版）	2012.7.3	
	群馬県の貴重な自然～なぜ群馬県の植物の多様性は高いのか-シンポジウム「どうする、どうなる、群馬の自然の保護を考える」基調講演要旨	自然の解説者 第 38 号（ぐんま緑のインタープリター協会紙）	2013.1	
	栃木のアカネスゲについて	すげの会ニュース(27): 2.	2013.3	
主任（学芸員）　姉崎智子	オピニオン 21 「レッドデータブック 多様な生物の維持大切」 「導きの人　人生の歩み変えた言葉」 「後進を育てる　仲間となら限界も打開」 「知を高める」施設　根幹支える調査・研究	上毛新聞社	2012.5.14 2012.7.6 2012.8.27 2012.10.14	
	県内に生息する野生鳥獣の放射性物質汚染検査態勢の構築と検査活動の要としての寄与	群馬県生活文化部長表彰	2013.3.26	

４　視察受入

番 号	受 入 日	団　体　名	人　数
1	4 月 13 日	板橋区教育委員会	56
2	4 月 26 日	東久留米市教育委員会	19
3	4 月 26 日	練馬区立練馬中学校	5
4	4 月 27 日	清瀬市立小学校移動教室運営員会	15
5	4 月 28 日	練馬区教育委員会	80
6	4 月 28 日	中野区教育委員会	42
7	5 月 30 日	文京区教育委員会	22
8	7 月 24 日	板橋区教育委員会	31
9	8 月 24 日	千代田区教育委員会	14
10	3 月 28 日	千代田区教育委員会	7
合　計　人　数			291

５　来館者アンケート集計結果

実施日：8/4（土）8/22（水）9/29（土）11/3（土）11/10（土）11/14（水）11/17（土）
回答数：201 人（男 92 人　女 109 人）

来館者データ（数値は%）

住　所	
群 馬 県	71.6
埼 玉 県	13.9
千 葉 県	1.0
長 野 県	2.0
東 京 都	4.5
栃 木 県	0.5
そ の 他	6.5

誰と来た	
家 族 で	72.2
友 達 と	14.1
団 体 で	0.5
一 人 で	5.1
そ の 他	8.1

どんな目的で	
常設展を	47.2
企画展を	24.6
両 方 を	7.5
そ の 他	20.6

博物館について（数値は%）

何 で 知 っ た か			
家族や友達	15.3	るるぶ群馬・まっぷる群馬	2.0
インターネット	10.7	新聞	1.0
ポスターチラシ	10.3	テレビ	1.0
その他の雑誌	2.0	その他	44.4

来 館 数	
初めて	32.8
２～４回	33.3
５回以上	33.8

職員の対応	
良かった	76.9
ふつう	22.6
よくなかった	1.0

館の施設	
良かった	83.0
ふつう	16.0
よくなかった	1.0

当館の展示は	
良かった	89.5
ふつう	8.5
よくなかった	2.0

６ 学校アンケート集計結果

アンケート提出219校 （県内94校・県外121校・不明4校）

（数値は%）

学校の所在	
県内	43
県外	55
不明	2
東京	32
埼玉	19
長野	3
千葉	0
神奈川	1

来館した学年					
小1	2.0	中1	3.6	特別支援	1.2
小2	4.0	中2	2.4	不明	26.5
小3	6.3	中3	0.4		
小4	13.8	高1	2.4		
小5	24.8	高2	2.0		
小6	8.7	高3	2.4		

見学時間 （滞在時間）	
1時間以下	4.6
1時間～1時間30分以下	29.7
1時間30分～2時間以下	20.1
2時間～2時間30分以下	14.2
2時間30分～3時間以下	10.5
3時間～3時間30分以下	6.4
3時間30分～	9.1
不明	5.5

学校としての来館数	
初めて	19.2
来館したことがある	80.4
不明	0.5

来館した人の当報源	
前の学校で来館	23.8
他の先生から聞いた	33.3
個人的に来館	38.1
ホームページ	0
旅行会社から聞いた	16.7
当館のチラシ	11.9
その他	7.1

来館の観点	
展示の内容 （学習効果等）	42.9
コースの設定 （学校からの距離、旅行目的地の途上にある等）	33.8
上記の両方	2.7
その他	5.5

当館以外の目的場所			
他にも目的場所がある	81.7	当館のみである	18.3

「他にも目的場所がある」 学校の目的場所

長野方面	16.6	富岡製糸場	16.2	群馬サファリパーク	10.0
榛名方面 （榛名山、榛名湖、伊香保グリーン牧場）	8.8				
富士重工矢島工場	4.4	群馬県庁	3.1	スバル工場	2.6
こんにゃく博物館	2.6	栃木方面	1.7	県立歴史博物館	1.7
貫前神社	1.7	赤城方面	1.3	埼玉方面	0.9
高崎だるま	0.9	鬼押し出し	0.9	妙義方面	0.9
かみつけの里	0.4	尾瀬方面	0.4	鉄道文化村	0
その他	6.6	空欄	18.3		

今後の当館利用希望			
あり	100	なし	0

入館者一覧[年間]

年　月	開館日数	入館者数 入館者計	有料入館者数 有料計	個人計	一　般	大･高	小　中			団体計	一　般	大･高	小　中	無料入館者数 無料計	個人計	幼　児	小　中	65歳	身障者	その他	招待券	団体計	学　校	社会教育	特別券
8年度計	132	120,712	72,274	67,465	50,455	1,626	15,384			4,809	3,692	760	357	48,438	39,840		3,931	11,864	1,232	22,813		8,598	6,478	2,120	0
9年度計	301	207,688	120,399	108,699	76,721	2,828	29,150			11,700	6,449	2,200	3,051	86,119	59,045		4,316	14,454	4,092	36,183		27,074	22,806	4,268	1,170
10年度計	304	165,071	87,078	75,535	53,940	1,891	19,704			11,543	4,872	2,112	4,559	77,993	55,216		3,380	12,856	3,445	35,535		22,777	20,533	2,244	0
11年度計	303	150,211	76,710	65,686	45,978	1,715	17,993			11,024	3,459	3,001	4,564	73,501	54,248		3,209	11,391	2,737	36,911		19,253	18,059	1,194	0
12年度計	301	156,633	51,108	46,126	44,700	1,426				4,982	2,862	2,120		104,028	77,600	23,335	24,971	10,280	1,935	13,038	4,041	26,428	25,831	597	1,497
13年度計	303	159,416	56,190	50,893	49,392	1,501				5,297	3,389	1,908		102,897	78,551	24,738	27,022	5,569	866	16,533	3,823	24,346	24,346		329
14年度計	301	166,989	63,759	58,504	56,701	1,632		171	0	5,255	3,209	2,046		103,034	77,599	26,014	32,025		1,314	14,647	3,599	25,435	25,435		196
15年度計	298	171,697	61,013	55,518	53,806	1,493		219	0	5,495	4,428	1,067		110,405	81,682	27,054	33,487		1,446	15,765	3,930	28,723	28,723		279
16年度計	292	160,456	57,588	52,009	50,340	1,468		201	0	5,579	4,333	1,246		102,581	76,587	26,392	30,807		1,613	13,820	3,955	25,994	25,994		287
17年度計	292	153,613	56,936	51,960	50,165	1,630		165	0	4,976	3,589	1,387		96,506	71,646	24,784	28,155		1,714	12,656	4,337	24,860	24,860		171
18年度計	293	166,629	62,612	56,048	54,364	1,531		153	0	6,564	4,852	1,712		103,843	74,550	29,129	29,692		1,671	11,038	3,020	29,293	29,293		174
19年度計	292	161,626	60,907	54,693	52,893	1,630		170	0	6,214	5,561	653		100,590	72,899	28,633	27,860		1,798	11,470	3,138	27,691	27,691		129
20年度計	291	146,170	52,475	47,588	45,761	1,610		212	5	4,887	4,572	315		93,578	64,706	24,564	25,162		1,693	10,501	2,786	28,872	28,872		117
21年度計	290	162,760	62,780	58,346	55,752	2,295		297	2	4,434	3,413	1,021		99,858	71,946	25,663	30,545		1,749	10,544	3,445	27,912	27,912		122
22年度計	288	148,697	57,050	51,172	48,807	2,043		320	2	5,878	4,685	1,193		91,499	64,193	22,853	25,993		1,867	10,654	2,826	27,306	27,306		148
23年度計	291	177,698	68,720	61,269	58,508	2,483		275	3	7,451	6,183	1,268		108,815	81,997	28,783	33,614		2,765	11,497	5,338	26,818	26,818		163
								友の会																	
24年度								一般	高大																特別券
4月	26	13,818	6,050	5,045	4,868	164		13	0	1,005	316	689		7,750	6,728	2,323	2,868		243	823	471	1,022	1,022		18
5月	27	20,643	8,373	7,951	7,653	278		20	0	422	247	175		12,258	8,015	2,587	3,773		174	824	657	4,243	4,243		12
6月	19	9,200	2,806	2,583	2,476	84		23	0	223	144	79		6,383	3,043	1,151	1,190		113	569	20	3,340	3,340		11
7月	26	21,739	8,498	7,652	7,311	307		34	0	846	725	121		13,219	8,965	2,953	4,119		402	1,164	327	4,254	4,254		22
8月	30	33,983	16,576	15,086	14,232	825		29	0	1,490	1,329	161		17,378	16,733	5,466	8,786		611	935	935	645	645		29
9月	26	15,851	6,584	6,033	5,668	307		57	1	551	514	37		9,256	6,500	2,583	2,707		140	610	460	2,756	2,756		11
10月	26	21,513	4,674	4,059	3,846	166		47	0	615	537	78		16,817	9,314	2,200	1,687		221	4,820	386	7,503	7,503		22
11月	26	13,535	5,283	4,655	4,406	207		42	0	628	532	96		8,243	5,499	1,883	2,014		226	675	701	2,744	2,744		9
12月	11	2,850	1,374	1,298	1,216	61		21	0	76	76	0		1,468	1,160	516	506		40	92	6	308	308		8
1月	23	7,883	3,762	3,640	3,453	140		47	0	122	115	7		4,099	3,745	1,589	1,388		136	351	281	354	354		22
2月	23	8,147	3,768	3,715	3,495	172		48	0	53	46	7		4,365	4,166	1,720	1,541		203	265	437	199	199		14
3月	27	12,876	6,101	5,881	5,483	348		50	0	220	95	125		6,748	6,621	2,875	2,793		224	493	236	127	127		27
24年度計	290	182,038	73,849	67,598	64,107	3,059		431	1	6,251	4,676	1,575		107,984	80,489	27,846	33,372		2,733	11,621	4,917	27,495	27,495		205
合計	4,862	2,758,104	1,141,448	1,029,109	912,390	31,861		2,614	13	112,339	74,224	25,584		1,611,669	1,182,794	339,788	397,541		34,670	295,226	49,155	428,875	418,452		4,987

移動博物館入館者数

	(人)		(人)		(人)		
10年度	979	15年度	3,868	20年度	1,362		
11年度	1,556	16年度	2,421	21年度	2,793		
12年度	1,646	17年度	3,416	22年度	2,979		
13年度	1,719	18年度	2,585	23年度	6,121		
14年度	3,240	19年度	1,959	24年度	2,004	累計	38,648

入館者数一覧〔4月〕

入館者一覧[4月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
4/1	日	1,194	577	577	553	24	0	0	0	0	0	616	616	221	315	18	35	27	0	0	1	1
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	火	507	204	204	195	9	0	0	0	0	0	303	303	96	155	7	16	29	0	0	0	0
4	水	534	218	218	211	7	0	0	0	0	0	316	316	85	179	10	24	18	0	0	0	0
5	木	698	126	126	126	0	0	0	0	0	0	572	264	49	170	4	26	15	308	308	0	0
6	金	538	168	168	162	6	0	0	0	0	0	370	276	63	139	25	40	9	94	94	0	0
7	土	649	309	309	303	5	1	0	0	0	0	338	338	119	173	9	16	21	0	0	2	2
8	日	822	414	414	406	7	1	0	0	0	0	406	406	158	187	13	21	27	0	0	2	2
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火	59	30	30	30	0	0	0	0	0	0	29	29	13	2	1	6	7	0	0	0	0
11	水	114	36	36	29	7	0	0	0	0	0	78	78	8	2	46	22	0	0	0	0	0
12	木	62	34	34	34	0	0	0	0	0	0	26	26	5	0	2	14	5	0	0	2	2
13	金	87	11	11	11	0	0	0	0	0	0	76	76	4	1	1	62	8	0	0	0	0
14	土	1,068	533	287	277	10	0	0	246	0	246	533	373	108	151	20	51	43	160	160	2	2
15	日	706	318	318	302	15	1	0	0	0	0	388	388	133	198	12	13	32	0	0	0	0
16	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	火	38	22	22	22	0	0	0	0	0	0	16	16	3	0	2	8	3	0	0	0	0
18	水	389	32	32	32	0	0	0	0	0	0	357	36	8	0	0	24	4	321	321	0	0
19	木	465	428	24	23	1	0	0	404	0	404	37	37	3	0	1	30	3	0	0	0	0
20	金	187	43	16	16	0	0	0	27	27	0	143	74	57	0	1	16	0	69	69	1	1
21	土	450	219	194	181	10	3	0	25	25	0	230	230	91	102	7	11	19	0	0	1	1
22	日	739	318	318	313	4	1	0	0	0	0	418	418	157	191	7	31	32	0	0	3	3
23	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	火	82	27	27	27	0	0	0	0	0	0	55	55	29	0	2	11	13	0	0	0	0
25	水	122	60	60	60	0	0	0	0	0	0	62	62	46	0	0	12	4	0	0	0	0
26	木	544	192	35	34	1	0	0	157	157	0	352	282	165	1	3	108	5	70	70	0	0
27	金	363	165	19	18	1	0	0	146	107	39	198	198	140	3	2	44	9	0	0	0	0
28	土	726	282	282	265	16	1	0	0	0	0	443	443	110	158	6	137	32	0	0	1	1
祝29	日	1,315	642	642	620	18	4	0	0	0	0	671	671	244	341	18	26	42	0	0	2	2
振30	月	1,360	642	642	618	23	1	0	0	0	0	717	717	208	400	26	19	64	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		13,818	6,050	5,045	4,868	164	13	0	1,005	316	689	7,750	6,728	2,323	2,868	243	823	471	1,022	1,022	18	18

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	16	4,789	1,796	1,062	1,030	32	0	0	734	291	443	2,990	2,128	774	652	107	463	132	862	862	3	3
土日祝	10	9,029	4,254	3,983	3,838	132	13	0	271	25	246	4,760	4,600	1,549	2,216	136	360	339	160	160	15	15
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	13,818	6,050	5,045	4,868	164	13	0	1,005	316	689	7,750	6,728	2,323	2,868	243	823	471	1,022	1,022	18	18
年間TOTAL（平成24年度）																						
平 日	16	4,789	1,796	1,062	1,030	32	0	0	734	291	443	2,990	2,128	774	652	107	463	132	862	862	3	3
土日祝	10	9,029	4,254	3,983	3,838	132	13	0	271	25	246	4,760	4,600	1,549	2,216	136	360	339	160	160	15	15
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	13,818	6,050	5,045	4,868	164	13	0	1,005	316	689	7,750	6,728	2,323	2,868	243	823	471	1,022	1,022	18	18

入館者数一覧〔5月〕

入館者一覧[5月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
5/1	火	157	108	108	101	6	1	0	0	0	0	49	49	23	14	0	0	12	0	0	0	0
2	水	529	231	175	170	5	0	0	56	56	0	298	200	137	22	2	30	9	98	98	0	0
祝3	木	2,911	1,550	1,550	1,499	49	2	0	0	0	0	1,359	1,359	481	730	28	42	78	0	0	2	2
祝4	金	3,579	1,941	1,941	1,881	59	1	0	0	0	0	1,638	1,638	454	1,011	33	44	96	0	0	0	0
祝5	土	2,654	1,360	1,360	1,304	56	0	0	0	0	0	1,294	1,294	414	734	29	34	83	0	0	0	0
6	日	1,466	732	732	701	29	2	0	0	0	0	731	731	248	379	10	25	69	0	0	3	3
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	174	101	54	50	3	1	0	47	0	47	73	73	55	4	1	9	4	0	0	0	0
9	水	121	33	33	33	0	0	0	0	0	0	88	30	6	2	0	10	12	58	58	0	0
10	木	334	39	39	39	0	0	0	0	0	0	295	45	2	0	1	22	20	250	250	0	0
11	金	852	28	28	28	0	0	0	0	0	0	824	122	18	0	2	81	21	702	702	0	0
12	土	496	199	199	194	4	1	0	0	0	0	296	296	102	104	4	19	67	0	0	1	1
13	日	818	262	262	251	11	0	0	0	0	0	555	555	152	206	6	21	170	0	0	1	1
14	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	火	480	95	52	51	1	0	0	43	43	0	385	33	8	1	0	24	0	352	352	0	0
16	水	489	127	38	38	0	0	0	89	0	89	362	39	3	1	3	32	0	323	323	0	0
17	木	540	56	17	16	0	1	0	39	0	39	484	54	5	1	0	47	1	430	430	0	0
18	金	486	86	32	32	0	0	0	54	54	0	400	127	64	0	17	46	0	273	273	0	0
19	土	410	217	217	204	9	4	0	0	0	0	193	193	64	105	6	18	0	0	0	0	0
20	日	589	334	313	304	6	3	0	21	21	0	253	253	94	141	8	10	0	0	0	2	2
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	441	80	45	45	0	0	0	35	35	0	361	57	23	0	1	33	0	304	304	0	0
23	水	373	43	43	38	5	0	0	0	0	0	330	42	5	1	2	34	0	288	288	0	0
24	木	137	32	32	31	1	0	0	0	0	0	105	31	5	3	0	23	0	74	74	0	0
25	金	811	59	59	52	6	1	0	0	0	0	752	72	11	3	2	53	3	680	680	0	0
26	土	449	207	207	189	16	2	0	0	0	0	242	202	64	98	8	32	0	40	40	0	0
27	日	675	324	324	312	12	0	0	0	0	0	349	349	130	196	9	8	6	0	0	2	2
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	火	40	30	30	29	0	1	0	0	0	0	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0
30	水	403	93	55	55	0	0	0	38	38	0	310	77	9	0	0	68	0	233	233	0	0
31	木	229	6	6	6	0	0	0	0	0	0	222	84	0	17	2	59	6	138	138	1	1
計		20,643	8,373	7,951	7,653	278	20	0	422	247	175	12,258	8,015	2,587	3,773	174	824	657	4,243	4,243	12	12

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	17	6,596	1,247	846	814	27	5	0	401	226	175	5,348	1,145	384	69	33	571	88	4,203	4,203	1	1
土日祝	10	14,047	7,126	7,105	6,839	251	15	0	21	21	0	6,910	6,870	2,203	3,704	141	253	569	40	40	11	11
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27	20,643	8,373	7,951	7,653	278	20	0	422	247	175	12,258	8,015	2,587	3,773	174	824	657	4,243	4,243	12	12
年間TOTAL（平成24年度）																						
平 日	33	11,385	3,043	1,908	1,844	59	5	0	1,135	517	618	8,338	3,273	1,158	721	140	1,034	220	5,065	5,065	4	4
土日祝	20	23,076	11,380	11,088	10,677	383	28	0	292	46	246	11,670	11,470	3,752	5,920	277	613	908	200	200	26	26
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	53	34,461	14,423	12,996	12,521	442	33	0	1,427	563	864	20,008	14,743	4,910	6,641	417	1,647	1,128	5,265	5,265	30	30

入館者数一覧〔6月〕

入館者統計[5月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
6/1	金	817	57	27	24	2	1	0	30	30	0	759	71	6	4	0	60	1	688	688	1	1
2	土	416	206	179	173	3	3	0	27	27	0	209	209	76	112	4	17	0	0	0	1	1
3	日	900	359	359	347	10	2	0	0	0	0	540	377	172	175	5	24	1	163	163	1	1
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	火	129	23	23	17	6	0	0	0	0	0	106	42	5	28	1	8	0	64	64	0	0
6	水	600	48	48	47	1	0	0	0	0	0	552	173	87	3	12	70	1	379	379	0	0
7	木	168	58	19	17	2	0	0	39	0	39	110	21	4	0	1	16	0	89	89	0	0
8	金	326	49	24	24	0	0	0	25	25	0	277	71	4	2	27	37	1	206	206	0	0
9	土	942	397	335	315	14	6	0	62	62	0	544	437	181	190	10	56	0	107	107	1	1
10	日	559	310	310	303	6	1	0	0	0	0	247	247	103	134	3	3	4	0	0	2	2
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	108	48	48	47	1	0	0	0	0	0	60	19	7	3	0	9	0	41	41	0	0
13	水	382	31	31	31	0	0	0	0	0	0	351	141	73	2	21	45	0	210	210	0	0
14	木	138	81	41	35	6	0	0	40	0	40	55	23	2	11	0	10	0	32	32	2	2
15	金	409	24	24	23	0	1	0	0	0	0	385	58	6	3	0	49	0	327	327	0	0
16	土	776	338	338	328	8	2	0	0	0	0	437	300	115	161	3	19	2	137	137	1	1
17	日	772	400	400	391	6	3	0	0	0	0	372	372	156	181	14	15	6	0	0	0	0
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	水	572	28	28	28	0	0	0	0	0	0	544	102	56	0	1	43	2	442	442	0	0
28	木	75	9	9	9	0	0	0	0	0	0	66	23	2	0	0	21	0	43	43	0	0
29	金	526	47	47	43	4	0	0	0	0	0	479	67	3	0	5	57	2	412	412	0	0
30	土	585	293	293	274	15	4	0	0	0	0	290	290	93	181	6	10	0	0	0	2	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		9,200	2,806	2,583	2,476	84	23	0	223	144	79	6,383	3,043	1,151	1,190	113	569	20	3,340	3,340	11	11

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	12	4,250	503	369	345	22	2	0	134	55	79	3,744	811	255	56	68	425	7	2,933	2,933	3	3
土日祝	7	4,950	2,303	2,214	2,131	62	21	0	89	89	0	2,639	2,232	896	1,134	45	144	13	407	407	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	9,200	2,806	2,583	2,476	84	23	0	223	144	79	6,383	3,043	1,151	1,190	113	569	20	3,340	3,340	11	11
年間TOTAL(平成24年度)																						
平日	45	15,635	3,546	2,277	2,189	81	7	0	1,269	572	697	12,082	4,084	1,413	777	208	1,459	227	7,998	7,998	7	7
土日祝	27	28,026	13,683	13,302	12,808	445	49	0	381	135	246	14,309	13,702	4,648	7,054	322	757	921	607	607	34	34
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	72	43,661	17,229	15,579	14,997	526	56	0	1,650	707	943	26,391	17,786	6,061	7,831	530	2,216	1,148	8,605	8,605	41	41

入館者数一覧〔7月〕

入館者統計[7月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
7/1	日	1,055	549	528	514	14	0	0	21	21	0	504	490	192	255	9	32	2	14	14	2	2
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	火	201	86	47	37	10	0	0	39	0	39	115	84	10	0	11	63	0	31	31	0	0
4	水	161	38	38	31	7	0	0	0	0	0	123	16	8	2	0	6	0	107	107	0	0
5	木	189	61	28	25	3	0	0	33	33	0	128	24	6	5	6	7	0	104	104	0	0
6	金	414	64	33	29	2	2	0	31	31	0	350	88	6	2	0	76	4	262	262	0	0
7	土	674	287	287	267	20	0	0	0	0	0	387	254	102	102	15	33	2	133	133	0	0
8	日	887	453	451	430	19	2	0	2	1	1	433	433	182	216	8	22	5	0	0	1	1
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火	105	90	30	28	2	0	0	60	0	60	15	15	7	2	2	4	0	0	0	0	0
11	水	343	38	38	29	7	2	0	0	0	0	305	70	20	1	1	48	0	235	235	0	0
12	木	1,405	29	29	26	3	0	0	0	0	0	1,376	280	60	80	36	103	1	1,096	1,096	0	0
13	金	284	23	23	21	1	1	0	0	0	0	261	48	14	0	1	32	1	213	213	0	0
14	土	1,018	498	464	447	13	4	0	34	32	2	517	422	175	172	17	32	26	95	95	3	3
15	日	2,728	1,481	1,269	1,234	30	5	0	212	206	6	1,240	1,240	404	693	43	42	58	0	0	7	7
16	月	2,080	1,041	960	919	39	2	0	81	77	4	1,035	1,035	413	495	38	30	59	0	0	4	4
17	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	水	111	72	70	67	3	0	0	2	2	0	39	39	18	3	1	11	6	0	0	0	0
19	木	337	73	65	63	2	0	0	8	8	0	263	135	92	3	4	34	2	128	128	1	1
20	金	230	58	56	55	1	0	0	2	2	0	172	172	108	13	17	29	5	0	0	0	0
21	土	1,652	502	460	441	17	2	0	42	41	1	1,150	604	154	262	49	120	19	546	546	0	0
22	日	1,742	830	767	750	15	2	0	63	61	2	912	792	249	445	22	49	27	120	120	0	0
23	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	火	888	198	163	152	10	1	0	35	35	0	690	351	95	141	3	97	15	339	339	0	0
25	水	628	179	169	151	16	2	0	10	10	0	449	321	68	148	24	74	7	128	128	0	0
26	木	516	170	152	144	5	3	0	18	17	1	344	229	69	120	13	22	5	115	115	2	2
27	金	458	165	153	153	0	0	0	12	12	0	293	212	50	113	19	26	4	81	81	0	0
28	土	1,305	416	389	369	17	3	0	27	25	2	888	435	106	249	10	54	16	453	453	1	1
29	日	1,655	841	751	709	39	3	0	90	87	3	814	791	256	383	23	82	47	23	23	0	0
30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	火	673	256	232	220	12	0	0	24	24	0	416	385	89	214	30	36	16	31	31	1	1
計		21,739	8,498	7,652	7,311	307	34	0	846	725	121	13,219	8,965	2,953	4,119	402	1,164	327	4,254	4,254	22	22

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	16	6,943	1,600	1,326	1,231	84	11	0	274	174	100	5,339	2,469	720	847	168	668	66	2,870	2,870	4	4
土日祝	10	14,796	6,898	6,326	6,080	223	23	0	572	551	21	7,880	6,496	2,233	3,272	234	496	261	1,384	1,384	18	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	21,739	8,498	7,652	7,311	307	34	0	846	725	121	13,219	8,965	2,953	4,119	402	1,164	327	4,254	4,254	22	22
年間TOTAL(平成24年度)																						
平日	61	22,578	5,146	3,603	3,420	165	18	0	1,543	746	797	17,421	6,553	2,133	1,624	376	2,127	293	10,868	10,868	11	11
土日祝	37	42,822	20,581	19,628	18,888	668	72	0	953	686	267	22,189	20,198	6,881	10,326	556	1,253	1,182	1,991	1,991	52	52
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	98	65,400	25,727	23,231	22,308	833	90	0	2,496	1,432	1,064	39,610	26,751	9,014	11,950	932	3,380	1,475	12,859	12,859	63	63

入館者数一覧〔8月〕

入館者統計[8月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
8/1	水	621	273	249	236	12	1	0	24	23	1	348	306	56	187	18	37	8	42	42	0	0
2	木	568	232	197	182	14	1	0	35	31	4	335	328	77	185	28	24	14	7	7	1	1
3	金	640	210	178	170	6	2	0	32	27	5	427	308	93	135	16	47	17	119	119	3	3
4	土	795	405	363	343	20	0	0	42	40	2	387	387	118	211	11	13	34	0	0	3	3
5	日	1,580	803	728	693	33	2	0	75	75	0	776	776	264	432	22	21	37	0	0	1	1
6	月	722	335	273	260	13	0	0	62	61	1	385	385	203	114	19	27	22	0	0	2	2
7	火	880	399	286	264	22	0	0	113	59	54	480	474	66	344	11	34	19	6	6	1	1
8	水	802	385	342	312	29	1	0	43	43	0	415	415	106	262	8	21	18	0	0	2	2
9	木	892	352	304	282	21	1	0	48	43	5	540	540	98	362	7	30	43	0	0	0	0
10	金	890	364	307	290	16	1	0	57	28	29	526	526	119	328	29	35	15	0	0	0	0
11	土	1,262	663	553	527	24	2	0	110	103	7	598	598	326	230	5	12	25	0	0	1	1
12	日	2,288	1,255	1,094	1,030	63	1	0	161	154	7	1,031	1,031	354	579	25	28	45	0	0	2	2
13	月	1,750	931	843	809	33	1	0	88	82	6	819	819	272	454	26	20	47	0	0	0	0
14	火	2,967	1,572	1,486	1,419	67	0	0	86	83	3	1,395	1,395	769	493	29	31	73	0	0	0	0
15	水	2,464	1,299	1,206	1,151	55	0	0	93	92	1	1,165	1,165	357	668	63	37	40	0	0	0	0
16	木	1,548	838	781	732	49	0	0	57	52	5	710	710	234	397	25	24	30	0	0	0	0
17	金	1,333	642	625	597	28	0	0	17	16	1	690	690	195	417	18	40	20	0	0	1	1
18	土	1,644	861	806	756	48	2	0	55	53	2	779	779	260	423	33	29	34	0	0	4	4
19	日	1,669	917	872	816	53	3	0	45	43	2	750	750	256	392	24	27	51	0	0	2	2
20	月	586	290	276	253	23	0	0	14	14	0	296	296	68	181	19	15	13	0	0	0	0
21	火	729	285	274	266	8	0	0	11	11	0	444	444	84	277	26	43	14	0	0	0	0
22	水	720	297	248	231	17	0	0	49	48	1	422	401	96	225	22	55	3	21	21	1	1
23	木	784	275	259	232	27	0	0	16	14	2	509	345	80	178	22	45	20	164	164	0	0
24	金	857	261	247	235	11	1	0	14	14	0	596	480	97	270	12	84	17	116	116	0	0
25	土	1,361	689	659	623	30	6	0	30	29	1	670	670	227	330	12	12	89	0	0	2	2
26	日	1,952	1,015	946	903	42	1	0	69	68	1	934	934	335	451	15	24	109	0	0	3	3
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	442	208	199	184	14	1	0	9	9	0	234	234	68	119	10	20	17	0	0	0	0
29	水	362	196	192	171	19	2	0	4	4	0	166	161	46	51	6	42	16	5	5	0	0
30	木	370	155	146	131	15	0	0	9	7	2	215	215	82	55	25	24	29	0	0	0	0
31	金	505	169	147	134	13	0	0	22	3	19	336	171	60	36	25	34	16	165	165	0	0
計		33,983	16,576	15,086	14,232	825	29	0	1,490	1,329	161	17,378	16,733	5,466	8,786	611	935	935	645	645	29	29

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	22	21,432	9,968	9,065	8,541	512	12	0	903	764	139	11,453	10,808	3,326	5,738	464	769	511	645	645	11	11
土日祝	8	12,551	6,608	6,021	5,691	313	17	0	587	565	22	5,925	5,925	2,140	3,048	147	166	424	0	0	18	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	30	33,983	16,576	15,086	14,232	825	29	0	1,490	1,329	161	17,378	16,733	5,466	8,786	611	935	935	645	645	29	29
年間TOTAL(平成24年度)																						
平 日	83	44,010	15,114	12,668	11,961	677	30	0	2,446	1,510	936	28,874	17,361	5,459	7,362	840	2,896	804	11,513	11,513	22	22
土日祝	45	55,373	27,189	25,649	24,579	981	89	0	1,540	1,251	289	28,114	26,123	9,021	13,374	703	1,419	1,606	1,991	1,991	70	70
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	128	99,383	42,303	38,317	36,540	1,658	119	0	3,986	2,761	1,225	56,988	43,484	14,480	20,736	1,543	4,315	2,410	13,504	13,504	92	92

入館者数一覧〔9月〕

入館者統計[9月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
9/1	土	1,252	623	595	542	46	7	0	28	28	0	628	628	222	286	13	15	92	0	0	1	1
2	日	2,090	966	906	853	47	6	0	60	56	4	1,123	1,123	338	508	18	20	239	0	0	1	1
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	144	72	72	61	11	0	0	0	0	0	70	70	59	2	0	8	1	0	0	2	2
5	水	177	45	39	39	0	0	0	6	6	0	132	27	8	0	0	15	4	105	105	0	0
6	木	189	73	49	35	14	0	0	24	24	0	116	65	29	1	2	33	0	51	51	0	0
7	金	376	96	39	28	11	0	0	57	57	0	280	158	113	1	3	38	3	122	122	0	0
8	土	840	324	320	306	11	3	0	4	4	0	516	316	133	151	4	28	0	200	200	0	0
9	日	914	466	429	410	17	2	0	37	32	5	447	447	179	251	8	8	1	0	0	1	1
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	52	37	37	34	3	0	0	0	0	0	15	15	7	2	2	4	0	0	0	0	0
12	水	174	70	45	38	7	0	0	25	4	21	104	37	14	4	6	13	0	67	67	0	0
13	木	221	61	59	55	4	0	0	2	2	0	160	37	11	7	1	16	2	123	123	0	0
14	金	215	30	28	23	5	0	0	2	2	0	185	22	2	0	0	19	1	163	163	0	0
15	土	517	275	263	254	6	3	0	12	12	0	242	242	98	129	6	5	4	0	0	0	0
16	日	1,170	648	628	601	24	3	0	20	20	0	522	522	225	279	9	9	0	0	0	0	0
祝17	月	1,034	552	548	532	9	7	0	4	4	0	482	482	203	264	5	10	0	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	水	671	124	58	51	7	0	0	66	66	0	547	273	203	3	7	60	0	274	274	0	0
20	木	253	34	34	29	4	1	0	0	0	0	219	29	6	0	2	21	0	190	190	0	0
21	金	578	98	36	34	2	0	0	62	62	0	480	75	34	1	0	38	2	405	405	0	0
祝22	土	825	440	398	377	13	8	0	42	42	0	383	383	127	219	9	17	11	0	0	2	2
23	日	1,283	655	607	583	15	8	1	48	48	0	627	627	239	321	21	21	25	0	0	1	1
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	97	71	62	53	8	1	0	9	2	7	26	26	14	1	2	4	5	0	0	0	0
26	水	677	75	42	40	2	0	0	33	33	0	601	64	9	2	1	50	2	537	537	1	1
27	木	354	48	46	43	3	0	0	2	2	0	306	136	82	0	2	46	6	170	170	0	0
28	金	459	37	36	34	2	0	0	1	1	0	422	73	5	7	6	51	4	349	349	0	0
29	土	444	247	241	229	9	3	0	6	6	0	197	197	82	64	5	28	18	0	0	0	0
30	日	845	417	416	384	27	5	0	1	1	0	426	426	141	204	8	33	40	0	0	2	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		15,851	6,584	6,033	5,668	307	57	1	551	514	37	9,256	6,500	2,583	2,707	140	610	460	2,756	2,756	11	11

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	15	4,637	971	682	597	83	2	0	289	261	28	3,663	1,107	596	31	34	416	30	2,556	2,556	3	3
土日祝	11	11,214	5,613	5,351	5,071	224	55	1	262	253	9	5,593	5,393	1,987	2,676	106	194	430	200	200	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	15,851	6,584	6,033	5,668	307	57	1	551	514	37	9,256	6,500	2,583	2,707	140	610	460	2,756	2,756	11	11
年間TOTAL（平成24年度）																						
平日	98	48,647	16,085	13,350	12,558	760	32	0	2,735	1,771	964	32,537	18,468	6,055	7,393	874	3,312	834	14,069	14,069	25	25
土日祝	56	66,587	32,802	31,000	29,650	1,205	144	1	1,802	1,504	298	33,707	31,516	11,008	16,050	809	1,613	2,036	2,191	2,191	78	78
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	154	115,234	48,887	44,350	42,208	1,965	176	1	4,537	3,275	1,262	66,244	49,984	17,063	23,443	1,683	4,925	2,870	16,260	16,260	103	103

入館者数一覧〔10月〕

入館者統計[10月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
10/1	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	火	213	86	45	43	0	2	0	41	41	0	127	71	40	3	8	20	0	56	56	0	0
3	水	550	130	52	48	2	2	0	78	0	78	420	54	14	3	1	31	5	366	366	0	0
4	木	133	29	29	29	0	0	0	0	0	0	104	20	3	0	1	14	2	84	84	0	0
5	金	595	65	65	64	0	1	0	0	0	0	530	75	17	9	1	45	3	455	455	0	0
6	土	581	321	321	308	11	2	0	0	0	0	260	260	85	138	13	11	13	0	0	0	0
7	日	1,350	698	698	673	18	7	0	0	0	0	645	645	226	294	14	47	64	0	0	7	7
8	月	1,258	622	622	597	17	8	0	0	0	0	631	631	232	314	14	18	53	0	0	5	5
9	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	水	686	96	96	90	6	0	0	0	0	0	590	252	79	59	2	98	14	338	338	0	0
11	木	995	36	36	34	2	0	0	0	0	0	959	84	8	1	0	71	4	875	875	0	0
12	金	614	53	53	49	2	2	0	0	0	0	561	122	60	1	9	47	5	439	439	0	0
13	土	740	317	273	247	20	6	0	44	44	0	419	301	92	140	10	25	34	118	118	4	4
14	日	832	392	392	364	23	5	0	0	0	0	439	439	149	201	37	19	33	0	0	1	1
15	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	火	391	137	51	49	2	0	0	86	86	0	253	179	123	0	7	47	2	74	74	1	1
17	水	906	47	47	43	2	2	0	0	0	0	859	109	57	0	2	47	3	750	750	0	0
18	木	1,167	321	71	69	0	2	0	250	250	0	846	402	313	0	1	82	6	444	444	0	0
19	金	1,063	40	40	34	6	0	0	0	0	0	1,023	250	33	0	0	212	5	773	773	0	0
20	土	879	351	235	227	7	1	0	116	116	0	528	405	110	142	53	76	24	123	123	0	0
21	日	836	389	389	372	14	3	0	0	0	0	446	433	122	229	15	22	45	13	13	1	1
22	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	火	595	65	65	57	8	0	0	0	0	0	530	189	138	1	1	47	2	341	341	0	0
24	水	706	67	67	59	6	2	0	0	0	0	638	183	93	2	8	74	6	455	455	1	1
25	木	571	26	26	24	2	0	0	0	0	0	545	136	68	2	11	49	6	409	409	0	0
26	金	803	34	34	30	4	0	0	0	0	0	769	71	8	2	0	54	7	698	698	0	0
27	土	589	265	265	258	5	2	0	0	0	0	322	307	107	134	11	25	30	15	15	2	2
28	日	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
29	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	火	132	37	37	32	5	0	0	0	0	0	95	26	5	5	0	7	9	69	69	0	0
31	水	771	50	50	46	4	0	0	0	0	0	721	113	18	7	2	75	11	608	608	0	0
計		21,513	4,674	4,059	3,846	166	47	0	615	537	78	16,817	9,314	2,200	1,687	221	4,820	386	7,503	7,503	22	22

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	17	10,891	1,319	864	800	51	13	0	455	377	78	9,570	2,336	1,077	95	54	1,020	90	7,234	7,234	2	2
土日祝	8	7,065	3,355	3,195	3,046	115	34	0	160	160	0	3,690	3,421	1,123	1,592	167	243	296	269	269	20	20
無料日	1	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
合計	26	21,513	4,674	4,059	3,846	166	47	0	615	537	78	16,817	9,314	2,200	1,687	221	4,820	386	7,503	7,503	22	22
年間TOTAL(平成24年度)																						
平日	115	59,538	17,404	14,214	13,358	811	45	0	3,190	2,148	1,042	42,107	20,804	7,132	7,488	928	4,332	924	21,303	21,303	27	27
土日祝	64	73,652	36,157	34,195	32,696	1,320	178	1	1,962	1,664	298	37,397	34,937	12,131	17,642	976	1,856	2,332	2,460	2,460	98	98
無料日	1	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
合計	180	136,747	53,561	48,409	46,054	2,131	223	1	5,152	3,812	1,340	83,061	59,298	19,263	25,130	1,904	9,745	3,256	23,763	23,763	125	125

入館者数一覧〔11月〕

入館者統計[11月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
11/1	木	458	45	45	36	9	0	0	0	0	0	413	92	49	6	0	29	8	321	321	0	0
2	金	816	153	61	41	19	1	0	92	62	30	663	96	6	21	8	52	9	567	567	0	0
3	土	847	414	414	404	9	1	0	0	0	0	433	433	146	210	10	10	57	0	0	0	0
4	日	1,225	647	429	407	16	6	0	218	218	0	575	575	203	256	7	14	95	0	0	3	3
5	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	火	710	91	91	88	3	0	0	0	0	0	619	181	65	3	0	98	15	438	438	0	0
7	水	279	48	48	46	0	2	0	0	0	0	231	26	7	2	0	13	4	205	205	0	0
8	木	233	97	32	23	7	2	0	65	65	0	136	68	28	0	12	16	12	68	68	0	0
9	金	199	53	53	40	13	0	0	0	0	0	146	60	31	2	1	12	14	86	86	0	0
10	土	660	311	291	273	11	7	0	20	20	0	348	348	102	187	6	4	49	0	0	1	1
11	日	1,027	536	536	518	12	6	0	0	0	0	490	479	183	194	6	10	86	11	11	1	1
12	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	火	171	85	51	49	1	1	0	34	34	0	86	30	15	1	2	6	6	56	56	0	0
14	水	522	262	157	150	6	1	0	105	74	31	260	260	43	164	2	28	23	0	0	0	0
15	木	330	44	44	44	0	0	0	0	0	0	286	107	32	2	19	37	17	179	179	0	0
16	金	248	91	52	46	6	0	0	39	39	0	157	97	42	0	18	27	10	60	60	0	0
17	土	775	293	293	277	12	4	0	0	0	0	480	480	135	159	52	31	103	0	0	2	2
18	日	1,176	492	492	470	20	2	0	0	0	0	682	682	221	262	6	11	182	0	0	2	2
19	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	火	130	41	41	37	4	0	0	0	0	0	89	71	30	0	0	41	0	18	18	0	0
21	水	92	21	21	19	2	0	0	0	0	0	71	28	2	0	1	25	0	43	43	0	0
22	木	432	29	29	25	3	1	0	0	0	0	403	64	7	0	0	57	0	339	339	0	0
祝23	金	972	522	522	501	20	1	0	0	0	0	450	450	190	239	9	10	2	0	0	0	0
24	土	887	454	454	437	13	4	0	0	0	0	433	433	187	163	16	65	2	0	0	0	0
25	日	707	401	381	361	19	1	0	20	20	0	306	306	122	133	26	24	1	0	0	0	0
26	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	火	93	26	26	26	0	0	0	0	0	0	67	13	8	0	0	5	0	54	54	0	0
28	水	87	40	40	39	0	1	0	0	0	0	47	24	11	9	0	2	2	23	23	0	0
29	木	204	17	17	15	2	0	0	0	0	0	187	29	8	0	0	19	2	158	158	0	0
30	金	255	70	35	34	0	1	0	35	0	35	185	67	10	1	25	29	2	118	118	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		13,535	5,283	4,655	4,406	207	42	0	628	532	96	8,243	5,499	1,883	2,014	226	675	701	2,744	2,744	9	9

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	17	5,259	1,213	843	758	75	10	0	370	274	96	4,046	1,313	394	211	88	496	124	2,733	2,733	0	0
土日祝	9	8,276	4,070	3,812	3,648	132	32	0	258	258	0	4,197	4,186	1,489	1,803	138	179	577	11	11	9	9
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	13,535	5,283	4,655	4,406	207	42	0	628	532	96	8,243	5,499	1,883	2,014	226	675	701	2,744	2,744	9	9
年間TOTAL（平成24年度）																						
平日	132	64,797	18,617	15,057	14,116	886	55	0	3,560	2,422	1,138	46,153	22,117	7,526	7,699	1,016	4,828	1,048	24,036	24,036	27	27
土日祝	73	81,928	40,227	38,007	36,344	1,452	210	1	2,220	1,922	298	41,594	39,123	13,620	19,445	1,114	2,035	2,909	2,471	2,471	107	107
無料日	1	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
合計	206	150,282	58,844	53,064	50,460	2,338	265	1	5,780	4,344	1,436	91,304	64,797	21,146	27,144	2,130	10,420	3,957	26,507	26,507	134	134

入館者数一覧〔12月〕

入館者統計[12月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
12/1	土	341	202	166	154	7	5	0	36	36	0	138	138	81	43	5	9	0	0	0	1	1
2	日	461	241	241	232	9	0	0	0	0	0	219	219	92	116	4	6	1	0	0	1	1
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	89	50	20	15	4	1	0	30	30	0	39	17	8	2	0	7	0	22	22	0	0
5	水	38	26	26	26	0	0	0	0	0	0	12	12	8	3	1	0	0	0	0	0	0
6	木	34	28	28	23	5	0	0	0	0	0	6	6	5	0	0	0	1	0	0	0	0
7	金	332	22	22	20	1	1	0	0	0	0	310	39	5	0	0	34	0	271	271	0	0
8	土	244	105	105	98	3	4	0	0	0	0	138	123	50	46	9	16	2	15	15	1	1
9	日	440	227	227	221	5	1	0	0	0	0	211	211	98	101	6	4	2	0	0	2	2
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	土	148	82	80	72	6	2	0	2	2	0	66	66	19	39	4	4	0	0	0	0	0
祝23	日	392	214	212	200	7	5	0	2	2	0	177	177	91	76	5	5	0	0	0	1	1
振24	月	331	177	171	155	14	2	0	6	6	0	152	152	59	80	6	7	0	0	0	2	2
25	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		2,850	1,374	1,298	1,216	61	21	0	76	76	0	1,468	1,160	516	506	40	92	6	308	308	8	8

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	4	493	126	96	84	10	2	0	30	30	0	367	74	26	5	1	41	1	293	293	0	0
土日祝	7	2,357	1,248	1,202	1,132	51	19	0	46	46	0	1,101	1,086	490	501	39	51	5	15	15	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	2,850	1,374	1,298	1,216	61	21	0	76	76	0	1,468	1,160	516	506	40	92	6	308	308	8	8
年間TOTAL（平成24年度）																						
平日	136	65,290	18,743	15,153	14,200	896	57	0	3,590	2,452	1,138	46,520	22,191	7,552	7,704	1,017	4,869	1,049	24,329	24,329	27	27
土日祝	80	84,285	41,475	39,209	37,476	1,503	229	1	2,266	1,968	298	42,695	40,209	14,110	19,946	1,153	2,086	2,914	2,486	2,486	115	115
無料日	1	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
合計	217	153,132	60,218	54,362	51,676	2,399	286	1	5,856	4,420	1,436	92,772	65,957	21,662	27,650	2,170	10,512	3,963	26,815	26,815	142	142

入館者一覧〔1月〕

入館者統計[1月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
1/1	祝	344	187	159	145	8	6	0	28	25	3	156	156	67	70	2	5	12	0	0	1	1
2	水	456	248	221	210	8	3	0	27	26	1	207	207	96	84	6	7	14	0	0	1	1
3	木	589	322	285	270	14	1	0	37	36	1	267	267	127	93	7	13	27	0	0	0	0
4	金	731	346	336	323	13	0	0	10	8	2	383	383	135	172	22	23	31	0	0	2	2
5	土	614	345	343	304	32	7	0	2	2	0	269	269	119	115	8	11	16	0	0	0	0
6	日	479	241	241	230	8	3	0	0	0	0	237	237	111	88	4	10	24	0	0	1	1
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	土	369	199	195	179	12	4	0	4	4	0	169	169	79	66	8	7	9	0	0	1	1
13	日	715	388	388	377	8	3	0	0	0	0	326	326	135	136	10	18	27	0	0	1	1
14	祝	393	194	194	185	4	5	0	0	0	0	199	199	93	87	4	3	12	0	0	0	0
15	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	水	24	14	14	14	0	0	0	0	0	0	10	10	4	0	1	2	3	0	0	0	0
17	木	33	20	20	20	0	0	0	0	0	0	13	13	4	1	1	3	4	0	0	0	0
18	金	30	19	19	16	3	0	0	0	0	0	10	10	5	0	1	2	2	0	0	1	1
19	土	506	145	142	139	3	0	0	3	3	0	360	174	64	74	8	19	9	186	186	1	1
20	日	608	302	298	291	3	4	0	4	4	0	305	305	115	134	18	18	20	0	0	1	1
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	158	35	35	31	4	0	0	0	0	0	120	78	46	12	1	15	4	42	42	3	3
23	水	51	26	25	24	0	1	0	1	1	0	25	25	11	2	2	2	8	0	0	0	0
24	木	41	28	28	28	0	0	0	0	0	0	13	13	2	5	2	2	2	0	0	0	0
25	金	176	11	11	10	1	0	0	0	0	0	165	47	26	0	1	18	2	118	118	0	0
26	土	413	142	138	134	2	2	0	4	4	0	265	265	91	69	7	81	17	0	0	6	6
27	日	814	414	413	396	11	6	0	1	1	0	398	398	183	165	18	18	14	0	0	2	2
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	火	126	43	42	37	4	1	0	1	1	0	83	83	13	1	1	60	8	0	0	0	0
30	水	159	59	59	58	1	0	0	0	0	0	99	91	53	13	4	13	8	8	8	1	1
31	木	54	34	34	32	1	1	0	0	0	0	20	20	10	1	0	1	8	0	0	0	0
計		7,883	3,762	3,640	3,453	140	47	0	122	115	7	4,099	3,745	1,589	1,388	136	351	281	354	354	22	22

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	13	2,628	1,205	1,129	1,073	49	7	0	76	72	4	1,415	1,247	532	384	49	161	121	168	168	8	8
土日祝	10	5,255	2,557	2,511	2,380	91	40	0	46	43	3	2,684	2,498	1,057	1,004	87	190	160	186	186	14	14
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	23	7,883	3,762	3,640	3,453	140	47	0	122	115	7	4,099	3,745	1,589	1,388	136	351	281	354	354	22	22
年間TOTAL（平成24年度）																						
平 日	149	67,918	19,948	16,282	15,273	945	64	0	3,666	2,524	1,142	47,935	23,438	8,084	8,088	1,066	5,030	1,170	24,497	24,497	35	35
土日祝	90	89,540	44,032	41,720	39,856	1,594	269	1	2,312	2,011	301	45,379	42,707	15,167	20,950	1,240	2,276	3,074	2,672	2,672	129	129
無料日	1	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
合 計	240	161,015	63,980	58,002	55,129	2,539	333	1	5,978	4,535	1,443	96,871	69,702	23,251	29,038	2,306	10,863	4,244	27,169	27,169	164	164

入館者数一覧〔2月〕

入館者数一覧[2月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
2/1	金	73	44	44	42	1	1	0	0	0	0	29	29	7	1	1	15	5	0	0	0	0
2	土	474	234	234	224	3	7	0	0	0	0	238	238	99	104	8	9	18	0	0	2	2
3	日	699	361	353	347	3	3	0	8	8	0	336	336	154	152	7	11	12	0	0	2	2
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	火	84	39	35	30	5	0	0	4	4	0	45	25	3	1	0	19	2	20	20	0	0
6	水	80	26	26	25	0	1	0	0	0	0	54	54	1	0	46	5	2	0	0	0	0
7	木	30	19	19	16	3	0	0	0	0	0	11	11	3	0	6	2	0	0	0	0	0
8	金	42	32	32	31	0	1	0	0	0	0	9	9	8	1	0	0	0	0	0	1	1
9	土	591	269	267	253	11	3	0	2	2	0	322	294	108	118	11	18	39	28	28	0	0
10	日	1,246	583	576	547	25	4	0	7	6	1	662	662	236	314	14	40	58	0	0	1	1
11	祝	997	471	466	456	7	3	0	5	5	0	523	523	216	240	16	19	32	0	0	3	3
12	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	木	161	36	36	33	3	0	0	0	0	0	125	21	4	1	2	8	6	104	104	0	0
15	金	45	39	19	19	0	0	0	20	20	0	6	6	0	0	1	1	4	0	0	0	0
16	土	548	262	262	246	10	6	0	0	0	0	286	286	120	118	3	8	37	0	0	0	0
17	日	805	407	407	378	19	10	0	0	0	0	396	396	182	148	11	9	46	0	0	2	2
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	98	34	34	27	7	0	0	0	0	0	64	64	40	0	0	5	19	0	0	0	0
20	水	111	33	33	26	7	0	0	0	0	0	78	78	42	1	1	3	31	0	0	0	0
21	木	89	46	46	36	10	0	0	0	0	0	43	43	12	0	9	5	17	0	0	0	0
22	金	253	41	41	32	9	0	0	0	0	0	212	172	132	0	0	30	10	40	40	0	0
23	土	490	230	229	213	9	7	0	1	1	0	260	260	113	95	6	6	40	0	0	0	0
24	日	954	419	419	410	7	2	0	0	0	0	532	532	220	234	10	9	59	0	0	3	3
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	67	49	49	36	13	0	0	0	0	0	18	11	4	1	1	5	0	7	7	0	0
27	水	135	41	41	33	8	0	0	0	0	0	94	94	8	4	46	36	0	0	0	0	0
28	木	75	53	47	35	12	0	0	6	0	6	22	22	8	8	4	2	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		8,147	3,768	3,715	3,495	172	48	0	53	46	7	4,365	4,166	1,720	1,541	203	265	437	199	199	14	14

	日数	入館合計	有料計	個人計	一　般	大　高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
月TOTAL																						
平　日	14	1,343	532	502	421	78	3	0	30	24	6	810	639	272	18	117	136	96	171	171	1	1
土日祝	9	6,804	3,236	3,213	3,074	94	45	0	23	22	1	3,555	3,527	1,448	1,523	86	129	341	28	28	13	13
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	23	8,147	3,768	3,715	3,495	172	48	0	53	46	7	4,365	4,166	1,720	1,541	203	265	437	199	199	14	14
年間TOTAL（平成24年度）																						
平　日	163	69,261	20,480	16,784	15,694	1,023	67	0	3,696	2,548	1,148	48,745	24,077	8,356	8,106	1,183	5,166	1,266	24,668	24,668	36	36
土日祝	99	96,344	47,268	44,933	42,930	1,688	314	1	2,335	2,033	302	48,934	46,234	16,615	22,473	1,326	2,405	3,415	2,700	2,700	142	142
無料日	1	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
合　計	263	169,162	67,748	61,717	58,624	2,711	381	1	6,031	4,581	1,450	101,236	73,868	24,971	30,579	2,509	11,128	4,681	27,368	27,368	178	178

入館者数一覧〔3月〕

入館者数[3月]

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
3/1	金	95	50	30	21	9	0	0	20	20	0	45	45	28	0	7	10	0	0	0	0	0
2	土	482	264	260	243	14	3	0	4	4	0	217	217	94	97	11	13	2	0	0	1	1
3	日	870	422	422	407	10	5	0	0	0	0	445	445	188	213	8	35	1	0	0	3	3
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	火	59	42	42	39	3	0	0	0	0	0	16	16	9	2	0	0	5	0	0	1	1
6	水	83	40	40	28	12	0	0	0	0	0	43	43	34	1	0	7	1	0	0	0	0
7	木	385	48	46	31	15	0	0	2	2	0	337	295	254	0	2	39	0	42	42	0	0
8	金	219	54	54	41	12	1	0	0	0	0	165	165	138	3	1	23	0	0	0	0	0
9	土	479	252	252	240	11	1	0	0	0	0	226	226	100	94	19	11	2	0	0	1	1
10	日	712	357	353	345	7	1	0	4	4	0	353	353	180	156	8	9	0	0	0	2	2
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	54	39	39	33	6	0	0	0	0	0	15	15	11	2	1	1	0	0	0	0	0
13	水	61	52	52	48	4	0	0	0	0	0	9	9	5	2	1	1	0	0	0	0	0
14	木	140	37	37	23	14	0	0	0	0	0	103	89	75	0	3	11	0	14	14	0	0
15	金	136	61	41	36	4	1	0	20	20	0	75	75	48	3	1	23	0	0	0	0	0
16	土	725	291	290	274	12	4	0	1	1	0	431	360	115	149	10	76	10	71	71	3	3
17	日	859	451	423	389	23	11	0	28	28	0	406	406	187	157	18	20	24	0	0	2	2
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	125	84	84	76	8	0	0	0	0	0	40	40	29	9	1	1	0	0	0	1	1
祝20	水	887	389	387	366	17	4	0	2	2	0	497	497	200	243	12	17	25	0	0	1	1
21	木	187	95	93	75	18	0	0	2	2	0	92	92	12	43	16	12	9	0	0	0	0
22	金	190	92	90	72	16	2	0	2	2	0	97	97	55	39	0	2	1	0	0	1	1
23	土	558	287	285	276	9	0	0	2	2	0	269	269	100	138	6	8	17	0	0	2	2
24	日	1,022	541	539	509	25	5	0	2	2	0	478	478	198	225	15	16	24	0	0	3	3
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	258	131	124	110	14	0	0	7	6	1	127	127	41	60	3	12	11	0	0	0	0
27	水	601	202	202	185	14	3	0	0	0	0	399	399	94	207	33	52	13	0	0	0	0
28	木	565	235	235	226	9	0	0	0	0	0	330	330	110	179	8	23	10	0	0	0	0
29	金	476	201	201	189	12	0	0	0	0	0	275	275	77	172	4	7	15	0	0	0	0
30	土	1,116	591	467	453	13	1	0	124	0	124	524	524	190	251	20	43	20	0	0	1	1
31	日	1,532	793	793	748	37	8	0	0	0	0	734	734	303	348	16	21	46	0	0	5	5
計		12,876	6,101	5,881	5,483	348	50	0	220	95	125	6,748	6,621	2,875	2,793	224	493	236	127	127	27	27

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	16	3,634	1,463	1,410	1,233	170	7	0	53	52	1	2,168	2,112	1,020	722	81	224	65	56	56	3	3
土日祝	11	9,242	4,638	4,471	4,250	178	43	0	167	43	124	4,580	4,509	1,855	2,071	143	269	171	71	71	24	24
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	12,876	6,101	5,881	5,483	348	50	0	220	95	125	6,748	6,621	2,875	2,793	224	493	236	127	127	27	27
年間TOTAL（平成24年度）																						
平日	179	72,895	21,943	18,194	16,927	1,193	74	0	3,749	2,600	1,149	50,913	26,189	9,376	8,828	1,264	5,390	1,331	24,724	24,724	39	39
土日祝	110	105,586	51,906	49,404	47,180	1,866	357	1	2,502	2,076	426	53,514	50,743	18,470	24,544	1,469	2,674	3,586	2,771	2,771	166	166
無料日	1	3,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557	3,557	0	0	0	3,557	0	0	0	0	0
合計	290	182,038	73,849	67,598	64,107	3,059	431	1	6,251	4,676	1,575	107,984	80,489	27,846	33,372	2,733	11,621	4,917	27,495	27,495	205	205

8　職員名簿

職　　名		氏　　名	当館における履歴
名 誉 館 長 （ 嘱 託 ）		長谷川　善和	7.4～　8.3 建設準備室参与 8.4～　22.3 館長 22.4～ 名誉館長
館　　長		田 島　一 男	23.4～25.3
次　長（教育普及係長）		住谷　親介	24.4～
教育普及係	主幹（係長）	清 水　伸 彦	14.4～25.3
	主　　幹	有 賀　章 晶	22.4～25.3
	主　　幹	岩 井 利 信	22.4～25.3
	主　　幹	戸 所 雄 彦	24.4～
	主　　幹	武 井　郁 也	18.4～25.3
	主　　幹	小須田　健志	23.4～
学 芸 係	補佐（学芸係長）	三 田　照 芳	13.4～20.3 主幹 22.4～25.3
	主　　幹	高 橋　克 之	12.4～
	主　　幹	大 森　威 宏	10.4～
	主幹（学芸員）	髙 栗　祐 司	5.4～8.3 建設準備室 8.4～
	主　　幹	杉 山　直 人	20.4～
	主　　幹	篠 原　克 実	23.4～
	副主幹（学芸員）	木 村　敏 之	14.4～
	主任（学芸員）	姉 崎　智 子	17.4～
	主任（学芸員）	田 中　源 吾	20.12～25.3
展示解説員 （嘱託）	高橋　弘美　外所　宏美　菊地　如子　佐藤　陽子 佐々木尚子　近藤　愛子　松本恵利那　林　夏希		